大正十二年一月三十日第三種郵便物認可
大正十四年十一月二十五日印刷納本
大正十四年十二月一日發行

無産階級戰鬪雜誌

進め

第三年拾貳月號 第拾貳號

1925

目次

□持場を守れ……【卷頭言】
新しき共産主義運動へ……石川準十郎
第三戰線の問題……山川亮
共産主義の初歩……エンゲルス 鈴木厚譯
□獨逸の經濟狀態……稻垣守克
□學問への挑戰……本莊可宗
農林省の成績良好を誇る小作調停法利用の眞相……布施辰治
所有階級とナショナリズム……稻垣守克
唯物史觀とは何か……橋野昇
天津罷業の眞相と共通せる資本家の態度……王子言
西部加奈陀の勞動事情……スコット・ニーリング
□無産階級と[illegible]……高群逸枝
□大衆の生活と國家……渡邊信義
□農民に訴ふ……谷口直平
日本に社會主義者無人ありや……松尾且
朝鮮社會運動管見……金明
論彈 社會運動家勞動運動家諸氏
閥賊の陋劣を摘發する……
「流言」を洗ふ……渡邊理治
日本のプロレタリアに訴ふ……高林貢三郎
日本共産黨は解放運動を阻害する……佐藤光敏
◎全土戰報……各地同志
アメリカ奇談……前田河廣一郎
大鹽平八郎……一兩生

一部二十錢

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

社告

▼我が進め社は今度印刷所を設けたので從來の型を廢して菊版百十二頁とし定價も倍の二十錢に値上げした、が之れでも決して高價ではないと信じてゐる。

▼紙型の變更、紙數の増大及び大庭柯公殺害眞相調査運動の爲本誌九月號は遂に休刊するの已むなきに至つた。鶴首して待たれてゐた讀者諸君に御詫びする次第である。

▼定價は二十錢だが十ケ月分前金拂込者に對しては十部壹圓、(郵税共)にて送本する事にした此際至急拂込まれん事を望む。

▲各支局及び三十部以上注文の讀者に對しても從前通りの割引に準じて送本するから誌代を停滯しない樣に成る可く雜誌到着後十日以内に拂込んで貰ひたい

▼疑問に附せらるゝ事茲に二年有半、今尚確然たる事を知り得ない元日本社會主義同盟執行委員大庭景秋（柯公）氏の露國に於ける死因に就いて其の疑雲を解き眞相を明らかにせんとするものなく、爲に漸く世人の記憶より葬り去られんとするは實に日本無産階級の大なる恥辱でなければならない。

▼茲に於いて乎、我社同人の奮起する所となり、多くの社會運動家や勞働運動家の後援を得て大庭柯公殺害眞相調査會を設け大いに輿論を喚起し、大使館を通じてロシヤ政府に詰問狀を發し其の眞相發表を迫まるべく目下日夜奔走しつゝある。

▲去る九月九日福田狂二及び佐藤光敏の二氏は新聞紙法違反に依つて大阪若松分監に收監された。十四日檢事から福田氏三ケ月、佐藤氏二ケ月の求刑があつたが心配する程の事はなからう御親切な御見舞に接した多くの同志諸君に對し厚く御禮を申上げます。

▼近來各地方に僞進め社員が現出し我が社の名を利用して詐欺恐喝等を働らく者が多い。此等のものと本社とは何の關係もなへ且つ同人とは一面識もない者である。北海道、秋田縣、靜岡縣、神奈川縣、岐阜縣、大阪市岡山縣等に於いて頻々と詐欺、恐喝をなしてゐる。其の都度本社は裁判所の招喚に接し、又は新聞等に依にて此れを知るのであるが誠に遺憾に堪えない。被害者は勿論、支局、讀者諸君は斯の如き事を見聞した時は、何卒假稱する所なく大いに制裁を加へられん事を希望する。

▼次號より論文、詩歌、繪畫等の御寄稿を特に讀者諸君に御願ひする。『全土戰報』の寄稿を踏躇されてゐる諸君がある樣だが此の欄は自身の郷土に於ける戰況を全國に知らすと共に他地方に於ける戰術を研究すべき好箇の資料なるべきものだから其の如何に短文たると、其の如何に拙文たるとを問はず何等憶する所なく増々此欄を用ひられたい

會計規約

雜誌の御注文に關してはどうか左の事項に御注意下さい。

一 雜誌に關する問合せ、注文等は會計係宛にして下さい。

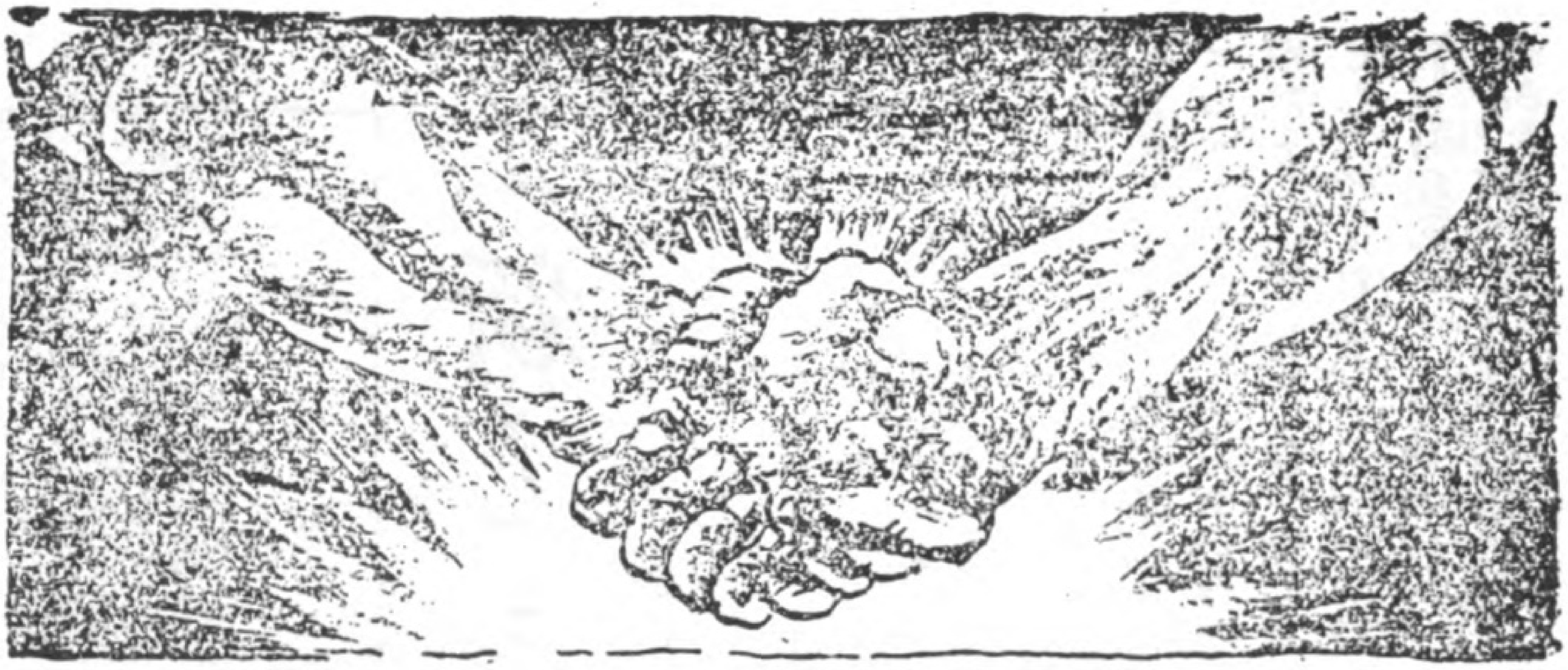
二 住所姓名は判り安く書いて下さい

三 誌代は成るべく六ケ月分以上前納して下ない

四 集金郵便、代金引換郵便等に依る御注文はおことわりします

五 誌代の拂込みは振替が最も安全です（通信欄に用件を明記して下さい

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



第三年 ◆ 進め ◆ 第拾貳號

◇持場を守れ◇

社會運動は、理想社會を此の地上に建設するための運動である——これは一個の定理である。そして、此の定理を疑ふ者も、此の定理に示されてゐる社會運動の意義を否定さる者も絶對に無いであらう。寧ろ、あるべき筈が無い。何故ならば、理想社會を建設するといふことそのこと自体は、寸毫ど雖、反對さるべき餘地を存しないからである。

勞働運動も、農民運動も、水平運動も、社會をよりよくするといふ念願に於ては、その出發當初から一致してゐる。そして、その運動の精神は歸着する所、一個の定理の中に要約される。

乍併、この抽象された社會運動の定理——即ち信條を一たび現實の上に置くさ我々は理想の前に如何に敵が多いかを、あまりにも深く考へさせられる。蓋し社會をよりよくするさいふ念願が、よりよからざる現實社會への叛逆から生れたものである以上、その現實を敵さしなければならぬのもまた必然さ言はればならない。

そこに、勞働運動は勞働運動さしての、農民運動は農民運動さしての、及び水平運動は水平運動さしての、それぞれの現實問題が嚴存する。そして、それぞれの現實問題を通してのみ、最後の一致點——理想社會の建設を具体の事實さすることが出來る所以を考へなければならぬ。

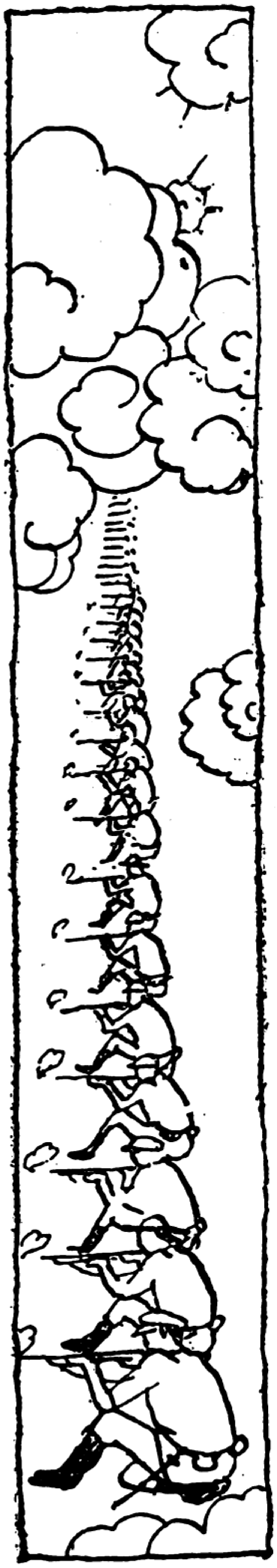
一個の黨派に所屬することのみが社會運動の本旨ではない。況んや榮なる社會主義の教條を信奉するだけが社會運動ではない。お山の大將をやめよ!。

否定すべからざる定理を、否定すべからざる現實の上に打樹てるものは、この現實を征服する力である。その力は、それだけの現實問題を通して、その現實さ戰ひつゝある者の手に握られてゐる。敢て言ふ。

諸君の持場を守れ!

(狂二)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN



新しき共產主義運動へ

——常套手段化されたスパイ、反動、日和見——

石川準十郎

（一）西歐に於ける新しき社會主義運動として共產主義運動勃興の由來

西歐に於ては、今日所謂共產黨」「共產主義者」等と言はれて居る意味に於ての「共產主義」なる言葉は、長らく「正統マルキシズム」なりとして西歐の社會運動界に君臨し、多年傲慢な態度を持し來たり、而も眞に塗炭の苦しみに惱んで居る民衆の生活の解放と云ふ點に於ては、漸く何等爲す無きに流れんとする觀のあつた所謂「社會民主主義」への、社會主義運動内部に於ける反逆として現はれ來つたものであつた。この間の關係をばユリアレ・ボルハルトは比較的正當に次の如く言つて居る。「一九一八年に於ける獨逸の十一月革命以來、社會主義及び共產主義なる二つの概念の爲に、一の重大な區別の設けられるに至つたのは當然である。何故ならば、獨逸社會民主主義は、世界戰爭及び革命に於ける彼等の態度に當つて、社會主義なる名稱の上に拭ふ可から

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

さる傷を負はしたからである。されば、社會主義に對して、民衆を惹きつけるための看板としてよりも、又民衆を利用するための踏臺としてよりも、より以上の意義を認めて居た全ての人々は、即ち社會民主主義の昔の努力と理想とに眞面目に共鳴した所の全ての人々は、社會主義なる名稱を拋棄せねばならなかつた。斯くて彼等は昔の名譽ある。共産主義なる名稱に立ち歸つた。彼等が奉ずる所のものは、既にマルクス　エンゲルスが一八四七年に共産主義を命名し、而して其後二三十年の間主として社會主義と呼ばれて居たものに他ならない。實のところ之等二つの言葉の意義は全然同一である。只獨逸の社會民主主義者がその事實を裏切りつゝも而も尙その名稱を維持して居つた故に、今や彼等は自分以外の人々即ち正に現代の共産主義者其者が、社會主義と掛け離れた一の新たな新主義を考へ出したかの如くにして了つたのである。』

かくの如くして、西歐にはロシア革命の成功を決定的機緣として、從來の古き社會主義運動に對する新しき社會主義運動の反逆として共産主義運動が起きて來た。それは『正統マルキシズム』の名に於て多年獨逸を中心として西歐に僑り來れる古きものへの、新しきもの〻反逆であつた。それは正に必要な反逆であつた。『社會主義に對して、民衆を惹きつけるための看板としてよりも、又民衆を利用するための踏臺としてよりも、より以上の意義を認めて居た全ての人々』にとつて、それは必要な反逆であつた。

而して、我々は今日日本社會主義運動の內部はこれと相似た必要を見る。日本に於ては却つて共産主義運動が、今や反逆さるべき『必要』を持つて居る。所謂共産主義に對して、民衆を踏臺として利用する爲の道具としてよりも、又他人をスパイ、反動、日和見等の名に於て仲傷するための道具としてよりも、より以上の意義を認めて居た全ての人々は、新しき共産主義運動を起すここに依つて、古き共産主義運動へ反逆しなければならない。

（二）日本に於ける共産主義運動及び所謂日本共産黨一派の共産主義運動

西歐に社會民主主義運動への反逆として共産主義運動が嵐の如く起つて來た當時、日本には西歐に於けると同樣な社會民主主義運動なるものは別に存在しなかつた。『所謂日和見主義』『俗化』『骨拔き』等の言葉は、當時西歐の共産主義者が社會民主主義者に對して投げかけた言葉であつたのだが、日本に於ては當時その言葉を投げかけるべき相手たるべき既成勢力なるものは存在しなかつた。當時日本の社會運動界を風靡して居たのは寧ろアナルコ・サンヂカリズム無政府組合主義であつた。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一九一七年のロシア社會主義者の政治革命（政權奪取）の成功は、全世界の支配階級を震駭せしめたと同時に、各國の社會主義運動界の内部に非常な影響を與へた。所謂共產主義運動の各國的勃興は即ちそれを意味するのであるが、この影響は日本にも直ちに現はれた。アナルコ・サンヂカリズムに飽き足らない多くの人々は、新たなる社會主義運動たる共產主義運動に走つた。かくして、アナルコ・サンヂカリズム派との相當激しい鬪爭の後に、日本に於ける共產主義運動は壓倒的勢力となつた。

然し、それと同時に日本共產主義運動は、共產主義運動そのもの、内部に一系の私閥的團体一系の支配階級を發達せしめた。共產主義の勃興と同時に、共產主義を我物顔に擔ぎ、ロシアを自分達一團の宗家と許り後生大事と後に背負ひ、第三インタナショナルを洋行歸りの銀杖の如くに振り廻はすことに依つて、自分達こそ日本無產階級解放運動の本家本元である。かの如く廣言し、斯くすることに依つて、日本無產階級解放運動の上に君臨せんとする一團の發達を見るに至つた。彼等は己れの意に逆ふ者をば、スパイ、反動、日和見の名の下にこれを葬つた。彼等は日本無產階級解放の名に於て、若しくは日本無產階級解放運動を自分達の一手に掌握して居るかの如く通知宣傳することに依つて、ロシアと特別取引を結んで居たのみならず早くも天下を取つた積りで政府委員の役割を自分達の間に分擔決定して居たと傳へられる。之等のことは、純眞な心持よりして共產主義運動に共鳴し、純眞な心持よりして日本無產階級の解放を要望して居る者に取つて殊に無產階級運動の名も知れざる下積みとなりて果てることに尙滿足して居る人々にとつて、果して爲し得る所のものであらうか。今や、この一團の人々の共產主義運御が多くの人々の胸裡に疑惑と反感とを釀醒せしむるに至つて來たのは、正に當然である。

今や日本共產主義運動は、一團の人々の驕慢非道な行爲に依つて、拭ふ可からざる屈辱を民衆の上に印した。共產主義は一團の人々に依つて極めて不當に使用された。今日所謂日本共產黨を一般に稱されて居る所の一團の人々の共產主義運動が即ちそれである。

（三）所謂日本共產黨一派の「スパイ」「反動」「日和見」の意義

所謂日本共產黨一派の人々が多年得意の常套手段として、己れの相手を傷け倒すために用ひ來れる「スパイ」「反動」「日和見」なる言葉は、そも〳〵何を意味し、何を語るか。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

およそ或る一つの社會的名分が、その必然的發生理由を以つて、或る社會に一つの社會的勢力として勃興し存在するに至る時其社會には又往々にしてその名分乃至其勢力を利用して（其意識的たると無意識的たるとを問はず）、自己の地位を社會的に支持し、又は自己の非道を社會的に押し通さうとする集團が存在するに至るを見る。

宗教が人心を支配した中世に在つては、ローマ法王一派は『神』の名に於て如何に非道を民衆の上に逞しうし、その亞流共は又『神聖なる』ローマ法王の名に於て如何に多くの正義の反抗者を迫害したか！近世集權國家の勃興當時に在つては、多くの政治的集團が『國家』と『國民』の名に於て、互に激しく傷け合つたのみならず、如何に又多くの民衆の純潔な反抗を蹂躙したか！彼等が其反對者を抑壓し己が非道の摘發者を陥る手段は常に其反對者乃至摘發者をして當該社會に勢力を有して居る名分の敵として陥れることであつた。この事は古今に亘つてサハラより黄河にまで通ずる一個の社會學的共通現象である。

今日日本共産黨一派の人々の常套手段とする所の『スパイ』『反動』『日和見』呼ばりは、要するにこれに過ぎない。彼等の言ふ所の『スパイ』とは要するに彼等の非道を摘發する者の謂ひであり、彼等の言ふ所の『反動』とは要するに彼等の奸惡に反抗する者の謂ひであり、彼等の言ふ所の『日和見』とは彼等の不當な命々に服せざる者の謂ひなのである。陰險、狡猾、卑怯にも、己れの反對者同じく社會主義者をば、今日の無産階級の間に於ける最大の社會的名目たる而して共に奉ずる所の社會主義への裏切者の名に於て、換言すれば無産階級の敵として陥れることに依つて、葬らうとする手段たるに他ならないのである。彼等が如何に、自稱『正統マルキシズム』の名に於て、『共産主義』の名に於て、これを尤もらしく紛飾せんとするも（雜誌『マルクス主義』六月號に於て彼等は如何に尤もらしく紛飾せんとして居るかを見よ！）、日本社會主義運動界の王國を欺き去ることは出來ない、眞にその社會主義的良心を曇されず、無産階級解放のため眼光を晦まされざる多くの人々は既に、彼等が何を爲して、何を志しつゝあるかを知つて居る。

彼等は自ら『正統マルキシズム』を以つて憍つて居る。マルキシズムに於ては『反動的』なる言葉は、マルクス、エンゲルスの『共産黨宣言』第三章に於ける使ひ分けに見るが如く、封建支配階級的性質のもの（封建時代の支配階級の利害に即したもの）を言ふ（これに對してブルジョアの利害に即したものをば、『保守的』と呼んで居る。）然るに、今迄日本社會主義運動界に於て、彼等より『反動』の名を投げ掛けられたものゝ中に、果して斯樣な封建支配階級的性質を帶びたものが、何時何處に存在したか！

彼等は所謂共産主義の本流を以つて任じて居る。所謂共産主義に於ては『日和見』なる言葉は與へられたる機會に於て遂に果斷決行し得なかつた所のもの乃至決行し得ない所のものを云ふ。而して、彼等は頻りに『日和見』なる言葉を以て相手を中傷して居

る。然し乍ら、日本社會主運運動の歴史に於て、且つてドイツに於けるそれは同じき斯の如き機會、斯の如く場合が存在したか！若し又それが將來に關して言ふものならば、彼等と今日彼等の爲に日和見主義と呼ばれて居る所の者と、そのいづれが果して日和見主義に終るかを、誰が保し得るか！

それ又、その『スパイ』呼ばりすることに依つて相手を葬らんとするが如きに至つては、言語道斷も極まれりである。

（四）古き共產主義運動への新しき共產主義運動の反逆の必要

日本の所謂共產主義運動は、正に邪道に進みつゝめる。日本共產主義運動は、日本共產黨と稱する傳統的勢力を形成せる一團の人々の非道僑慢な行爲に依つて、拭ふ可からざる屈辱を民衆の上に印した。共產主義に對して民衆を踏臺として利用する爲の道具としてよりも、又他人をスパイ、反動、日和見等の名に於て仲傷するための道具としてよりも、より以上の意義を認めて居た全ての人々は、新しき共產主義運動を起すことに依つて、古き共產主義運動へ反逆しなければならない。それは一九二五年に於ける日本無產階級解放運動の爲さなければならない最も切實な『必要』である。（完）

滯歐通信（その一）

獨逸の經濟狀態

一、一九二二年乃一九二三年の前半は、マルクの下落によつて獨逸の物價は世界市價以下に止つてゐた。其爲め輸出は行はれた。中流階級は財產を失ひ、勞働者及被傭人は生活程度を極端に低下させなければならぬ狀態になつた。

二、一九二三年の夏及び秋にかけては取引はドル相場による金マルク標準で行はれた。從つて獨逸の生產品は世界市價より次第に高くなつて來たもので、輸出は減じた。金マルクで計算するやうになれば資本家は紙幣濫發によつて特別の利益を受けなくなるのである。そこでマルクの安定は資本家によつて希望されるやうになつた。

三、一九二三年十一月中旬よりマルクは安定した。失業及び短縮勞働者の數が激增した。資本家は勞働時間の延長及賃銀の引き下げと云ふ武器で勞働者を攻擊することが出來るやうになつた。物價は次第に下つたが一九二四年の二月頃になつて再び騰貴の勢となつた。

獨逸の經濟界は破綻に向つて急進してゐるのであるが、一方に於ては資本の集中が著るしき現象として現はれた。事業のトラスト化、カルテル化が盛であつた。中流階級及勞働者は貧困となつたが農民は一九二二年の秋より其財產を保持することが出來た。大資本家はマルク下落によつて非常に利益したのである。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

第三階級の問題

（一）

[illegible]の[illegible]を歴史的に論じて、發生・發展期・[illegible]時代の三段階に別け、近代[illegible]の進んだ根本主義制度は[illegible]それ自らの自壊作用に依りて崩壊没落する。斯くて人類社會の發展の[illegible]に於て、第四の人類史を[illegible]であらねばならぬと説いた。[illegible]の[illegible]・[illegible]社會[illegible]の[illegible]に[illegible]くなるにせよ、[illegible]自壊作用にのみ待つ[illegible]なのではない。[illegible]が生んだ[illegible]、[illegible]や[illegible]が[illegible]り[illegible]、[illegible]日本の[illegible]るかは、[illegible]日の[illegible]

[illegible]を挙げる事が出来るではないか——とを利用して、[illegible]化に對する[illegible]を、過去一[illegible]の[illegible]に對する否定を以て、[illegible]の[illegible]にしめなければならぬ。[illegible]は[illegible]として、[illegible]急激に來るかも知れぬけれど、何れにしてもそれは社會革命に依つて遂せられる所のものである。

プロレツト・カルト即ち無産階級文化はこの[illegible]の一部を受持つ、[illegible]意味に於ては最も根本的な重要な問題である[illegible]社會革命運動の[illegible]には[illegible]階級の[illegible]——武力闘争と經濟闘争と並、[illegible]なプロパガンダであるけれども、[illegible]て所謂第三階級である所の[illegible]化運動が、[illegible]の[illegible]で[illegible]

[illegible]は『吾人は文化と[illegible]はなければならぬ。[illegible]内に[illegible]の[illegible]も存在してはならぬ』と云ひ、トロツキイは[illegible]文化問題は最も根本的なものだ』と云ひ、[illegible]

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

級は第一、第二の段階を[illegible]な努力を[illegible]。と述べて
ゐる。

(二)

第三[illegible]プロレタリア[illegible]、[illegible]
即ちそのは、[illegible]運動[illegible]労働[illegible]のことである。この
労働[illegible]として、プロレタリア[illegible]を述べたやうに、[illegible]の
然し[illegible]目的と[illegible]のであるから
[illegible]、共産社会の[illegible]を目的と[illegible]社会革命の一[illegible]
現代の資本主義[illegible]しない[illegible]、社会革命の一[illegible]
ない所に、[illegible]所であつても、その一[illegible]は
全然[illegible]であるに[illegible]
ての[illegible]、[illegible]
に、少数[illegible]の[illegible]
[illegible]の[illegible]。その[illegible]
た[illegible]して、[illegible]
の[illegible]
級[illegible]。[illegible]
制度の[illegible]、[illegible]

[illegible]では、甚だ[illegible]た内容しか述べ得ら
れない。[illegible]されてゐる。だから真のプロレ
タリア[illegible]して、[illegible]ない悩みが絶えず
其処に生れてゐるのである。
社会[illegible]に於て、プロレタリア[illegible]入難は[illegible]くて
の[illegible]ける。プロ
レタリア[illegible]のは[illegible]ことであるが
[illegible]の為めに、
[illegible]、[illegible]その自己を基
[illegible]て[illegible]文化の[illegible]
プルジョア[illegible]を[illegible]
[illegible]。
[illegible]主義[illegible]の
[illegible]的にも
[illegible]。[illegible]恐くは
[illegible]その為
[illegible]に入りにくい。[illegible]な困難に
で[illegible]説かうとすれば法に触れる。[illegible]組織的な方法を
[illegible]うとしても、これまた法に触れる――然しこれは当然な話
[illegible]――其処で吾は何でも論

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

[illegible]に、内容に[illegible]になつて、入りにくいプロレタリアートが徐々に[illegible]ものである。

（三）

我國のプロレタリアートの[illegible]、正に[illegible]の[illegible]状態に陷つてゐる。政治の戰線に於ても、經濟の戰線に於ても、またその二つの[illegible]の、[illegible]努力[illegible]はれて[illegible]

[illegible]

[illegible]の一つ[illegible]

政治戰線や經濟戰線に於ける状態[illegible]か、甚く見られるからであるのは[illegible]に思ふ。第一の政治戰線、第二の經濟戰線に於ける最近の失敗を[illegible]。この第三戰線である[illegible]の努力如何は、[illegible]なければならぬ。

[illegible]、[illegible]いての[illegible]ここ。[illegible]

[illegible]

[illegible]の一つ[illegible]。

[illegible]に進むのであつて、[illegible]新社會建設に[illegible]、純粹文化の[illegible]であつて、所謂[illegible]の下の[illegible]に[illegible]

（四）

[illegible]論として既に[illegible]に述べる。

[illegible]

[illegible]はまだ[illegible]な[illegible]であらう。[illegible]ら[illegible]意識を持たせ、[illegible]文化を展開し過ぎ[illegible]であつて[illegible]の選手でなければならぬ。それ[illegible]如何に手段が[illegible]ても、それはプロレタリアートを指[illegible]遠かに遠いものである。即ちこの詩歌の文化[illegible]ものの方が多い。然し[illegible]には[illegible]文化の[illegible]に努力する[illegible]。それ以上の努力を文化の[illegible]に捧げるなのである。[illegible]ならしめようとするのである。そして[illegible]される。

大衆運動[illegible]から説かれてゐる。[illegible]際的な効果[illegible]ならないが、[illegible]大衆の政治の問題が[illegible]られたからではないか。[illegible]情の中へ[illegible]いか。[illegible]八つではあるまい——[illegible]村旧情の[illegible]——八間政府の[illegible]根に[illegible]から、[illegible]知つて[illegible]のではないか。[illegible]くのは[illegible]ではない、より多く感情で働かされる、プロレタリアの感情を持たない——ち得られない民衆は[illegible]ではやはり[illegible]来るプロレタリア的な感情[illegible]で解決する。[illegible]文化の問題即ち、第三戦線の問題だ。[illegible]に対して、プロレタリア的な感情で[illegible]するのである。そしてプロレア的感情を民衆の心から[illegible]して、[illegible]にはレタリア感情を[illegible]に[illegible]やらうとするのである。[illegible]何よりも[illegible]であることを要求する。

[illegible]の問題に就いては、その外界の環境如何が重大[illegible]があるから、[illegible]運動も政治運動[illegible]して、[illegible]的な一切のものに向つて要求しなければならないことである。

唯、政治[illegible]は既に組織に[illegible]・経済[illegible]も[illegible]組織され年と共に堅固にならんとしてゐるのに、[illegible]の文化闘争のみ[illegible]を無組織のなすである。これは打破されてあるのは勿論ないのだけれども、その組織の[illegible]に対する[illegible]に今日まで[illegible]来ないのだと思ふ。[illegible]一線を[illegible]ではない。如何にして組織し、[illegible]すべきかに就いてだけでも相互に研究して見たいと思ふ。それだけの仕事でも、その範囲は極めて広い、その[illegible]極めて複雑なのだから、今日から始めても遅すぎる恨みはあつても、決して早過ぎると云ふ恨みはないだらう。[illegible]に[illegible]して次號にて[illegible]か寄せて見たい。（新出）

共産主義の初歩

（エンゲルスの「共産黨宣言」の下書）

（一）

鈴木厚譯

フレデリック・エンゲルス

×

(PrencePles of Courwmnisur) のプリンシプルは、多くの場合原理と譯されるやうである。しかし茲では原理では、非常に不釣合な感がする。元來初歩といふ意味がない譯ではないのだから、僕は其れを「共産主義の初歩」とやつておく。

この「共産主義の初歩」は、明かにエンゲルスによつて書かれたものであつて、エンゲルス遺稿の中から發見されたものである。そして重要なこ[illegible]これである。僕は[illegible]れを省略した。云ふまでもなくこれはエンゲルスによつて旣に完成されてあつたものではない。讀んで吳れゝば判るが、問答体になつてゐて、而も問に答がないものさへある。英譯者は便宜の爲め其の點を自ら補足してゐるが、僕は煩雜を避ける爲めに、今は其れをはぶく。譯了後パンフレットにして出すやうな機會があつたら、改めて其れを附加へることにする。また言斷つておかなければならないのは、文中發表不可能な點で餘儀なく削除したことである。即ち大部分を生かす爲めに一小部分を削らなければならなかつたことを遺憾とするものである——譯者

一、問、共産主義とは何か。

答、共産主義とは無産階級解放の條件の教理である。

二、問、無産階級とは何か。

答、無産階級とは、資本家の投下による利潤からではなく單に專ら勞働の賣渡しから、生活手段を引き出すところの社會階級である。其の運命、其の生死・其の質に生存が、勞働に需用の前に懸り存するところの民衆の階級である。かゝるが故に其れは、好況乃至不況取引期の浮沈及び無抑制な競爭によつて生ずる變動に、從屬的である。簡單に云へばプロレタリア又はプロレタリアンの階級とは、十九世紀（及び今日）の勞働階級である。

三、問、然らば無産階級とは、常に存在して來てゐるか。

答、否。貧困にして勞働なす階級は、常に存在し、而も勞

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

働なす階級は、大部分常に貧困であつた。しかしながら略述なせるがやうな狀態の下に生活する。このやうな貧困者にして、このやうな勞働者——無産者は、競爭が常に自由にして無制限でなかつたやうに、常に存在してはゐない。

四．問．如何にして無産階級は生じたか。

答．無産階級は其の起原を、産業革命に有した。産業革命は英國に於ては前世紀（十八世紀）の後半に起つたもので、其の後世界の總ての文明國家に於てもまた繰返されたものである。この産業革命は、蒸汽機關、種々なる紡績機械、機械織機の發明及び多くの他の機械の案出によつて惹起された。高價なるが故に、大資本家によつてのみ据附けられたこれ等の機械は、從來從勞なる生産方法を變じた。機械は、勞働者が不完全なる紡績車や織機で生産品を生産するよりは、より低き費用で而もより大きな能率で、生産品を生産することが出來るが故に、其れ等のものは勞働者の立場を變じた。機械は大資本家の手に産業の管理を交付し、勞働者の小所有物、道具、織機等を、たしかに全く無價値る屑片に化した。かくて資本家は、すみやかに總てのものを所有なし、同時に勞働者は何ものをもとり殘されなかつた。この過程によつて、工場制度が被服の生産に取り入れられた第一階梯が一度び機械の採用及び工場制度の建設に行はれるや次いで、生産の新方法が、産業の總ての他の部門に於て、キャラコの染色、書籍の生産、陶器の仕事及び金屬生産品の作製に於て、直ちに採用された　勞働は層一層分業になつて往時は完全な生産品を製作し仕上げたところの勞働者は、今や單に其の一部分を勞作した。この分業は迅速に增大し、費用の必然的輕減を可能ならしめた。其れは一個の勞働者の活動を、甚だ單純なものたらしめ、又單に全く同樣にではないがよりよくさへ機械によつてなされるのであらふところの、不斷に反復される機械の取扱ひに歸せしめた。こんな具合で産業の總ての他の部門は、紡績や織機の既往と同樣に、蒸汽力の、機械及び工場制度の支配の下に降つた。それと同時に其れ等のものは、完全に大資本家の管理の下に來り、而もこれ等の産業に於てはまた、勞働者は、最後の僅かな獨立をも失つた。製造業以外に手工業もまた、茲に於て、徐々に層一層工場制度の支配の下に降つた。其れは大資本家が、費用を低減し勞働を分業になす大商店の建設によつて、小獨立手工業者を驅逐したのと同樣である。かくて吾々は結局、文明國家に於ては生産の殆ど總ての部門が、工場に運び去られ、而して手工生産による一個の手工業者が、大産業施設の生産に置き換へられるといふ點に到着するこの過程によつて、中産階級及び小施設は、層一層荒廢を餘儀なくされる。卽ち勞働者の昔の立場は全然變化し、徐々に總て他の階級を併呑し行くつの新しき階級が生ずる。

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

1、總ての文明國家に於て、現在では生活手段を、總ての材料及び總ての道具（機械工場）を獨占的に所有してゐる大資本家の階級。これがブルヂョアの階級又はブルヂョアジィである

2、生活の必要手段が、ブルヂョアに勞働（勞働力）を賣渡すことの機會に懸り存する全く無財産の階級。この階級がプロレタリアンの階級又はプロレタリアと稱する。

五、問、如何なる條件の下に、資本家に對する無産者の勞働の賣渡が行はれるか。

答、勞働（勞働力）は、他の總ての商品の如く一商品である。かゝるが故に其の價格は、總ての他の商品の價格と全く同じ法則で決定される。大産業の支配又は自由競爭――後に示すがやうなものであり又其れと同一事であるところの――下の價格は、平均して常に生産の費用に等しいものである。かゝるが故に勞働（勞働力）の價格は、同樣に勞働（勞働力）の生産に等しきものであり、勞働力の生産の費用は、かくて、勞働者をして勞役を可能ならしむるに必要とする又勞働者の階級を死滅より防ぐ生活手段のまさに其の總額に等しきものである。かゝるが故に勞働者は、この目的に必要とするより以上のものを、自己の勞働に對し受取らない。勞働の價格或は賃銀はかゝるが故に最低なるもの、生存するに必要とした最少量である。商賣が或る時はよりよく又或る時はより惡しくあるからには、勞働者は、丁度工場所有主が自己の貨物に對し、僅かより多く或はより少く得るがやうに、自己の勞働に對し、僅かより多く或は僅かより少く得る。しかしながら丁度工場所有主が、商賣がよいにつけ惡いにつけ、平均して自己の生産の費用よりも、何ら多くも何ら少くも得ないがやうに、しかく勞働者は平均してこの最少量よりも多くも少くも受取らない。この經濟法則は、大産業が生産の全線を掌握する時、絕えず增大する嚴正さを以て適用されるであらふ。

六、問、産業革命前にはどんな種類の勞働階級が存したか。

答、常に社會發達の種々な段階に伴ひ、勞働階級は有産支配階級に對し種々な條件及び種々な關係の下に存在してゐる。後進國家及び合衆國の南部に於てさへ今日尙（一八四七年）見られるがやうに、古代に於ては、勞働者は其の所有主の奴隸であつた。ハンガリー、ポーランド及びロシヤに尙（一八四七年）其の事實が存するがやうに、中世紀に於ては、勞働者は土地を有した貴族階級の農奴であつた。其の上また、中世と産業革命に至る期間には、都市には小ブルヂョア職人の爲めに働く渡職人があつた。製造場の發達（より大規模な手工生産）によつて、段々と、手工勞働者が現はれ、より大きな資本家によつて雇はれた。

七、問、何に於て無産者は奴隸と異るか。

答、奴隸はたゞ一度だけ賣つてゐるが――無産者は每日身を賣らなければならない。奴隸は主人の財産であつて、其の生

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

存がどんなに悲慘であるかといふことを問題にしないなら、其れは主人の利益によつて安全に保證されてゐる。全資本家階級の財産、一個の無産者は、謂はゞ其の勞働を必要とされた時にのみ買はれるのであつて、このやうに安全な生存は有してゐない。この生存は、全体としての勞働階級としてのみ安全である　奴隷は競爭の埒外にあるが、無産者は其の中にあるのであつて、總て其の變動を感ずる。奴隷は動産であつて社會の一員ではないが、無産者――人間としての――は、社會の一員として承認されてゐる　奴隷はかゝるが故に無産者よりもよりよき生存を有するが、無産者は社會發達のより高き段階の役割で、奴隷よりは高級である。奴隷は、總ての私有財のうち單に動産奴隷制度を廢滅することによつて、身を解放なし、かくて自らを一無産者たらしめる――が、無産者は全体としての私有財産を〇〇〇ことによつてのみ、自身を解放することが出來る。

八、問　何に於て無産者は農奴と異るか。

答、農奴は生産手段の所有と使用をゆるされ、收入の一部としての返戻乃至は勞働の交換に或る量の土地を與へられてゐる。が、無産者は他の何人かに屬する生産用具で勞働なし、而も他のこの何人かの爲めに働く――收入の一部としての返戻で農奴は供與する――が、無産者は受取る。農奴は安全な生存を有するが、無産者は有しない。農奴は總ての競爭の埒外にあるが、無産者は其の中にある。農奴は、自分が一職人になれる都市に逃げ去ることによつて、生産者の十分ノ一税及び勞働と貨幣の地代に變じかくて借地人となることによつてか、自己の領地から封建領主を追遂し、自己を所有主たらしめることを、簡單に云へば、どのみち所有階級にそして競爭に入り込むことによつてか、いづれかによつて自らを解放する。が、無産者は競爭、私有財産及び總ての階級差異を〇〇〇ことによつて自らを解放する。

九、問、何に於て無産者は、手工業者と異るか。

（この點は答へが示されてゐない）

十、問、何に於て無産者は、製造場の勞働者と異るか（註釋を見よ）。

答、製造場時代の十六世紀から十八世紀までの勞働者は、殆ど到る處で、生産用具を、自己の家族の爲めに織機や紡績車を、それから餘分な時間に耕作なした僅か一片の土地を所有なした。が、無産者は何らこれ等のものを所有しない。製造場時代の勞働者は、大部分は地方で生活し、而して多少なりと自己の地主或は雇主とは、族長制の關係にあつた。が、無産者は一般に大都市に生活し、而して自己の雇主に對する關係は、たゞに貨幣關係である　製造場時代の勞働者は、大産業によつて族長制の條件から引きぬかれ、彼が尙所有してゐた財産を奪はれ、其の過程によつて一無産者にされた。（つゞく）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

農林省の成績良好を誇る小作調停法利用の眞相

布施辰治

一

最近農林省が發表した小作調停法の成績を見ると、昨年十二月一日同法實施當時に在つては、未だ同法の精神と同法活用の利益が、一般小作人に理解せられなかつた爲に、小作人側からの調停申立は尠かつかつたが、近來は小作人側からの調停申立も大部多さを加へて來たし、且つ其の結果も甚だ良好だと云ふ事であるが、私の職務實際に接觸して居る小作爭議調停の現狀は、統計數字の形式以外、別に階級鬪爭の戰場を小作調停法に求めた無産階級政治行動、即會法戰術の上に、意義深甚の興味を唆るものがあると思ふ。左に小作調停法の正体を一般小作人側がどう見て、どう利用して居るかの大体を述べよふ。

二

總ての人が自ら正しいと信ずる事に、自ら進んで從ふとしたら、階級鬪爭の必要がない。けれども、人間は自らの利益に眩惑する、人間は自らの權力に魅惑する、特權階級は其の現狀維持に固着する、不勞所得に生活の安易を貪る特權有産階級の位地を捨てることは、如何に本人自らが正しいと信じても、自ら進んで之に從ふ事は、特權階級の爲し能はざる所である。彼等は、結局其の特權を捨てなければならないまでも、現在の儘で居られる限りは之を維持しようとする。其處に特權有産階級の種々なる劃策が行はれる、此の劃策がどう云ふ風に行はれるかは、非常に興味ある無産階級政治行動の對象である。之を有産特權階級の無産階級及解放運動に善處せんとする、所謂法律對策と調停對策とに就て、小作爭議の例を取りて云ふと、地主側は自ら小作人側と折衝して、爭議に勝ち得るかと云へば、到底勝ち得ない。然らば、何處に應援者を求むるかと云ふと、自らの主張を自らすることは、却て小作人側からの反抗を買ふばか

りであるから、現行國家組織制度上の正義であり、法律上の神聖である法律に從つて、自らの保護を求むる共同戰線を張るより外はない、斯ふした在野の有産特權階級と在朝の有産特權階級とが、新興無産階級の解放運動に對抗して張る所の共同戰線が、卽ち社會政策の名に依りて現はる丶近來施行の調停對策たる小作調停法である。

三

が、然しながら、小作爭議に對する國家の態度は、如何に地主階級から共同戰線の保護を求められても、露骨に之を保護することは出來ない。それは何故かと云ふと階級鬪爭の流れを汲む總ての爭議を概觀する生活如實の主要點が、生きる權利と儲ける權利との衝突なりとする場合、生きる權利を無視して儲ける權利を保護することは、如何に儲ける權利の支持を使命付けられて居る資本主義的國家と云へども、之を敢行し得ない。法律は男を女に女を男にすることの出來ない外は、何んでも出來ると云ふ說もあるが、之れは專制獨裁の盲斷であつて、苟も社會本位の立場を看板とする法律としては、そんな事も出來ない、法律の使命は多數の保護にある。卽ち最大多數者の最大量の幸福と云ふことが法律の使命である。故に少數者の最大幸福を保護せんとして、多數者の最大幸福を無視することは法律の使命を裏切ることに爲る。之れは先年米國に在つた死刑執行法案のエピソートであるが、死刑は社會から隔離する爲にのみ用ゐられる處の餘儀なき制度である。死刑囚を苦しめ惱ましむる爲めの執行では無い。故に、絞殺も電殺も餘りに死刑囚を苦しめ過ぎる慘忍を過ぐる爲に、死刑囚に些かの苦痛も與へない催眠藥を以て死刑を執行することにしたいと云ふ、死刑執行法改正の法律案を提案したものがあつた、多くの議員は、譯もなく之れに贊成しようとした、其時一人の藥劑師出身の議員は、大聲に反對を叫んで起つた、曰く藥と云ふものは人の病を癒して、人の生命を保護するものである、之れが藥の使命である、藥の用い方を過つて人を死に致すものは仕方も無いが、苟も人の病を癒して生命の保護を使命とする藥を、初めから人の生命を奪ふ爲に用いることは、藥の使命を裏切るものであると、斯くして、一度び催眠藥に依る死刑執行法案に贊成しようとした議員も、滿場一致で之を否決したと云ふ事である。夫れと同じ樣に最大多數者の最大幸福を保護することを使命とする法律は、タトヒ其の表面なりとしても、特權有産階級を保護する爲に、新興無産階級を無視することは出來ない。こゝに小作爭議當事者の一方たる在野有産特權階級地主が、其の代辯者を求むる同

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

法戰術としての調停法を、在朝有産特權階級自ら憲に制定せしめた共同戰線の陣列が敷かれたものと見なければ為らない所以があるのである。

四

小作爭議の解決は勞働爭議よりも、更に解決が困難だと云ふが、其の理由は工場勞働者の勞働爭議は、生産純收益の少い場合には起らない、假りにさうした場合に爭議が起つても、ストライキと云ふ武器は、工場主に對して何等の威力をも値しない何故なら、工場主は工場を閉いて居ることに依つて、損害が立つて利益が無いのだから職工がストライキをすると云へば、喜んで之を迎へる。寧ろ工場勞働者が爭議の氣勢を見せると、資本主の方から進んで閉場して仕舞ふ場合がある。故に、都會工場勞働者の勞働爭議は、常に生産純收益の多い場合に、それをどう分配するかと云ふ問題に就て起るのである、則ちモット明確に誤られざる言葉で云ひ表せば、工場勞働に於ては、主として價格分配に就て問題の發生を見るが、農業勞働に於ては、之を異にした生産物の分配に就て問題が惹起せらるゝのである。一は價格の形式に於て分配に參與するに對して、他は直接價値の分配に干與するのである。一は間接であるに對して、他は直接である。價格に於ては人為的なる如何なる弄策の介在をも許すが、價値に於ては絕對に之を許さない。之れ實に小作爭議の戰術に於て如何に地主が國家が共同戰線を求めて、小作人に勝たうとしても、マサかに表面から國家が之を保護することを能はざる所以である。

五

而已ならず、社會本位の立場を原理とする近來の立法傾向は最大多數者の最大幸福を保護する事を使命とする當然の結果として、社會が見て以て黑いとするものを白いとすることは出來ない。社會一般多數の見るところと、法律の見る所が同じであるときにのみ、總ての爭議に對する黑白の判斷を為す法律對策が行はれ得るが、小作爭議に就て、さうした法律對策を取れば地主を丸潰しに潰すより外に法律對策の立てようが無いのであるが、現在の國家としては夫れも出來ないので、所謂調停對策を執つて居るのである、其處で、私共の最も留意考察を要するものは、所謂調停對策の正体なのであるが、調停對策の正体は好い塩梅に妥協したらばと云ふ解決策である。砕いて言へば、マア〳〵と言つて爭議當事者の肩を叩く制度である。不徹底至極な妥協主義であつて、徹底的爭議を解決する所以の對策では

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

無い。爭議未解決の現狀維持に利するものが、一日でも永い平和を望む丈けの制度である。併更に別の方面から現在の調停對策の正体如何を解剖すると、新興無產階級が漸次に擡頭して行くと、必ずや有產階級が其の位地を讓らなければ爲らないのだから、新興無產階級の擡頭が、有らゆる爭議の折衝に於て、壓倒的威力を爆發されては、現狀の維持に利する有產特權階級が困る。其處で彼等は、積極電氣と消極電氣の相接する處に雷鳴がある。其の相接することが續ければ時に落雷もある、而して其の落雷は甚だ危險である事を知つて居る。故に豫め之を避けようとする。其の方に避雷針と云ふものがある。電氣を地の中へ引いて仕舞ふのであるが、新興無產階級が擡頭する壓倒的威力の爆發を恐る、有產特權階級が、其の威力を地中に引いて頭上の爆發を避けようとするものが、卽ち妥協主義の調停對策である。是れは總ての調停對策を見て行くと、其の悉くが、斯ふした新興無產階級と有產階級の對抗乃至鬪爭に爆發せんとする新興無產階級威力の避雷針である正体を自らに顯然する。故に、無產階級運動の戰術としては、何處までも、斯ふした避雷針に依つて、自分の威力を地の中へ引張り込まれないやうにしなければならない。夫れはどうすれば良いか？私は小作爭議の當事者の一方たる農村無產階級が、どんな避雷針にも大さと力が限られて居る事を知つて呉れゝば良いと思ふ。」

六

何故なら豫定以上の大きい新興無產階級の威力を發揚すると調停對策は何の役にも立たないからである。卽ち小さな落雷を地の底に導き得る避雷針も、大きな落雷は之を地の底へ導き得ない、寧ろ、避雷針があるばかりに、餘計に其の屋上に落雷の危險を增すのみである。小作調停法は、小作人の團結力を地中へ導く避雷組織に作られたものであつても、小作人階級の威力が、非常に強く且つ大きくて、調停法と云ふ避雷針で地中へ導け切れないときには、却て其處に大きい爆發の機會を生ずることに爲るであらう。小作爭議に關する一切の法律は、決して小作人階級の利益の爲に作られたものであるとは考へ得ない、けれども、地主を保護する爲めの小作爭議に關する法律を惡用利用正用に於て、小作人階級の威力を强大にし、且つ其の法律の表看板たる社會的公正を目懸けて其の導くまゝに避雷針に導かれて行つて而も地中へ引込まれないやうにすることに依つて、小作爭議の解決は極めて簡單に小作人階級の勝利を贏ち得られるであらう事が一般小作人の小作調停法の正体を見拔いた時分の利用であらう。

所有階級とナショナリズム

稲澤守克

所有階級にとつて最も大切なことは資本主義たる私有制度の眞相を民衆に知らしめざることである。民衆が資本主義の内容を認識した時には資本主義の終焉が來る。

そこで搾取階級は二つの方法を考へた。一は資本主義に反對する思想――現在はソシヤリズムなる言葉を以て一般に總括されて云ひ表されてゐる――を惡い思想として民衆に宣傳することである。その爲めには社會主義の理想を民衆に知らしめぬ工夫をする。言論出版の[illegible]がそれである。又同時に根本問題の批判には觸れないで、枝葉の點を取りあげて民衆に社會主義の害毒を宣傳するのである。卽ち主義者とは亂暴をするものであり、社會主義とは懶けて食を得る主義であると云ふ如き印象を民衆に植付けんと努力する。

第二の方法には國粹主義卽ちナショナリズム、舊愛國主義を專賣特許として取り込むことである。從來各國に於て其國民敎育の中心點は愛國と云ふ文字に置かれてゐた。愛國觀念は各種の方面から民衆の腦裡にきざまれてゐる。之を利用することが最も便利である。

世界大戰後資本主義は一時危險に陷つたので國粹主義にかぢりついた。そこでファシストの勢力が力強くなつたのである。ファシストの騷ぎは此頃やゝ下火になつた。其原因は資本主義の勢力が挽回したからである。此事實は面白いやうに各國に於て現はれた。日本の國粹黨が擡頭したにも勞働運動が盛になつた時である。資本家はファシストに對しては喜んで運動資金を提供した。資本階級も其すべてが戰爭によつて利益を占むると云ふ理ではない。或る事業は戰爭を喜ぶが或る業は戰爭よりも平和時代を好むものである。然しながら平和を好都合とする事業に關與する資本家も資本制度そのものが危くなればファシストの力に賴るのである。此狀態は獨逸に於ても之を見ることが

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

出來る。卽ち反動派たる國粹黨は主として大地主の利益を代表し、國民黨は大工業の利益を代表するものであるから兩黨の間には小さい點に於て政策の反對がある。例へば國粹黨は農産物に關税を課した方が利益である。然るに國民黨たる大工業家にとつては食物の騰貴は勞働賃銀を引き上げるから不利益である又大地主は戰爭の爲めに不利益を蒙らぬが或種の工業は戰爭の爲めに大打撃を受ける。

然るに國粹黨も國民黨も極力勞働階級の力を壓迫すると云ふ點に於ては一致してゐるから獨逸國粹主義の徽象たる黒白赤の旗の下に集まつた右黨聯盟、ブルジョア聯盟を叫んでゐる。要するに大なる點に於ては當黨は合同体である。

× × ×

右の事實は社會黨の方針に大なる敎訓を與へるものである。社會主義運動は社會主義を說明するのみでなく、資本主義及びナショナリズムの本体の說明に、一層の努力を費さねばならぬ故に社會主義運動の注意すべき點は、

(一) 資本階級の『愛國主義』利用を妨害すること。

(二) 社會主義者は不道德なる惡漢であると云ふ宣傳の乘じ得る機會を作らざること。

少數者を以て武力的獨裁を斷行する方針ならいざ知らず議會を『利用』して社會主義經濟組織を樹立して行かふと云ふならば右の點を重要視しなければならぬ。自己の經濟的地位を自覺せる民衆は極めて少數である。工場勞働者の大部分は社會黨に投票するであらうが、事實被搾取階級であつたながら未だ明かに自己の經濟的地位を自覺せざる人間は『愛國』と云ふ文字を宣傳に用ゆる政黨に投票し易いのである。

社會主義運動は『對外的敵愾心』を煽動せざるやうに注意しなければならぬ。此問題を放任せず機會ある每に國際平和の立場に立つて事態の眞相を民衆に知らしめなければならぬ。單に『米國』とか『英國』とか或は『露國』とか云ふ文字を以て簡單に片付けることを避けて國際問題を階級的に、經濟的に觀察して正當の判斷を示すやうに心掛けねばならぬ。

獨逸の社會民主黨は二つの大きな過失を經驗した。一は世界戰を承認したこと、二はルールの消極的抵抗戰に參加したことである。獨逸の國粹主義の勢力を打破する方針に出でず之を助長した結果今日に於てもなほナショナリズムの爲めに弱められてゐる。言葉の上ではナショナリズムに反對してゐるが實際の場合に於て明かに斷行を欠いた。

新しく生れ出でんとする社會民主黨最も明敏なる頭腦を以て此點を觀察して行かねばなるまい。

（一九二四年十二月七日、獨逸總選擧の日記す）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

無產階級と米價

米が高い。米が高くては買つて食つてゐる貧しい者は皆た困る。おまけにこの不景氣ではたまらない。仕事を失ふものがふへるばかりだ。既に失つてゐるものは、どこへ行つても仕事が見つからない。衣物や諸道具のやうなものなら見合せるといふこともあるが、米はどうしても毎日なくてはならない品物である。收入がないのにも拘らず、或は又收入がへつてゐるに拘らずこんな高い米を買つて食はなければならないといふことは、非常な苦痛である。何故に人間は、たゞ飯を食ふといふことの爲めに、かく苦しまなければならなくなつたのか。小鳥はそんなことなくして空を飛ぶ。毛物もまたそんなことを知らずに野を走る。然るにひとり人間のみが、そんなことの爲めに苦しんでゐる。

米が高くて困るのは、都會の無產者だけではない。亡びんとしつゝある中小農民もさうだし、小作人も同じことだ。

他の資本主義先進諸國家にもあつたやうに、近年日本の農村は、甚だしく疲弊してゐる。中小農以下小作人に至るまで、借金で寧ろ首がまわらないでゐる。されば彼等は持米など、とつくの昔に安い値で拂つてしまつてゐる。彼等の中に今時米を持つてゐる者などどこへ行つても一人だつてありつこはない、特に貧しい小作人達は、常に八月九月の聲を聞くと、自分の食ふ米にさへさしつかへが生じ、其の爲めに地主のところへ借りに行く、たとへ借りることが出來ても、後では貸さないで時價で貸すから、小作人はより苦しい立場に陷る。しかし多くの場合は、引續いての農村の不況が中小農から持米を既に既に奪つてゐるから、小作人は借りることが出來ない。そこで米商人から安く賣つた自分の米を今度は高く苦しい現金で買ひ戻してゐる。

事情斯くの如きものがあるが故に、今米が高くて喜んでゐるのは、何々會社の株主で何々銀行の預金者であるといふやうな半ば資本家である大農か米商人とだけてある。されば今の時期に米が高いといふことは、日本全土の無產階級にとつては痛棒であると云はなければならない。

今後益々日本が商工業者及金融資本家にとつて都合のよい世の中になると共に、米價は年々今頃になると高くなる傾向を示すかも知れない。ひとり人間のみは何故にたゞ食ふこと其の爲めに苦しまなければならないかと!!（高木平原）

支局及び一般讀者へ注告

官憲の防害は今更云ふまでもないが、特に朝鮮や大連の殖民地に於てそれが一層甚だしい。最近大連の支局からの通信によると、同地の官憲は支局の同人を呼び寄せてあだかも罪人を調べる樣な態度で同人等の身元調査をした上、支局の讀者カードをくまなく點檢したさうである。

尙、支局の事務所には常に憲兵隊から三四名の憲兵が出張して警戒し同人等の身邊から刻時も尾行の離れる事はないさうで、しきりに同支局の撲滅を畫策してゐる。讀者カードを調べるなどは警戒を通り越した純然たる營業防害である。又或る地方では、郵便局に刑事が張つて居て其地の支局宛の手紙を一ツ〱巧妙に開封してゐるさうである。かゝる防害に對して諸君は默つてゐないで、徹底的に挑戰する事が必要である。奴が圖々しい岡ッ引の事であるからこちらのお人好さを見せかけると職權を濫用して何を仕出かすか知れたものでない、今後地方の支局及び讀者諸君は斯る生意氣な事をする奴があつたならば、是非知らして貰ひたい。出來るだけの計策を講じやうと思ふ。

進め社

唯物史觀とは何か

橋野昇

今日我々が社會に關する問題に觸れる時、多少マルクスの學說に關係を持たないものはないのである。で、マルクスの學說の大体を知つて置く事は、新社會建設の使命を帶びてゐる我々に取つては、是非とも必要な事である。云ふまでもなく、マルクス學說の基礎をなしてゐる重要なる學說は、今私がこゝに述べんとする唯物史觀である。

然らば唯物史觀とは何か？この問題を一寸簡單に片付けてしまふ事は、甚だ困難な事である。以下順次に、これに關する問題を研究して見ようと思ふ。

一、唯物史觀と唯物論

唯物史觀の說明に當つて、唯物史觀と唯物論とは如何なる差異を持ち又、如何なる關係に立つてゐるかを、一應說明して置く必要がある。

唯物論とは唯心論に對する言葉であつて、宇宙が何から成り立つてゐるとか、凡ゆる社會現象が何から出發してゐるとか云ふ事を取扱ふ哲學上の言葉である。

之れに反し、唯物史觀は社會や思想の變遷進步の原因が何であるかと云ふ事を取扱ふ一の歷史的な言葉である。つまり前者は社會の本質原因の問題を取扱ひ後者は社會の進步、發達の道すぢの問題を取り扱つてゐる。卽ち、唯物論は宇宙は物質から成り立つてゐるものであつて精神はその影であると說く。從つて、思想も、この物質の現はれであつて、物質から出發してゐるものであると說いてゐる。唯物史觀は、社會又は思想の變遷の源因は生產關係（物質）であつて、この土臺の上に建つてゐる所の社會制度だ

日本に社會主義者幾人あり哉

◆松尾亘◆

『問題』八月號の中央の頁に揭載された『赤の番附』は現代日本に於ける、社會主義者、無政府主義者、勞働組合主義者の人氣、實力、學力を示したものであらうが、その誤りの大きな事は實に著るしきものがあらう。更に『番附』の製作者が共產黨とやらの細胞であると自から任じ人からも指差されてゐる譯か番附けの東の方は所謂『共產黨』の閥族を公示して居る。日本に共產黨とか、何とか言ふものがあるか何うかそれは筆者の知らざる所であるが、若し日本に共產黨とか言ふ者が在るとすれば『番附け』の東はその『共產黨』の執行委員・幹部、事務員・小使、給仕の歷々の面々であらう。ズット見渡した處々の最高

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

とか、政治とか、思想と云ふやうなものが、その土臺である所の生産關係の變化するに從つて變化すると云ふのである斯樣に、唯物論と唯物史觀とは異つてゐるが、これは一つのものをこう見るとか、あゝ見るとか云ふ意見の相異ではなくて、その取扱ふ物体を異にしてゐるのである。從つて、マルクスのこの唯物史觀が哲學的唯物論に、多少其の基礎を置いてゐると云ふ事を述べる事は、何等の矛盾もない事である。

二、唯物史觀の内容

唯物史觀の大体の概念は前項に述べた通りであるが、今少しく立ち入つてその内容を説明しようと思ふ。

元來、人類の社會的生活に二方面がある。即ち、精神的生活と物質的（經濟的）生活とである。唯物史觀は人の經濟的生活が人の精神的生活を決定すると教へてゐる。人は生きる爲に必要な種々なる物を生産しなくてはならない。そこに必然的に、一の社會的な生産關係と云ふものが生まれる。この生産關係の總和が、その社會の經濟生活の基礎になる。そして、その上に、それに相應した政治、法律、宗教、哲學、藝術等の美しい精神的の花が咲くのである。

故にもし、この生産關係に變動が來れば、其の社會の經濟的土臺がくづれる、從つて、その上に咲いてゐるこれ等の精神的の花にも變動が起る。生産關係の變動に從つて、白い花がすぼんで赤い花が咲いたり、赤い花がすぼんで黒い花が咲いたりする。人の意思が生産關係を變動さすのではなく、生産關係の變動が人の思想を變更さすのである。

然らば、その生産關係の變更は何故起るか？それは生産に用ふる道具、機械の改良、發明によつて起るのである。から云ふと「然らば、其の道具機械を發明、改良するのは人の精神であり、從つて、

幹部邊の名士とか××とか言ふ人々が果して何れ程の力があるものか、その邊は大いに私をして疑はしむる處である。そう言ふ議論は暫く措いて、あの番附けが極めて偏見な、潔癖な、無智な、低級な、誤謬だらけのものであると言ふ事を私は切に言ひ度い。それと同時に日本の社會主義者の中には何にか『進め』の福田狂二君一派がやつけた、所謂日本共産黨の閥族性があり〳〵と見へて居るやうに思ふ。

私は今福田狂二式の討閥運動の凡べてを無條件には承認しないが、福田君の討閥が全然無意味ではないと言ふ事にあの『番附け』の發表に依つて始めて知る事が出來た。

日本の社會主義者の中には確に閥族が存在すると思ふ。それは言ふ迄もなく堺閥、山川閥である、あの番附を見ると直ちにハハアと誰れでも氣附くであらうが、堺山川の二氏に無意味な、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

精神が凡ての社會進化の根本の源因ではござらぬか』とお仰つしやる御（誤）人もござらうが、それは皮相の觀察でござる。そう云ふ御人は生産機械の發明、改良はその社會の經濟狀態が、その發明者に要求したものであり、從つて、その發明、改良は其の社會の經濟狀態に基礎を置いてゐると云ふ事を忘れてゐるのでござる。

こゝにマルクスの有名な言葉がある。『人の意識が、その存在を決定するのではなくて、之れと反對に、人の社會的存在が人の意識を決定する。

三、唯物史觀と階級鬪爭說

上述のマルクス唯物史觀の說明は社會の歷史的發展の道すぢの客觀的な、無意識的な方面（卽ち社會が自然に動く方面）を明かになし得るに止まつて、この場合の意識的（自覺的）な方面、卽ち人の心の現れを主として見たる方面はこれによつては說明出來ない。それには、彼の社會學的學說の根本をなしてゐる「階級鬪爭說」の力を借りねばならない。

生産機械の進歩、發明に次いで分業が起る。これ等の社會的出來事の結果として產業が發達する。產業が發達すれば、生產品の過剩ができる。この餘つた生產品は社會的に勢力のあるものが領有して蓄積する。遂には、彼等は生産機關までも少數者の手に握つてしまふ。こゝに雇ふ者と雇はれる者、卽ち資本家と勞働者とが生れる。資本家は勞働者が働いた丈けの價値に對する賃金をやらずに、自分がよい加減差し引きした餘りを、卽ち勞働者がやうやく明日辨當を持つて工場に出勤し得られる程度の賃金を、勞働者にやるのである。つまり搾取、被搾取の關係が生れる。搾取者は次第に、又は急に政治的勢力を握つて、被搾取者を支配する こゝに立派な階級對立ができ上るの

輕薄な愛戀と、接近とをせるものは必ずしも番附けの上位、及び日本の社會主義者として世間の無價値の叩釆を博して居る、日本にはそれとも堺よりも山川よりも、以上の聰明な社會主義はないとでも言ふのか、私はその一切を裏切つて行きたい。何故なれば、堺や山川の兩氏の樣な恒武天皇時代の理論や態度は最早今の社會主義運動としては餘りに舊く、餘りに價値ないものであらう。試みに想へ、現代の日本の社會主義者と言はれる人々に何れだけ、今日の政治の實狀、經濟の實狀に通じ居るものがあらうか。ましてや堺、山川の二氏の如き人にはその一半だに知る事は出來まい。若し大膽にして私に言はしむればその理論、智識、手腕の上に於いては、山川、堺の番附をハズして高橋龜吉、大山郁夫、を押し度い。高橋、大山の二氏等の理論的價値は今更言ふ迄もないが、到底堺、山川

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

である。

級階とは、同一なる經濟的利害關係を有する一社會群が他の同様なる社會群の餘剩勞働を搾取し、相反する利害關係に立ちて、敵對の關係を有する社會群である。現社會にこれをあてはめれば、ブルジョアとプロレタリアである。ブルジョアはプロレタリアを搾取してゐる。ブルジョアの階級的利害はプロレタリアの階級的損害である。ブルジョアとプロレタリアとは經濟的利害を同じくする事は不可能である。階級對立の存續する間、鬪爭は續く。原始共産社會を除く人類過去の歷史は凡て、階級鬪爭の歷史である。

人類は何時まで鬪爭を續けるのであらうか？

四、唯物史觀と社會主義

[illegible]

[illegible]つてゐるが[illegible]してゐるが、こうした[illegible]ないの。[illegible]つて[illegible]ない[illegible]で[illegible]（[illegible]）[illegible]へブルジョア）の[illegible]される[illegible]に、[illegible]に[illegible]ない[illegible]ないの[illegible]。かくして、[illegible]これが[illegible]義の[illegible]

[illegible]いてゐる。

又、近世社會主義は右に述べた如く、理論の演繹の結果として生れたのではなくて、現生産組織の中から生れ出た必然の發生物である。封建社會の腐敗の中からブルジョア社會が生れた如く、ブルジ

君達りが一項にだに及びはしないだらう、赤北子、近藤の兩氏位に日本の社會主義運動を深刻に考へ、亦計畫を大きく、組織的に、合理的に考へ及ぶものが只一人としてあらうか。それ等の重要なる人々をして前頭の十二三番に持つて行き尚ゐるしさは淫的社會主義者などゝして取扱つて居るが如きはその『赤番附』の與太あき過ぎる著しさが判からう。更に再言する迄もなく日本の社會主義者としての眞の肩章を擔ひ得るものが幾人あらうか、若し堺流山川流の社會主義者をして社會主義者と言ふ能はずとすれば『番附け』の東の方はその大部分を非社會主義者とも言へるであらう。果して日本に幾人の眞の社會主義者ある哉、私は靜かに絕叫する。

モ一ッ重要な事は『番附け』の最後に並べられた及び張出し大關の二ッである、之れは薄々考へる處『番附け製

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

[illegible]プロレタリア社會に於ては[illegible]に於ける私有[illegible]所[illegible]生産機關[illegible]のである。そして、[illegible]制度の[illegible]を擁護してゐる所謂[illegible]の社會[illegible]である即ち、[illegible]人民の大多數を[illegible]勞働者[illegible]へ働き[illegible]組織[illegible]社會の[illegible]支配したブルジョア[illegible]うとして、[illegible]の力を使命を[illegible]勞働[illegible]を作り出したのである。

ここに於て[illegible]

かくて[illegible]

三 [illegible]

[illegible]

勞働者階級は先づ、政權をブルジョアの手から奪取して、プロレタリア國家を建設する、そして、その國家に依つて、生産手段[illegible]をブルジョアの手から奪取し、これを[illegible]これを[illegible]プロレタリアを[illegible]しても[illegible]（つまり[illegible]）を[illegible]一切の[illegible]を[illegible]

そして[illegible]の[illegible]るであつて[illegible]の[illegible]する。

（了）

妄想斷片

哲之輔

回

アメリカで買つたものと
自慢する
社長の金鎖りがポケットで
ブル／＼震ふ日は近し

回

俺達が夜業に疲れて
歸るころ——
二〇二號の自動車が本宅に入つた
何處で昨夜は明かされたやら——

造』の共産黨の細胞とか言ふ人の考へに、社會主義の雜誌を發行し、その雜誌を持つて會社、商店に廣告を取りに行く考へをして殊更に侮辱の言を持つてしたものらしいが、若しそれが眞實であるとすれば甚だしき生意氣な、自己の低能さを表示したものである。會社及び商店に廣告を取りに行く事が何れ程侮辱される理由となるのだらうか。何日の世であつたか堺氏が改造の『社會運動のブローカー』と言ふ題で會社商店の廣告取りを非常に侮辱して書いてあつたが、御本人の堺氏は會社廻りより、ブルジョア邸宅の塵溜めをあさる泥棒犬よりもモット／＼汚ない、劣等な生活費求めに窮々として居るではないか。山川氏、堺氏が商賣雜誌『改造』社長の御氣嫌を窺つて原稿のお買上げをして貰ふよりも、小さいながら微弱ながら自分等が雜誌を發行して廣

——七十五頁につづく——

天津罷業の眞相と共通せる資本家の態度

北京　王子言

天津裕大公司工場破壊の報が傳へられた十二日の午後、私は早速天津に出掛けて三日間滯在して歸つた

先づ工場の現狀を視察し次で各方面の話もきゝ、同志の紹介で支那側のリーダ達とも直接會つて充分その言ふ所も聞いた私は、此事件に就いて最も公平な報道を提供し得る立場にあるものと信じ、左に之れを述べやうとするものであるが、惜しいことには私は其の結論として私が前に青島罷業の調査に於て得たそれを再び繰返さゝるを得ないのである。

然し紙面の都合もあるから詳細なことは上海、青島事件と纒めて別にパンフレットによつて發表するつもりであるからこゝでは天津紡績業の大勢、罷業の經過、工場破壊の原因、資本家の態度、其他に就きて之れが大体を述べるに留めて置く。

然し、私は讀者が之れにより事實の眞相が如何に日本及び日本人に誤り傳へられて居るか、及び小數の資本家が彼れ等の利益の爲め如何に日本及び日本人を外に惡宣傳し民衆と民衆の結合を阻碍して居るか、の一般を察し得ること、信じて居る。

×　×　×

(一)　天津紡績業の大勢

恒源　曹錕一派のもので現時振はず天津方面にはじめて生れた直隷模範紡紗廠の後身
資本　四百萬　錘數　二萬五千　職工　二千五百

華信　支那人經營
資本　二百七十　錘數二萬七千　職工　千二百

北洋　同
資本　三百萬　錘數　二萬五千　職工　千三百

寶成　米國の資本で運轉
資本　三百萬　錘數　二萬五千　職工　千七百

裕源　大倉組より大部分を供り入れた資本にて運轉
資本　七百二十萬　錘數　七萬　職工　三千

裕大　直隷派王克敏一派の經營にかゝるもの奉直戰後成績擧らず民國十一年に後東拓より百八十萬元其他より二百十八萬供欵せるも昨年十月來休業　本年六月改めて東拓の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

經營に移して事業再開す。

資本 三百萬 錘數 三萬五千 (運轉數一萬五千)

以上各工場共表面は孰れも支那の會社となつて居る。

(二) 罷業の經過に就て

本月はじめ發成工場の職工が賃銀一割増しを要求し罷業僅か一日にして目的を達したのをキッかけとし各工場も前後同じ樣な要求を提出しそれ〲成功した。そして勞働者は會社側が認めやうと認めまいと兎に角工人會(勞働組合)を組織した。かくて最後の順番は十日裕大工場に廻つて來たのである。

裕大の職工は十日午後十時左の七ヶ條の要求を提出し會社は翌日午後四時回答する旨を告げた。

一、工人會を承認すること

二、青島上海にある日本人經營の會社に使用勞働者の工人會組織を承認する樣勸電を發すること

三、解雇職工を復職せしむること

四、故なく職工を解雇せざること

五、賃銀を左の如く値上げすること

イ、四十仙以上は十仙、以下は十五仙値上

ロ、カセ機十臺に付五仙、荷造り百個に付三仙増

六、徒弟には月四元の手當を給し外出を自由にす

七、晝食時刻三十分前より任意食事せしむ

之れに對し約束の時刻會社當局は賃銀一割増徒弟の手當は月四十仙、工人會は支那政府が法律で認めてからのこと、し其他は悉く承認する旨を答へた。

(三) 工場の破壞に就て

十三日正午私は工場の現狀を觀察した塀の處々も壞れ、事務所の內部は美事に荒され工場內の各種機械も隨分破壞されて居た。當時の情況に就き會社側は左の如く語る

「職工の代表は會社の答へに滿足し之れを一同に告げるべく事務所から辭し去らうとした。處が此時聲援の爲め門前に集まつた各工場の職工等約二千、强ひて門內に入らうとし遂に萬一を慮り來場して居た二百餘の官憲と衝突するに至り、官憲は亂入せんとする彼等を制し切れず示威の爲め空に向け發砲した。之れが爲め彼れ等は一層昂奮し結局場內に亂入したのである。急報により九時過ぎ五百の軍隊がかけ着けた時は職工團の引揚げた後で屋上庭園に危く難を免れた十八名及び重傷を受けた二名の吾々邦人はその後やうやく租界に引揚けたのである。

自分等の會社の職工は全く會社の回答に滿足して居たものであつて暴動者は大部分他工場のものである。機械の破壞は實に要所々々を專問的に狙つたも

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ので、餘程組織的に、計畫的に行はれたものでなくてはならない』云々とて頻りに背後の陰謀者、特に同業の指嗾を暗指して居た。

日本の通信機關は青島に於てもそうであつた如く忠實に會社側の説を報道して怠らない。然し彼れ等は破壞とか陰謀とかいふ表面の文字に昂奮するのみで眞の源を顧みやうとはしない。從つて日本の讀者は新聞を通じて『共匪主義』『陰謀』『煽動』『破壞』の字句以外のことを支那の勞働爭議から聞き得ないで居ると思ふ。

成る程職工團は亂入した然し亂入と發砲の孰れがさきであつたかを論ずることは水掛け論ではないか。成る程機械は非常に壞されて居るが然し大部分は入口に近い處と室内の眞中を通ずる路の兩側のみであつて壞し易いものでも面倒臭い所のものには手もつけないのである。決して組織的な行爲とは見られない。要所々々のみを壞したといふが、御承知の如くあの頑丈な機械であるから棒などで毆いた所ビクともするものではない。從つて『壞し易い所を毆いた。壞し易い所は多く機械の要所である』が公平な批評であらう。

破壞行爲の突發的なものであつたことは充分認められる所でリーダ達も『如何に資本家が憎いからとて勞働者が自ら自身の生活して行くべき路を蹴散らすべき筈はあり得ないことである』とてあの結果には困つて居た程である。

又如何に競爭心に燃えて居やうとも一方の資本家が結局彼れ等の味方ではない所の勞働者を指嗾して對手側工場の機械を破壞させることのあるべき筈も想像されない。

然らば突發的のものとして之れを誘導したものは何か？私は之れに對し次の事實を擧げる。

『上海方面は早くから産業が發達した丈けに勞働者の技術も進歩して居る。從つて天津でも後進の各工場は最初必要上から多數の南方勞働者を採用したが彼れ等の頭が其腕に正比例して進んで居る丈けに搾取を專らとする資本家達は機會ある毎に、又北方人で間に合ふ限り漸次之れを逐ひ出す方針をとることに於て一致して居た

六月東拓が裕大工場の運轉を再開するに當つて當局は右の旨趣より北方勞働者は無條件に復職もしめたが南方人に至つては新たに補缺を採用した迄で之れが採用を肯じなかつた。南方人で復活し得たのは修繕部、電氣部等、昨日今日の者では間に合はぬ部面のもの丈けであつた。で多くの南方勞働者は他の工場に吸收されたものもあるが失業のまゝの者もあり、中には專門外の勞働で生きて居るのもあり孰れも會社の心事に好い感情をもつては居らぬ。』

右は直接犧牲者の一人から聞いたことで

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

もあり、又會社當局にも質問して事實を認めさせた點である。

今交渉の聲援の爲め各工場の勞働者が紡大の門前に集まつたとする時、彼れ等が卒先此一團に加はつて居たことは當然察せられると同時に彼れ等の内氣の早いのが『エイ此野郎位な調子で機械の一つも毀つたのが既に巡警との衝突で昂奮して居る一同の群衆心理的行動のキッ掛けとなつたとも察せられるのである。

（四）待遇に現はれた資本家心事

上海勞働者に對し資本家は許さる丶限りの横暴を逞して居るが、北方へ來る程即ち勞働者の自覺の程度の遲れた所程その度も烈しい。從つて同じ資本家で同じ事業を同じ國内に經營するに當つて青島の待遇は上海より惡く天津のはその青島より更に惡い。

天津各紡績工場の如き從來四十仙以上四割以下六割平均三十五仙見當にして内最も優遇されて居るといふ稱讚する最近三十五仙平均より四十仙に達したに過ぎない。然も之れを勞働者側に言はしむれば勞働者の二割は女工、五割は二十歳以下、最低十五仙、四十仙を出ずるもの極めて稀にして平均三十二三仙を出でずとある。

か丶る資本家の無法な態度に對し一方支那側の自覺者としては、彼れ等が自覺者としての責任觀念から昂奮する程度が南より北に來る程痛烈となるは當然な話である。

突發的な事件の裏面に前述の如き幾多陋劣な資本家の心事を語る導線のあつてことを顧みず彼れ等は一圖に『暴行』そのものを持し出し『煽動』とか『陰謀』と云つて皮相な言句を並べて居るのである。

（五）一貫せる資本家の態度

青島の職工は組合の承認、給料の値上支拂方法の改善、衞生設備の改善、罰則の改善、第十四ヶ條の要求——無理ならぬ——を出し二週間惡戰苦鬪の結果

（一）食事時間の十五分增

（二）夜業食費（三仙）の一仙增

（三）メリケン一人一ヶ月一袋に限り市價より四十仙安く賣る。

丈けで復業を强要せられ遂に悲しむべき第二回の罷業となり、之れが官憲の取締りで解決するや待遇が所謂不良分子を生むもとなるを思はず不良分子は元來不良分子として存ずるものだと信じて居る。會社は最ら大丈夫と所謂不良分子の首を始め第三回の罷業を誘起した。

此三回に亘る罷業の失敗は益々『官憲唯一の取締りがの手段である』との信念を深からしめ遂に天津の當事者をして『天津の奉天派の管下である、こ丶ばかりは決して……』と公言せしむるに至つた彼れ等は今尚此の信念にかたまり日夜取締々々と叫んで居る。

西部加奈陀の勞働事情

スコット・ニーリング

この年の二月、私は北米加奈陀のウィニペッグから、サスカッチワン・アルバータ等の部市を經て、バンクーバアの方面へと視察旅行を試みた。其途、數多の町村に立寄つた事は勿論で、餘りに長時日の旅行ではなかつたが、西部諸州の勞働者に面接したり、また住民達の生活振りを實地に視察し得た點に於ては、甚だ有益な旅行であつたと云ひ得る。西部加奈陀からは穀類、材木、礦石等が産出される。だが製造工業は餘り發達しては居ない。農民達の生活は極めて原始的なもので、廣い平野の中に、丸太小舍を立てゝ起居してゐる。丸太小舍と云つても僅かに三室位を有するに過ぎず、其一室が倉庫の代用に、そして他の二つが臺所と寢室に使用されてゐると云つたやうなものである。勿論、立派な家屋も絶無と云ふのではないが、それは主として大企業家の住宅で、多數、小農達の家々は、まことにみじめなものである。

平野に樹木の少いせいか、此地方は一入渺漠として荒涼の狀を呈してゐるが、農民達は此廣い耕地の中に其農具を放置してゐる。農具を雨露に曝して銹さしても、それを蔽ふ爲めの建物を立てるよりは、遙かに經濟的であると皆一齊に話してゐた。冬が來たとて家畜の爲めの小金もないのだから、雪の積つた上を牛や馬が遠近に飛び廻つてゐる。茲四五年の間農民達が經濟的に行詰まつた中を如何に切拔けて來たか、其苦辛の程は私の像想以上であらう。加奈陀に四五年の旱魃が續いた事を、讀者はよく御存知の筈であるが、それでも尚企業主共は、平年通りの搾取を辭さなかつたのである。

一九二〇年以來、小麥の市價が非常に下落したので、農耕事業には收益が少く農民は新たに農用家具の建築や、事業の擴張が出來ないまでに行詰つてしまつた自作農が僅か計りの所有地を質入し、または之を賣却しようとしても、地價は既に從前の七割位まで下落してゐる。春の始めに土地は賣買され、或は質入されるのであるが、農民達は入質の期間が過ぎても尚其利子を拂ひ得ぬので、質屋業者や信用組合は、新らしい顧客に貸付けが能きない破目に陷つてゐる。ウィニペックからバンクーバアに至るまで、目下幾萬の農民達が其債務の爲めに泣かされてゐるかわからない程である。私の立寄つた村々でも、幾多の人が失業して困つてゐる有樣であつた。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

斯くの如く農民達の生活の標準は低下され又或る人々は失業を已むなくされてゐるのに、加奈陀の有産階級は、更に多くの勞働者を他方面から吸收して、低額な賃金で働かせようと腐心してゐる。農民や勞働者が斯く窮して行く他面に於て企業主丈けは益々繁榮に向つて進みつつあるのである。西部の各州と都市とは盛に公債を募つてゐるが、合衆國や加奈陀の有產階級が之に應じ、比較的にいい利率で懐ろを肥してゐる。

今や西部加奈陀に於ける農民や、其他の勞働者の經濟狀態が頗る悲慘なものとなつてゐるので、勢ひ彼等の心理は、正に交戰狀態とまで高張して來た。實に進取的であり、攻勢的であり、革命的である　資本家の搾取がプロレタリヤを此情勢にまで導いたのは當然の成り行であらう。

西部加奈陀には現に二種の農民團體がある其第一は更に互つに區別さる可き者ではあるが、ここ數年間、同じ步調を取つてゐる。時に購買等の事に於ては、共同して當つてゐるも、それは可なり微溫的な團體で、無產者の結束として强固なものではない。第二は農民組合の名に於てここ二年間、樣々の運動をなして來たもので、既に二萬人以上の會員を有し、加奈陀の農業界に相應の意義を持つたものである。此組合の宣言書の序文に、

『近代の社會は之を二階級に區別す可く一は所有するのみにして生產せざる者であり他は生產する人々より成る……………此二階級の間に不斷の鬪爭が存在する……生產者は常に勞働者であるのに、分配の實際に當つて生產せぬ者が有利の地位を占める。ここに於てか階級鬪爭は已むに已まれぬ事情に基もので、生產者の身に取つては、正義實現の爲めの道德的行爲である』とあるを見ても其意氣を說ふに足るものがあらうと思ふ。

『農民には、其生產上の犧牲に相應した收入を要求するの權利がないであらうか若し此權利が吾人に無いと云ふならば、我々農民は餓死するのはかない。我々の生死は延いて有產階級の餓死ではない、故に我々の鬪爭は、有產階級としての彼等の地位を　　することを以て目的とするが、同時に人間としての彼等の生命を救ふ事を以て其理想とする』と。……

更に言葉を續けて

『今や資本主義の力は樣々の名目に於て團結し、而して團結をせざる無產者の血を　　　　　　　　。此秋に臨んで此惡鬼の力を抑制し、此人非人を膺懲するの手段は我々勞働を事とする眞人の團結に待つのはかはない』と結んでゐる。

而して此組合は亦、合衆國のそれらとは異り、單に加奈陀永住の公民と云はず何れの國の人民をも自由に加入せしめ、又何れの國の組合とも自由に提携しようと努めてゐるのである。其意味に於て世界的の組合と云ふ可きものである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

だが現在に於て、此組合運動の防碍となるものは、小麥の協貿の制度である。此協貿團體たる所謂プールに加入してゐる農家は、五ヶ年間は其團體から脱退できない事になつてゐて、この春も亦加奈陀產出の小麥の約半量が三組のプールに依つて處理せられた有樣であるから、事實、穀物の相場が上下するのは、此プールの幹部の手加減に依るものである。通例、農民達は秋に於て其小麥を賣買するので、從つて市價は秋に於て最も低下する。小麥がプールの倉庫に移る時、農民は若干の現金を受取り、更に三月と六月に於て、幾分の配當金を受ける事になつてゐる。此制度の下に、これに加入してゐる農民達は、小麥の同程度の品質のものに對しては、同等の金高を受ける事になるのである。

私は農民達の多數と親しく語る機會を得たが、彼等は一齊に云ふのであつた。『若し小麥の値段が昂騰するような事があると、プールの幹部は農民をして小麥の爲め耕作地面を增加せしむるのであるそこで再び市價が低落する事になる。結局農民は永久の貧乏に閉ぢ込められる譯である』と。

だが西部加奈陀に產出せらるる小麥の他の半量が此プールなるものに依らずして農民達の手に自由に處理せられてゐるのは、せめてもの僥倖である。惟れやがて、來る可き日の農民組合の勝利を物語るものである。加奈陀の農產物が舊式のプールではなく、新進の農民達に依つて直接管理せらるるやうになれば、農業問題もおのづら解決せられるであらう。

今の處では農民一同が『私達は生產はするが何物をも獲得しない。私達が加奈陀の繁榮の原動力であるのに、私達の生活を見て下さい。これは昔日の儘の奴隸生活に過ぎません』とかこち居るの有樣である。

かくの如く此地の農民達は、極度の窮迫に泣いてゐるのであるから、全體として彼等の思想は、工場勞働や運輸業者よりも急進的に、そして左傾的になつてゐる。隣邦の合衆國では、農民の團結は困難中の困難とされてゐるが、こゝ加奈陀に於ては、農民こそ來る可き將來に、唯一強固の大組合を形造らうとするの形勢を示してゐる。

次に農民以外の勞働者の組合を一瞥するにそは目下の所、餘り統一されてはゐない。亞米利加勞働聯盟、鐵道同胞、鐵道從業員加奈陀組合、都市勞働者聯盟、IWW運動、バンクーバア勞働組合等が其主なるもので、最後の一は其性質上サンヂカリズムに類したものである。鐵道同胞は量に於ては相應に優勢であるが、鐵道從業員が加奈陀聯合とは全く無關係な立場にゐる

然し乍ら勞働者は追々接近し合はうとするの徵候を見せてゐる。特に加奈陀の共產黨は、組合の合同運動に熱心に奔走

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

してゐる。勞働者の感情も亦、互に提携する事に向つてゐるのであるから、やがて唯一の組合としての合同が實現されるであらう。

加奈陀勞働黨の書記は又、亞米利加勞働聯合の一員である。そして加奈陀の勞働黨は其政綱政策として英國の勞働黨に倣ひ、無産勞働者の各種組合を糾合しようと努めてゐる。バンクーバアの市議戰には、共産黨員にして加奈陀勞働黨の後援の下に當選した者もある位である。西部諸州に於ける經濟的窮迫は勞働者をして、近來政治運動に向はしめつつあるので、やがて彼等は、農民とも協力し、單に經濟的と云はず、、又政治的にも有産階級と對抗するようになるであらう。

此地方の住民は、合衆國人とは全然違つた氣質を有つてゐる。それは寧ろ、我々英國人に近く、殊にアングロ・サクソン式の良氣質を備へてゐるのである。日々の勞務に、或は農場に、或は工場に於て孜々として働いてゐる彼等が、今の處餘り目立つた運動をしてゐないにしろ、牛のやうな意志を有つた彼等は、必ずや千里の道を行かねば止まぬであらう。其處には合衆國のやうに、勞働運動を職業としてやつてゐる者がゐない。會合がある時でも、彼等は勞働服の儘で參集する。即ち彼等は思想に於ては急進的であつても、合衆國人のやうな煙草師式の所が少しもない。合衆國の勞働運動者には、只ドンドンと煙火を打上げて、山火事が出ようと、どうならうと、云はば野糞をひつて尻を拭はぬ類の人物がザラにゐるのであるが、加奈陀人は斯うした多血質的な輕擧は敢てしない。其代り、其膽汁質的な彼等の意志に、今日の勞働制度が不合理極まるものである事を、深く銘刻して、やがて世界の勞働界に何物かを貢獻しようと期してゐる。

特に露細亞に對しては多大の注意を拂つてゐる。彼等が口を開けば、即ち互に露國の事情に就て語り合ふのである。然り、今日世界の人類に共通な大問題は所詮一つでなければならない。即ちパンの問題である。此第一義の問題が解決せられない間は、そこに眞の藝術もなく、宗敎もなく、又道德もあり得ないからである。彼等は皆一樣に私に問うた。露國の工場は如何にして運轉せられ、露國の生活標準はどの程度のものであるかと。また革命前の露國、今日の露國、而して將來の露國はどう變遷して行くであらうかと。彼等は斯うした問題を、狂言や茶番ではなく、生きむ爲の實際問題としな、眞摯に探究しようとしてゐるのである。

私は世界の各地を旅行してゐるが、其古い經濟制度が全く不評判となり、人民が擧つて新制度を熱望してゐる點に於て此西部加奈陀の右に出づる者は無いと云ふ事を、實地に觀察した次第である。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

無產階級と醜婦

高群逸枝

職業婦人が二三人寄ると、美醜問題に就いて話が持ち上る。職業婦人とその美醜問題、これはいかにも重大問題であつて男性支配卽ち階級支配といふ意識を、かくまで明確にするものは無い。

私共は男性支配の起源が、同じく無產階級劣敗の起源であるのを見てゐる。婦人が男性に支配されたのは、同じく或る男性が他の男性に支配されたのを意味してゐる。しかして斯くの如き支配階級の起源は、婦人における美醜の起源、乃至その陶汰の起源である。

元來婦人は美醜の別なき、ある他のものであつたのであるが、有閑男性の支配乃至陶汰によつて、遂に今日見るやうな狀態となつたのである。

そこで陶汰とその遺傳とによつて、美人は多く貴族の家に生れ、都市に多く生れ、無產階級、いはゆる腹からの下賤な家系の子には多く醜婦が生れる。

『粧つてゐるからだ。粧らなけりや都の女でも田舍の女でる同じだ』といふ者がある。がいたましくもそれは事實でないどん底なる下賤育ちの者共には、長年代の強ひられた勞働・壓制を蒙つたその烙印が、肉體となつて殘つてゐる。それと同樣、長年代『氏なくして玉のうてな』へ搾取された美の粹さへ下賤の婦人には無い。

醜婦は長年代の劣敗者の衣鉢を受けついでゐるもので、『ひなには稀な美人』の出現すら、それは多く、その美人の家系が曾て優勝者であつたことを示す。

さて斯くのごとく考へてくると、無產階級と醜婦とは不離の關係あるものがある。無產階級、貧乏人、奴隸、かうした言葉が、有閑階級治下の社會にとつて、絶えず不快と不安とを意味してゐたやうに、醜婦といふ言葉はそれ自身不快と不安を意味してゐる。社會は擧つて醜婦意識に蓋をしたがる。社會のどん底に醜婦といふ不快なけだものが蠢めいてゐて、血はしつた怨んだ眼で、あたりを見まはしてゐるといふ想像は愉快なものではあるまい。

また長の年月、無產階級は無視され、文學などは、主として貴族乃至金持どもに關する材料で滿ち、きたならしい下賤な者を描くことには、藝術家自身も社會も何等興味をもたなかつたのと同樣歷代の文學中そこには主として美人が描かれ、たまに嗤ふべき、はた哀れむべき存在としてのみ醜婦は出てゐるに過ぎぬのである

では諸子よ。我々はこの問題に關して

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

いかなる自覺、いかなる態度をとるべきでらうか。支配階級の敎化や陶汰は、こゝに至つて眞に毒々しく、根强いものであることが分る。

なぜならいかに無産階級の諸子といへども有閑男性が製造し、代々陶治しきつたところの婦人の美に對しては、恐らく彼等と同じ態度でをられるのではあるまいかと思はれるからである。

けれども昔下賤であつた諸子が憎みてもなほ餘りある彼等を粉碎しようとして蹴起されてゐるなさるといふ事は、同時に昔醜婦であつた婦人が驚くべき叡知と誇りと新しき美をもつて彼等横暴のともがらを粉碎すべく蹴起することをも意味してゐる。なぜなら無産階級の蹴起は同時に婦人の蹴起ではないか。

かくして始めて我々無産階級の男達は遊惰にしな退屈、下賤にして淫逸なる有閑階級の男女關係、泥で作られ泥に瀕してゐる玩弄的關係から脫れ、女性の眞體かの眞秘なる（敢ていふ）宗敎的對象をそこに見るであらう。そしてそれは必ず美醜の進化を形づくる一轉期とならねばならぬ、いなる筈である。

すなはち從來の女の美醜は征服された物質の器械的遺傳からきてゐる。けれども將來にあつては、內內面即ち魅力（自覺せよ、解放されたる、更に彼等を征服する）が主要條件となつて、その外貌を支配するであらう。

無産階級の諸子を、女は男と見てゐるかの馬鹿げたブルジョア階級の美の觀念を排斥し、一層進んだ美、そして關係を我々男女の上に咲かしめるやう不束ながら私も今後努力する。諸子もまたこのことに就て（恐らくこれは諸子にあつて豫想外の問題ではなかつたか）理解、自覺され、さて男と女手を携へてブルジョア社會制度粉碎へ突進すべきである。ブルジョアジーの戀愛は女にあつては眞の戀愛ではない。眞の戀愛は社會的革命運動を一層勵まし、熱づけ、力づけ、犧牲的ならしめうる絶大なる神秘力を負ふものである。なぜならこの社會を粉碎するといふことは男と女の同じ熱望、火の燃ゆるに似てゐる宿命的衝動でからである。

妄想斷片

哲之輔

◇

友待つ間——
涙にぬれて小娘が
習屋で習ふ三味の音は
〇〇日にどんな役割をするか
と——想ふ

◇

ロイド眼鏡をかけると云ひ——
ルバシカが着たりと云ふ——
工場でこの夏知つた
ヨタ者の彼
來年の夏は何んと云ふらむ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

大衆の生活と藝術家

服部 [illegible]

一

[illegible]

二

[illegible]人間は生きる爲めに生れ、そして生きる爲めに生きて[illegible]

[illegible]

己れの藝術家の爲めに盡す事によつて、[illegible]

[illegible]

世界各國に於ける吾々一般大衆の生活は[illegible]らだらう。世界に於ける吾々一般大衆は己れの國家内にあつて決して生活しうるか、否、吾々一般大衆の家族は常に不安である。常に窮乏である、不安である。[illegible]窮めであるが故に、全世界に於て資多の數限りない生活の保障機關が色々、一般大衆の上に存在して居ないのである。これは何とすべきであるか。吾々一般大衆たりとも人間たる限り、どうしてその生れ、そして育つて生活してゐるところの己れが國を愛さずにをられよう。しかして吾々一般大衆は常にその己れの國家内にあつてその國家生活の基礎をなしてゐるところの勞働に從事してゐるのである。しかもこの重大な生活に從つてゐるのは[illegible]一般大衆とすべきにない。[illegible]の[illegible]。[illegible]の一般大衆[illegible]。然らば吾々一般大衆が[illegible]の國家を

擁し、吾等これの國家の爲めに働きつくしてゐるかが解らぬであらう。然るに吾々は彼らに反ず、吾々一般大衆の生活の不安、生存競爭[illegible]その日その日を送る餘裕のみに窮々として如何に苦しまなければならないか。吾々の[illegible]は何なのであるか。寧ろ己れの國家を愛し、己れの國家に奉仕する爲に吾々の生活の必要をさへ[illegible]犠牲にしてゐるのではないか。吾々のその生活の不安と生存競爭は何故にあるか、さう考へれば[illegible]いつのか、吾々は寧ろすすんで[illegible]ない。

三

いつたい國家とは何か、それは何時如何にして吾々人間の社會生活の上に現はれて來たのであるか。

原始の人類が人類として社會的生活をなすにいたつたのか、社會的生活が原始時代にあつて自然の力とたたかつてその生存を確保し發達するための最も良い生活樣式なるが故に人間が自然と採用するに至つたのか、これは原始時代にこそ人間にての出現の當初から[illegible]的生活にて居り、しかもこの生活は原始共同の生活であつた。學者はその研究に發表してゐる。人類が[illegible]既に[illegible]、各々人が別々に生活の生活を營んで居つたならば、どうしてその[illegible]、しかしてその當時の人類が[illegible]、各々のその生存を[illegible]とする實、それが共同生活[illegible]ならば、その生活の[illegible]最も良い生活をあげる事に、[illegible]發展した[illegible]しかも[illegible]出來ない人類とその原始[illegible]共産的社會生活をなしてゐた。それは正に己が存在を通して、[illegible]生活の基礎である生産資料の[illegible]にあつたかり、こうして生うする事によつて宗教にこゐた、そして、この原始[illegible]の[illegible]に[illegible]何かの[illegible]

活資料の騰貴を生ずるやうになるに至つてから、その国家の上には、その権力や[illegible]せしめ、この社会的生活の為めの社会[illegible]の一主義、即ち[illegible]が組織されれ[illegible]国家の[illegible]として、吾人の生活を続けて確保する為めの社会的生活この[illegible]的年齢の為めの[illegible]を己れの生活にふさはしく[illegible]うになつた。かくて国家は[illegible]に於つて、[illegible]た。国家の出現と共に[illegible]、己[illegible]

[illegible]

たのであ[illegible]

あり、己れの国家が他国によつて脅かされる時にその国家内の一般大衆の生活も亦脅威される時であるが故に、己れの国家を擁護し、己れの国家の為めに[illegible]ねばならない。己れの国家あるてこそによつて一般大衆はそのことよに豊富した幸福生活を得るのであるが、国家意識を喚起し一般大衆の階級意識や支配を減殺化し闘争心に導き誤らせる事によつて、支配者こそ寄生的の者くして益々その[illegible]利益の生活を確保する事が出来るのである。国家一国家なるものは、支配者なる者が、一般大衆のその生を搾取し研究する為めの社会的生産能的手段を掌握[illegible]するの機関に過ぎない。[illegible]に於てはその支配者たる一階級が掌握するせ一の[illegible]

[illegible]

にへつくし[illegible]の生活の動揺なる重大なる生

国家の[illegible]の存在と発生すべき混乱され、有産[illegible]国家の機構[illegible]から離[illegible]させ[illegible]この有に落させられるに[illegible]無産階級として生活を営めで、日己闘ふに国ふから、生存そのものさへ脅かされてゐるのであるから。

四

茲に、吾々は、茲に己れの国家を愛し己れの国家の為めに尽す事によつて、世々世界各国に於ける一般大衆はそれぞれその[illegible]な生活を得る事が出来るならば、吾々一般大衆のこの生活の不安、生活は調和[illegible]

[illegible]

完

農民に訴ふ（三）

谷口直平

此の農村に於ける地主と小作人との主縱的觀念は、此社會政策的溫情主義と相俟つて階級鬪爭を瞞着すること夥しいものである。しかも之を因盾する舊道德の觀念は强固に之を持續せしめやうとする。事實の經濟關係は明かに之と相反してゐるに係はらず（喩へば昨日まで旦那々々と云つてゐたものを明日より敵として考へると云ふことは、賢朴な農民にとつて苦しいことでもあつたらう）常によく自分の意志を曲げて默從して來たのであつた。

最後には今日までの社會主義運動は餘りに地方農村を顧みなかつたといふことである。無論資本主義の中心は都會に在り、都會に於ても隆んに運動されることは此等の不合理でもないが、都會に於けるプロレタリヤの一部分のみで最後の社會[illegible]を決定出來やうとは考へられない。此時に尨大なる農村無產階級が振はてゐるのだ。今日如何に一部の人々が痛烈に叫んだ處で此の大多數の農村無產階級の動かぬ中は滅多に事が達成されるものではなからう。まさか之に着眼出來なかつたでもあるまいが、中央に出で早く華々しい運動をしなかつたり、賣名しなかつたり、地方の運動が餘りに困難過ぎたりして、今までの運動家と云ふ運動家の大方は都會に出てしまつた。それで唯さへ困難で一寸手のつけ樣のない農村運動が益々取殘されて來た譯である。大体以上の樣な理由で今日までの農村無產運動は急激に發展しなかつた。

（五）

作然　昨日の運動は今日ではない、昨日の不振に今日の進展に向はずんば滅亡の他はない。が、幸ひにして歷史は進化の方則を曲げて證明してはゐない。昨日の運動不振を逆轉して今日の發展に、明日の達成に樂しまんとするのは我々の任務でなければならぬ。更にまた我々は其の可能を固く信ずるものである。

農村に於ける資本主義の發達が緩漫であつた。しかし其の事は直ちに資本主義的搾取を受けることの割合に尠いといふことにはならない。否大局から見て農村が都會程資本主義化されてゐないと云ふことは、更に大なる資本主義的搾取を被つてゐると云ふことになる。其の譯は、國際的に未開國が、甚だしくは半未開國が文明國に搾取され支配されて行くと同一である。資本主義國際間に於ける支那の如く、印度の如く、朝鮮の如く資本主義國下に於ける農村の二重的搾取は前に書いた通りであるが、斯くの如き搾取歷

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

迫が今後更に續くものとするならば、其處には當然、嫌でも應でも新興農村無產階級の一大勢力の擡頭を見なければならないことになつて來る。

又軍國主義的反動勢力の逐驅、地勢上不便利なりし結合に對する新方法、傳統的主從關係の舊觀念打破等は、今後の運動方法の如何によつて決定せられるものである。それには農民組合等が近頃各地にかなりの運動を進めて來た樣である。月々に起る小作爭議の實狀を見ても、如何に其の現實化され如何に發展しつつあるかを見る事が出來る。

しかし現下全國にわたる尨大なる農民階級の、其の大半は未だ資本主義制度の下に暗い眠りを續けつつ、來るべき新社會の黎明を望まふともしない狀態を見る時、日本に於ける農民運動は更にこれからであるといふことを痛切に思はざるを得ない。

（六）

再三重ねて云ふ。資本主義下に於ける農民は地主對小作人、都會對農村の二重的搾取に苦しんでゐる。生きるにも堪へかねる小作人の實際生活は、種々なる統計書を見るまでもなく、小作農民自身がその辛慘をなめ盡し、知りつくしてゐるはづである。おそらく此の儘、等閑にして捨てて置くならば、唯、時々刻々農民階級は、そして農村は疲弊から疲弊へと墮ち行くのみであらう。しかしそれはブルヂヨア政策家等の主張する如き、農村振興策などに依つては到底何事をも期し得られるものではない。彼等は唯彼等を襲ふ彼等自身の罪の報ひを防がんとするものである。今一度ハッキリ言へば彼等（支配搾取階級）は我々（被支配搾取階級）の敵であるのだ。敵たる者若しくは敵の走狗たる者の成草に敢て我々は何等の期待をも要しないはづである。小作人は小作人の立場から人間として生きるに正當なる權利を公然と要求するのである

ブルヂヨアの結んだ鐵鎖を斷つものはプロレタリヤの大きな節高い手にのみである。小作人制度の全廢はおそらく小作人自身によつて成されねばならないだらう。されど全プロレタリヤの解放は工場勞働者、小作人、其他の無產階級の手によつて成し遂げられねばならない。即ち全無產階級の總團結が必要なのである。然し同じ被搾取階級に屬してゐながらも各々其の職業の形態が異る處から、時々小利害の相反する場合が多々ある。其處が小さな個人感情とともに團結を妨げる厄介さであるが、更に今一歩深く考察する時、即ち社會運動の目的はあらゆる賃銀制度の撤廢であり、小作制度の全廢であり、資本主義制度の一過程であることに氣附くならば、比較的容易にことが運ばれると思ふ。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

朝鮮社會思想運動管見

金　熙　明

一此一篇は何ら系統のない寫實的散文である事をお斷りしておく一

朝鮮に於ける無産階級社會主義運動は民族主義に基く獨立運動の餘勢を承けて醱酵した觀がある。卽ち『朝鮮勞農總同盟』と『朝鮮青年總同盟』とが組織されたのは大正十三年の春のことで反逆運動を經て[redacted]に餘りある彼の朝鮮獨立運動卽ち排日思想が形式上とは云ふもの丶一段下火した當時のことである。

凡ての國家社會の軍國主義者資本主義者が敵視してゐる無産階級社會主義運動は朝鮮に於ても同じく彼等への挑戰であつた。彼等民族主義者に取つての社會主義者は卽ち日本對朝鮮の如き對峙で決して妥協を許すべき性質のものでないからである。ある意味に於て社會主義運動は朝鮮獨立運動の否定で資本の國境を問はず彼等の標的は單に資本主義の破壞にある。朝鮮に於ける社會主義思想の醱酵は獨立運動排日思想の如く總督政治の反動と見て好い。朝鮮獨立運動蜂起の緒口がウィルソンの民族自決主義を旗印に進んで來た傾きもないでもないがしかし斯くの如き深刻さと熾烈さを保つて來た意志と力は總督政治に對する潛在的意識の覺めた活動といはなければならぬ。寺內總督の如きは武力の神である。厄除けの神として充分な價値がある。朝鮮民族の白骨の深底、一本の毛髮の端まで寺內の武斷政治には痙攣を起すだらう。彼はそれ程朝鮮民族に反逆意志と力とを與へた殊勳者である。

一般朝鮮に反逆運動が勃發し其勢力は鎭壓の方策を得なき狀態に墜入れると爲政者は、朝鮮に文化政治を標放し憲兵の武裝を解いて巡査の姿に變へさせた　文化政治の根本義が那邊に存ずるか解らざれど現今の朝鮮に於ける凡ゆる政策仮施設乃至は言論集會の壓迫の程度は武斷政治時代に讓るものではない。要するに文化政治の演繹的意義は所謂微笑の形であつて、それはブルジョア殖民學者の『自治主義』からさへ非常に距離のあるもので共存共榮の理論の裏には朝鮮民族に壓殺するに餘りある苛毒な鐵鎚である。要するに文化政策の他一端は資本主義の標放であつたのだ。朝鮮に於ける資本の勢力は他國に見るそれが如き觀念的概念的なものではなくそれは實質的な、體驗的

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

なものである。しかし彼等は資本主義の力に依つて朝鮮民族の獨立運動を形式上より挑除したのに過ぎぬ。即ち朝鮮民族はパンにあり着く勞働の時間の爲め、再び彼等は陰欝な炭坑に這入らねばならなかつた。農村は歸らなければならなかつた。パンの爲め現實の要求より以上に大きいものは他にない。彼等は戰線を去つて囚獄へと再び歸つたのである。之は齋藤朝鮮總督閣下の大功績である　即ち總督政治は武力の細をゆるめて資本の鞭で打ち漬けたのだ。熱釜の中にある魚の如き朝鮮民族の呻きは何等効果を齎すものでない。たゞそれは資本地獄に於ける辛苦の尺度として用ひられる丈けで爲政者の微笑に比較するものである。しかしそら力強き呻き、その底力のある呻きはいま玆に話す朝鮮無産階級社會運動を引致したのである。資本主義の成熟は社會主義への途程である。玆に朝鮮無産階級は小さき民族の殼を脫ぎ捨てゝ萬國の勞働者に呼び聲を發したのである。

× × ×

以上述べた如く總督政治は朝鮮に二つの運動を跋扈させたのである。即ちその一つは

『ブルジョア的秩序の下に政治的に獨立せんとするブルジョア民主主義的民族主義の運動』

で他の一つは

『あらゆる搾取から解放されんとする勞働無産階級及び其の代辯者の大衆運動』

である。之が現今朝鮮に於ける思想及び運動である。あらゆる殖民地に於けるそれが如く朝鮮に於てもブルジョア民族運動が漸次その地位をプロレタリア勞働運動に讓りつゝあるのは前述の通りである朝鮮社會思想運動發達を史的に考察すれば日本に於ける該思想關係と連絡する處は非常に多く、その胎生は殆ど日本社會主義發達に伴ふものと見て好い。即ち大正十年に東京にゐる朝鮮の同志の組織した星北會は勞働運動社及び進め社の如き關係と同一態度を取り加藤一夫氏の引卒に基く北幽會の如きもそれであつた。その當時東京にゐて活動した朝鮮無產階級運動の中樞的人物は甚だ多く先づ金若水、金鍾範、卞熙鎔、宋奉禹、金燦、朱鐘健、鄭雲海、朴哲、其他今は故人だが鄭又彩君等の名を見ることが出來る　金若水、金鍾範、卞熙鎔、宋奉禹君の斥候隊にその機關紙で勞働運動、進めと共に發刊されたのである。

其他大正十一年よりは大阪に於て在日本朝鮮勞働同盟會が組織され、その所屬勞働者は日本側の勞働組合と聯合して年々のメーデは勿論其他資本家對の鬪爭に務めて來た。尙大正十一年には鈴木文治君、十二年には布施辰治君北原龍雄君達が北星會と某新聞社の招きで渡鮮し又本年春松岡駒吉君達が渡鮮して同志と共に意見を交換し講演を試みたのである。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

尚昨秋東京に組織されたる朝鮮勞働總同盟は李憲君の如き健全な手腕家を惠まれて日本勞働總同盟に參加した。之等に政治的獨立運動者の日鮮背離運動に反律して眞劍に無產者の握手を超國境的に試みつゝあるのである。嘗て金若水君はソヴエット露西亞に潛渡して、多くのソヴエットロシヤの同志と叫合した。尚ロシヤに於けるソヴエット士官學校生の殆半が朝鮮人であることには注目に價するものである。

最近中國に跋扈したる排外運動即ち資本主義及び帝國主義への挑戰である上海罷業の背後にロシヤの運動家があり朝鮮人の義勇鬪士がゐたと云ふが如きは愈日中鮮、亞細亞の無產階級をして團結せしめ握手しつゝあるではないか。いまこゝに一つ忘れてはならないのは東洋に於ける印度のことである。彼の印度は政治上社會上に於て朝鮮と同一なる運命に縛がれてゐる。しかし印度は天然の豐繞に比律する自由と生活の安定を所持してゐるだが私は印度に於ける反資本主義運動の如何を聽かない。彼等は古きローマ帝國の甘夢から醒めぬものだらうか。私は印度に於けるガンヂー以外の主義を聽かせて下さる士があれば幸ひである。

× × ×

大正十二年の秋・大震災に遭遇し二千餘の朝鮮無產階級が虐殺された。私は彼等の虐殺原因が單に民族的反逆の感情に基くものだと考へると非常に淋しかつた。彼等のあるものは勿論××の爲め、あるものは暴力の爲めに殺された。しかし忘れることの出來ぬことと、驚かずにゐられぬことは、無產者がその同一なる運命の兄弟を殺い、くしたことである。彼等は誤まつた教育の仕込みに依り斯る非常識な不聰明な仕打ちをしたのである。震災で[illegible]在獄同志朴烈君はその[illegible]安否[illegible]呼ぶ[illegible]うちか。彼[illegible]唯一個の自由人である。アナアキストだ。恐らく彼程にクロポトキンに詳しい奴も大杉榮がやられてから皆無だらう。

私は大杉氏の最後の言葉として聞いたお話し『一體に朝鮮靑年は思想の根底が無い。』とそれは勿論公正な批判だらう。しかし思想の根底を與へないのはむしろ彼等自身ではなく、その環境でなからうか？之は氏の公正な批判に對する私の散慢な返事である。兎角、朝鮮靑年は血に燃てゐる。あらゆるものを燃燒するにあまりある力の熱血を持つてゐるのだ。世界に一新紀元を與へた猶太民族の再現を更生に呻きつゝある新興朝鮮靑年に見るが好い。

朝鮮に於ける思想界は旋風的に『無產階級社會主義運動』の下に叫合した。即ち『同胞の中にも敵を見出し敵中にも兄弟を見出せ』之が混亂狀態にある若き朝鮮思想家達のモットである。しかし私は公正な意味で一方朝鮮社會運動の爲めに

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

嘆くものである。朝鮮社會運動は即ちインテリゲンチヤの運動である　啓發運動としてもなほ尙早ともいふべき狀態にあるのだ。それは朝鮮に於ける結社及び機關が多くの場合日本に根據を置くことに依つて立證されるがその實際的方法論及び終局的歸着點を私は解らない。

最近朝鮮に於ける小作爭議及び勞働爭議は顯著に增加して殆ど他國に於て見ることの出來ない大多律に擧がつてゐる。最近に於ける有識階級の青年社會主義者が其の方面に着眼し、小作人組合、勞働組合等が全く彼等の手に支配されることになつたことは慶ぶべき現象で日本に於けるそれよりは或る點に於て進歩したとも云へやうか。昨春全鮮の運動家の苦心により『朝鮮勞農總同盟』と『朝鮮青年總同盟』とが組織され全鮮無產階級の團體は殆ど之に參加した。之は全鮮無產階級の比較的階級的意識に眼覺めた部分を直接に代表する機關である。しかし彼等の會の維持狀態は會費徵收の不成績、爭議基金の貧弱、等のために非常に貧弱な狀態にある係る諸事情を先進國に於ける正當な勞働組合や同盟結社等に比較して批判することは聰明でない。むしろその組織の境遇如何よりも眞實に燃燒してゐる彼等の精神を汲んで遣るべきものではないか。

× × ×

いまや全鮮の有識階級の青年社會主義者達は朝鮮勞農總同盟と朝鮮青年總同盟に組合されてゐる。彼等はマルキシズムに於ける共産主義理想の實現を目[illegible]に農村にあるものは農民に[illegible]にあるものは勞働者に[illegible]運動を起しつゝあるが、[illegible]の[illegible]で無數に[illegible]に於て[illegible]た、[illegible]遠くないのである。

今年四月に京城に於て開かれた全鮮新聞記者大會は三日間に亙つて開催された何れの國に於ても同樣に朝鮮に於ても新聞記者は思想の誘導、指導に多大なる責務を有してゐると同時に、朝鮮の社會事情は曙光を彼等に依囑せねばならない樣な工合である。彼等は朝鮮に於ける思想の代表者で有識階級である。曾て彼等は英、米、獨に學びの主部分は日本に遊學した。當時の彼等は熱烈な民族主義者で專ら母國の獨立運動の爲めに奔走したのであつた。しかし新聞記者としての今日の彼等はもうそれではないことが記者大會に於ける決議に依つても表明されるしまたその物議を釀した點に於てもうなづかれる。實に彼等の會合は朝鮮思想改革者の集ひであつたのである。

東亞日報、朝鮮日報、時代日報等は朝鮮人の經營に依る有力な新聞で他に每日申報という總督對御用新聞がある　東亞日報、朝鮮日報は何れも獨立騷動當時に創刊されたものだし時代日報は大正十三

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

年春創刊された。何れも民族思想の鼓吹に盡力しそれが使命であつたが最近時代日報を除く他は左傾的色彩が濃厚となつて來た。之は新聞經營者即ち資本家の赤化を意味するものにあらずその編輯記者達の主義に依るものである。這般東亞日報社社會部記者一同がストライキを惹起し政治部の同僚が之に應援して同情罷業を起したのである之は新聞社内部自身の思想の衝突と反資本主義運動に基くものである。

斯くの如く朝鮮に於ける社會思想運動は悉くインテリゲンチヤの運動で農村に於ける小作爭議の如きも結局は彼等の手に落着くものである。朝鮮に於ける小作爭議に日本に於けるそれの如く單にブルジョア對プロレタリヤの問題に止まるものではない。朝鮮に於ては地主が即ち資本家が概ね日本人であり日本の資本である故彼等の爭議は單なる勞資の鬪爭以外に民族上の感情問題が包有してゐるから事件が非常に顛倒で指導の苦腦も仲々一通りではない。しかし若き聰明な社會主義運は一度の失敗をも經驗しないという程好成績を擧げてゐる。

朝鮮に於ける一番大きな地主は東洋拓殖會社である。東拓は殖民地開拓の爲めに設けた一つの搾取機關でその理想は叶ひ朝鮮民族の三分の一が飢餓に泣き數十萬の農民が農村から追放されて、彼等はあてもなく南滿洲乃至は日本内地を向つて漂浪の旅に出でなければならぬ運命になつてゐる。東拓が毎年行つてゐる移民制度及び不生產貸出等の如き惡商賣は朝鮮銀行、朝鮮殖產銀行、及び同地方金融組合と相待つて朝鮮農民を搾取してゐるから朝鮮の思想運動が自然反動的に大きさを持つのは極めて合法的な事實であるのである。即ち殖民地に於ける反資本主義運動の勢力は他に引較べてより深刻で濃厚な理屈である。

× × ×

バーナド、ショーは英吉利の愛蘭統治を評して『世界に於ける罪惡史の一つである』と云つた。實にそれは名言で帝國主義反資本主義が殖民地に行ふ政策及び勢力の範圍は甚だ廣汎であるばかりでなくその搾取手段の罪惡的苛酷さは被搾取者以外の概念で量れるものでない。

以上述べた處によりて、朝鮮に於ける思想運動の概況がほゞ解ることが出來る即ち『ブルジョア的秩序の下に政治的に獨立せんとするブルヂョア民主主義的民族主義の運動』及びあらゆる搾取から解放されんとする勞農無產階級及び其の代辨者の大衆運動』の二潮流及び知識階級無產勞農運動家の聰明な活動、而して日本に於ける實際運動より深刻であると同時に左傾的色彩の濃厚である日本に於ける無產者運動に加はる無產朝鮮人運動は最近非常なる諒解と親和を極め、過去に於て經驗したるが如き民族的感情に基く矛盾せる啀みを見ないのは該運動の前途の爲め祝福すべき事實である。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

論彈

全國的無產政黨の成立を急げ

將に來らんとする總選擧の爲め

藤森佐夫

週め

一

憶ひ起せば、昨年震災一週年記念を迎へるまでは『共產主義者は政治運動を如何に觀か?』の問題で紛々として居た彼方に『方向轉換』の聲が起れば此方は『政黨樹立』の叫びが起る。近頃二三年を顧みれば我ながら、思想の變化してゐるのに驚かざるを得ない。何うゆう、日本社會運動のお歷々連とやらも社會民主黨位に御降下遊ばされた樣な感じがする

二

然し乍ら、無產政黨は各地に於て產聲を上げ始めた。日本勞働總同盟に於ては關西民政黨を急先鋒として、千葉民政黨九州民憲黨、足尾公民黨等、諸地方に其の旗幟を掲げ、先我國創始以來の民衆の政治的進路を切り開いたものと云はねばならぬ。

日本に始めての無產階級の政黨が生成されたのである。けれども、現在の我國社會運動界の概勢を觀るに、果して我等が期待する程の無產政黨が出來上るか如何か。甚だ疑問無からざるを得ない所である。何故ならば、我國勞働運動界は將に七花八裂の累卵の危き狀態に陷つてゐるからである。

日本勞働總同盟對日本勞働組合評議會はマルデ帝國政治家の如く、政友會對政友本黨の如き醜體を見せつけてゐる、其の原因は自ら違ふ所あるも、其の內部と云ひ、內輪喧嘩の方法と云ひ、何ちらも組合員の爭奪の如きは單に、政友、政本の幹部が代議士買收をやるのにさも相似たりではないか。是れではアンマリ帝國政治家の惡口も云へた義理でもあるまい先己れから改革して行かねばならぬのだ

三

我等は勞働組合內に策士の存在してゐる事に驚かざるを得なかつた。成程勞働者と云へば正直一途と思つて居たら大間違なのだ。その中には恐るべく愕くべき帝國ブルジョア政治家共も三舍を避くる惡辣陰險なる策士（又に傀儡師）が存在

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

してゐるのである。然し又、彼等は其の策士たる名稱に對して恐悅を貪つてゐるに於ては、愈々我々は驚くよりも呆れざるを得ない、所謂、彼等の輩は小策士の類に屬すべきケチな人物には違ひあるまいが、我等の希む策士とは勞働組合をカキ混したり、乘取つたりする小策士には非ずして此の××××を××竹の由比正雪の如き大策士の出現を望んでゐるのである。だが何うやら、日本にはソンナ偉い策士が現はれそうにもない。

斯くの如く我國の勞働運動界は滅茶苦茶のマルデ蜂の巣を突いた如くになつて居る。そうしてゐて、何等をも爲す能はずして徒らに支配階級の乘ずる所となり漁夫の利を與へつゝある憐れむべき有樣である。

四

加藤内閣は此の間大命の再降下と共に更生内閣を急造した。顔觸れはドッチにした所で我等とは緣なき衆生共ではあるが、金拂の好さそうな古道具を集めてヤット叩き上げた。中野バン寅とか云ふ代議士は憤慨してゐるとか云ふが、ドッチ道我等に取つて有難くない年俸泥棒共である。

政友會は是れに對して政友本黨に色眼を使ひ始めたらしい。而して今日の新聞には最早田中、床次兩總裁の會見で政友政本の提携の『申合せ』が出來たとやらブルジョア政治家の貞操などは云ふも愚なりで、娼妓の方で裸足で逃げる。だが政友、政本の例へではないが、總同盟、評議會のテイケイは未だ早過ぎるか？評議會の策士連以て如何と爲す矣。

餘談は扨おいて、ブルジョア階級の陣容は頓に緊張し出して來た、此次の加藤單獨内閣の初議會には勞働組合法、勞働調停法、治安警察改正等の所謂「勞働立法」を提出するらしい口吻を漏らしてゐる。最も口だけのものであるかも知れない。而して、諸政黨中にも、社會政策の一端が其の政策内に見い出して來たようである。彼等は一千萬人の新有權者に色眼を使ひ始めたのである。だが勞働者諸君及び一般無産階級はコンな狸政策にダマされてはならぬ。奴等は蝦で鯛を釣らう考へなのだ。無産階級諸君の眞劍になる時が來たのだ

五

普選と共に治安維持法を通過せしめた無産大衆史上に特筆さるべき加藤協調内閣は政友會の協調破壞と無理心中の爲此處に決裂總辭職し、新たに單獨内閣を更生した。けれども、政友會は政友本黨と提携の『申合せ』を實行し、來議會には在野黨として今まで共に手を握へた加藤内閣に喰つて掛るべく待ち構へて居る。而して加藤内閣はそれに對して解散風を以て脅威せしめ、此處もと一寸面白い芝居を御覧に入れて居る。

此の秋、我等無産階級は共に感情の行掛りを抛棄し、ケチな助平根性に迷はず

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

敵の混戰狀態と其の虚を突いて來るべき總選擧の爲、備へねばならないのである

故に我等は叫ぶ！、一切の小我を捨て、大我に着けよ。小さな利害に惑わず、大きな目的に向つて突進せよ。即ち煩惱を打ち拂つて共産涅槃の大理想に猛進せなければならぬ。

『油斷は大敵だ』とはブルジョア學校の先生に敎へられたが是れだけは事實らしい。油斷をすれば何日も敵の乘ぜられる因となる。

各勞働組合の諸君に告ぐ！よく自重して來るべき總選擧に臨まれよ。

併し乍ら最後に云ふ無産階級運動は政治運動のみに終始すべきではない。外に幾らでも運動の餘地がある。其處にこそ眞の我等の目的が潜んで居るものであるといふことだ。

婦人運動者に

濱横　梅津四郎

（一）

時代は刻々に變遷する。時代と共に思想は舊より新と流れ進む。封建制度の舊道德觀念に賤視されて居た部落民は水平運動に金權萬能制度の經濟下の[illegible]によつて抑壓されて居た勞働者は勞働運動に！男子專制道德に支配されつゝある婦人は婦人運動の旗幟のもとに相集りて、人類解放を叫びつゝあるのは思想の變遷にともなう運動であり、社會進化の一運動として力強い叫びでなくて何であろう？然して之等の物質的精神的向上の叫び聲によつて勝ち得たる生活條件はやがて新しき思想道德をもたらし、其の新なる思想道德によつて新しきが社會一歩一歩前進するのである。我輩も之を考へる時より善き社會をもたらさんとして壓迫に迫害にものともせず打ち進む犧牲の志士たる水平同人に勞働運動者に婦人運動者に心から敬意を表するものである。

（二）

婦人運動を經濟的、政治的に區別するならば經濟的たる職業婦人問題、政治的たる婦人參政權問題に區別することを得る。

資本主義經濟組織が發達膨脹するにつれて資本主義初期に存在し得た中産階級は必然的に沒落し有産、無産の二大階級のみの對立とならざるを得なくなつた。見よ高等敎育を受けたる智識階級は十數年前に於ては所謂中産階級らしい生活をなし得たが現今に於ては殆んど肉體的勞働者の生活條件と大差無い生活しかなし得なくなつたのである　其の結果として中産階級の奥樣風を吹かせて居た時代は早過ぎ夫一人の給料によつて多數の子供を養育し敎育する餘裕がなくなりて、に

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

奥様も手に職業を求めて家庭經濟の一助とせざるを得なくなつた。

と同時に思想の變化に伴ひ婦人は位置向上を叫び男子專制を破壞する前に先づ婦人も男子同樣職業も持たねばならぬ事を自覺したる結果職業婦人續出し職業婦人問題が一社會問題として叫ばれ出したのである。

然し之等婦人運動は今だ眞に根强い運動であると言い得ない。何となれば今の運動はブルジョア婦人とプロレタリヤ婦人の混合運動にしてデモクラシー（民本主義）運動としか見る事が出來得ないからである。經濟的痛苦を感じて資本主義經濟の破壞を叫ぶ根强い運動と多少おもむきが異なるが故である。

然し之等デモクラシー運動は今だ男子專制の道德觀念すら打破し得ない現在の過渡期に於て、資本主義經濟制度の打破を叫ぶ前に先づ我々婦人には男子專制の道德觀念の打破を叫ぶ方が先決問題であると考へるも知れん。それにはブルジョア階級の婦人とプロレタリヤ階級の婦人が手を握り合せねばならんと考へて居るかも知れないそれが又現代の婦人の考へることであるのは當然であろう。然し婦人がより自覺しより運動が進むにつれて有產階級の婦人と無產階級の婦人は離別し無產階級なる大部分の婦人、職業婦人はデモクラシー運動より社會主義運動へと、男子階級への對立戰より現經濟制度　の戰線へと進むであろう、其の時こそ眞に根强「　」ののろしが打ち上げられ婦人がその域まで行く樣になつた時無產階級の運動は白熱化し婦人にとつての理想社會が眼前に表れるであろう。

（一四、八、十四、）

全國的勞働組合總聯合の問題

日本農民組合
山口聯合會　守田道輔

一

日本に於ける無產者運動當面の問題は無產者政黨の組織と、全國的勞働組合總聯合との二つである。無產政黨の組織は政治研究會の努力と、日本農民組合の提議とにより、比較的安産するであらう、併しながら、此處に取殘された問題は、日本に於ける勞働組合の總聯合である。日本に於ける勞働組合の總聯合は大正十一年に企畫されたが、自由聯合主義、合同主義との意見の相違によつて、遂に失敗に終つたが、此失敗の原因は、主義、主張の爭ひよりも、寧ろ勞働總同盟の勢力圈內に合同せしめんとしたことにあり、本年二月、日本農民組合の提議による全國的勞働組合協議會の設置が、矢張り失敗に終つたのは、政黨

組織の協議會であつて、眞の總聯合であつたからである、又動機が不純であり、日本海員組合、海軍勞働聯盟が、最初の提議者であるにも係はらず、勞働總同盟は左傾團体であるから、若此團体を提携し、合同することは、日本海員組合、海軍勞働聯盟に大義名分が立つ、然らば、勞働總同盟を中心として、全國的總聯合無產政黨の組織は直ちに成ると信じた。結果は、日本共產黨問題が顯れ、幹部の墮落が問題になり、遂に勞働總同盟の分裂の一幕が下された譯である。現實に立脚して行動した、勞働總同盟の幹部達は確に現實を見誤つた點は否定することは出來まい。

二

日和見主義的組合の誕生、革命的組合の確立、こうした理論が、今日の日本の勞働組合に名稱らるゝか、私は、名稱られないと信ずる、日本の勞働組合の大部分は、無茶、苦茶に、無批判に、無定見に糾合せる、個人的勢力を中心とせる雜然とした崩黨的組合である。そうした組合で產業管理なんて夢に見られない、社會の改造云ふだけ野暮だ、只權力を握るための英雄主義的組合だと稱するより外には言ひようがない、こんな組合では、百年愚か、千年待つたとて、權力爭奪のために浮身を俏す連中なのだから、總聯合なんか迚も出來はしないのである。私は其處で、日本勞働組合の幹部達に警告したい、勞働組合から個人的勢力を取去ることを、個人的勢力を取去るためにどうしたらよいかとの反對質問を受けたとする、私は、其時に、既成の勞働組合を解体して、產業管理を目的とする科學的組合を造り給へと返答する。

三

現在日本に於ける比較的科學的組織に近い勞働組合は、產業別の組合である、日本農民組合、日本海員組合、日本交通總聯盟、日本勞働總同盟の構成分子たる全日本鑛夫聯合會、印刷工聯合會、機械勞働組合聯合會等であるが、近時大勢は漸次產業別組合に合同統一さる、傾向がある。

然るに現在日本には、此產業別組合の外に、天下り的個人的勢力を中心として雜然として糾合せる日本勞働總同盟があり、又地方的組合ではあるが、日本勞働組合聯合會なるものがある、大体個人的勢力によつて組織されたる勞働組合は、啓蒙時代の遺物であつて、今日の時代では大勢に逆行する組合である。最近日本勞働總同盟より分離して日本勞働組合評議會が生れたが、その主張する處は、產業別組合の全國總聯合であるが、內容は地域的聯合の域を脫しない。

四

今日迄幾度か、總聯合が計畫され、其都度失敗に終る時に、日本に於ける全國的勞働組合の總聯合は、從來の型を踏襲することは三度失敗を繰返すことになる

其處で日本に於ける勞働組合の總聯合を樹立するには、其缺陷を除去しなければならぬ、即ち雜然たる組織を持つ日本勞働總同盟、日本勞働組合評議會、日本勞働組合聯合會、特種組合たる官業勞働總同盟、海軍勞働總聯盟を解体して、中央集權的な、全國的產業別組合に、各整理、合同統一して、極めて自由な合同主義の下に、全國的勞働組合の總聯合の組織を確立すべきである。然しながら、總聯合組織の決定を握るものは、從來の如き小數の英雄主義的權力者にあらずして、勞働大衆でなければならぬのである。（七月三十一日）

ペンの幹部の自覺を

市野吉三郎

進め八月號を見て、（赤松君に答ふ―靑野季吉）の一文によつても僕は感を更たにさせられ、また（仕事部屋から―江間修）の一文の中にも感じる事だが。日本の社會運動家や勞働運動家は何故にあゝも突つき合をやるか？田舍にゐる我々には鈍と解することが出來ぬ樣である。

社會運動家のみのわざではないことが明かとなつた樣である　彼の獨逸に於ける大ストライキの場合に於て、今一息と言ふ處で最高幹部とか首腦者たちの不一致で見事に失敗に終つたことを知り最近のロシヤでもその例がある。

日本に於ける最近のバッ討征、總同盟と評議會の衝突など、田舍にゐる我々の眼には所謂シン相なるものが分らぬから

それは違う斷うだと云はれば然うかと言ふより他ないのだ　發見の少さいヒガミからも言つて見たいのだ。

江間氏は八月號で癌の治療について研究を怠ると云ふのは癌醫者の道ではないかと言ひ同號で靑野氏は、赤松君がさうであらうとて僕も大向ふの喝采など氣にしてゐるとのべないと云つた樣なことを言つてゐる所が、例をこれらに取つても僕は思ふ　赤松君必ずしも、大向ふ相手を意識に仕事してゐるものではあるまいし、癌の研究者必ずしも、他の癌醫を無視するものではあるまいが、然も傍から視ればその樣に見らるる恐れなしと云へぬのである。

獨逸の彼の大ストライキの時政府要路に就いてゐた一味の幹部は、あの場合妥協さるのが得策であるとし、反幹部派は飽まで戰ふべしとした。然も代議員決議は戰ふべしとしたが、最高幹部の名に於て罷業解散となつたもの丶樣であつたがその善惡は何方でナスリ合ひされたことは先度の勞働總聯合が破れた時の總同盟

側と聯合組合側の言ひ分のはゞ通りのものがあつた。

扨つい先日世界勞働會議から歸つた代表鈴木文治氏は、大阪へ足を踏込むや否や（も早や國際勞働會議は信用するに足らず、勞働階級の解放は勞働者によつてのみなさる。）と言つたやうな挨拶をしてゐる樣に新聞は報じてゐたが之れなども勞働會議の國家帝國主義色彩を難じてゐる樣に、矢張り總同盟の大將の言として始めて意義める樣に、我々田舍者には思はれるのである。

しかし忘れてはならない、鈴木氏は再度我國のシンの勞働者としての勢力を海外内につけたことである。元々から政府代表や資本家代表と肩を並べて行く國際會議だ、始めから臭の爲めの臭と云ふ樣な點が無かつたとは怎うして云へるのだが。それを擡頭期の勞働者親分が利用して身に箔をつけ得たのは、一面にまた勝利とまでゆかずとも儲けものであるのは事實でもあらうが。其處らに痛し痒しがあるのだと言へばそんなもの？。

から並べて來ると、兎に角も資本家を仇だと叫ぶ勞働者の大將も普通の人間に變りないことは海外内おしなべての樣である例へばレーンニズムとトロツキ主義が功罪斯くの如しだと言へばその通りいつの場合でも理屈は表面に立派に立つ。

しかし社會運動にしろ勞働運動にしろ、元來が個人を基としての自己保存から起つてゐる運動だと思ふがそろ〳〵既成國家の宣傳怠らざりし犧牲精神をお株頂戴に及ぶ必要はないか。特にそのプロを代表する處の所謂最高最高ならざる幹部諸君に、之の宣傳必要を憾じる。

と言つても間違つちやあ困る。牢へゆくことおやないのだ。牢へゆくことは事が間違つて犧牲にならずもゆかねばならぬ時が出來る。のだから最高幹部平幹部巨頭首腦さ樣な新優越感即ち無意識的自己保存を犧牲にして物事を考へて貰ひたいのだ　無理な法文かは知らないがさうすれば、癌醫が癌の研究を怠つて自己專念の弊に陷ることを少くならし、大向ふを相手だなぞと言はれる赤松氏らにしてもより宜い効果が多くなりはしまいか。

問題は偉くなる人達の地位の自覺的行動にある。ハンマーを握るよりは手をスベつてくしてゐる方が、上等だと考へるのはブル思想である。しかし家を建うる男が事務をとればペンも握るとなると、所謂今日の多くの勞働幹部のペンを握り舌を動かし得て、家を建得ないのと比較して、ペンはハンマーに追屬すべきものとなる。さうだとするとペンの勞働幹部の態度に資本家的分子の多く見出せるのは無理でない樣であろ。しかし世は過度期であるペンとハンマーの勞働幹部が出揃ふまでにはまだ間がある。この邊の自覺に怯懦であつて貰ひたくない。特にペンと舌の勞働幹部諸氏及び社會運動首腦者たち等に切望する。（完）

文化政治の斷面

元山　菊池烘

朝鮮の文化政治の聲も、長い間聞かされたことだ、官製の融和藥ももふ食傷した。しかし徒らに聲のみ宣傳のみ大きく効績は更に揚らない、揚らないばかりか益々荒んで行く、それは何故だらふか？

私はその答へのかはりに文化政治のカラクリを諸君にお目にかけやふ。南鮮のある郡での實話である。その郡の郡守内地人某は中々に狡猾のやうで自己榮達のためには多數の住民をドン底に叩き込いで平氣でゐる奴であつた。管内の住民からは蛇渇のやうに嫌はれた、彼はまた自己榮達のために色々と考へた、考へた揚げ句一つの名案？が出來た。それはこの頃各道で困却してゐる税の滯納に關することであつた。彼は早速各面長に出廳を命じた。面長は彼の前に恐縮して並んだ。

彼は悠然として云つた。この頃どふも税金の徵收が不成績で困る。これでは本郡及び道廳などの財政にも憂慮すべき結果になりはしまいか。今日からそれについてこんな制度を設けたから各目は大いに奮鬪して貰いたい。それは今期からの出税を一日でも早く（勿論期日内）完納した面には多額の賞金をやる、そしてその賞金はその他の面が完納成績に準じて分割支出することにした。それで告知書が發布されたならば一日でも早く完納した面は賞金を貰へるし後れた面はその賞金を支出せねばならないからそのへんをよく含んで奮鬪せよと云ふのであつた、各面長は恐縮して引とつた、その顛末を具體的に書けばかりに九月二十日を納税期日とし告知書の發布を九月一日として告知書を作る、そしてその告知書は八月下旬に既に納税者の手許に配付される、配付されると同時に各面は直ぐ督促を開始する。告知書の發布が九月一日であるのに八月下旬に督促をなすといふやうな矛盾を平氣でやる。そして八月の末日頃にはもふ成績よい面は完納してしまふのだその領收證には九月の中頃の日附け印が押されてゐることはいふまでもない。斯ふした無理な徵税が貧しき農村に行はれるのだから幾多の悲惨事がそこに產みだされるのは當然だ。農民の貧しき生活道具を擔保にとつて（勿論期日の來ないうちに）税金の代納とするといふやうな面長や區長も出て來るのだ　幸ひにかくして一等の成績を得れば多額の賞金の貰へるから好い。しかし一等は一面で以下の面はその賞金の割當額を支出せねばならぬ。そこには不合理が生ずる、即ちその

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

割當額を各納税者に督促料として附課するのだ期日内に納めてゐながら督促料を出さねばならない農民こそい、迷惑ではないか！一人の頑冥な郡守の採つた自己榮達の手段の爲に多數の農民がかくの如き幾重かの不合理の下に呻吟するのだ。

勞働者の哲學

權 均

『人類の歴史は、此世に於ける、食物の分配の爲にする闘爭、卽ち社會的戰爭と又食物の場所の爲にする闘爭、卽ち國民的戰爭である』と獨逸の碩學、ヴエルナア・ゾムバルト教授は云つてゐるが、現代資本主義社會には錯雜せる、諸問題がある。しかも、それを大別して、次の二大問題に歸結することが出來る。一はパンの問題、二は性の問題、卽ち勞働問題と婦人問題である。現今、社會問題と云へば、普通に前者を意味するが、勞働問題のみが社會問題ではない。純理論的立場から見れば、勞働問題よりも、婦人問題がもつと重要なものであるとも云へるだからエレン・ケイ女史の如きは、婦人問題をして社會幸福の問題であると云つて居る。しかしその解決の必要についての急先は勿論勞働問題である。それは、勞働問題は、人間の生活に、直接關係をもつて居る、パンの問題であるからですそして、民衆の死生問題を左右するのがこの問題です。だから、その解決は、急要なのです。そして、この問題の解決によつて、婦人問題も、容易に、解決されるのだと思ひます。それは、勞働問題も婦人問題も、絶對的獨立した問題でなく互に聯關した、共通點を有する、問題であるからです。

ですが、勞働問題と云へば、普通に、ストライキやボイコットを、聯想させるそして賃金値上や、待遇改善等の、問題の解決手段であるかの樣に、思はれる。しかし、勞働問題は、人生問題である。勞働問題の解決は人生問題の解決である人間は生れながら一個のパンが欲しい。千の眞理よりも一個のパンがなければ、生の存在すら、消えて仕まつたならばそれきりなのです。すべての問題は虚無に歸つて仕まうのです。けれども、虚無より虚無へと、進んで行く人間が、途中であつた逢ひ難き現實と生に就いて、如何なる、歡喜を、感じたら宜いか、其は、口では云へない。歡喜であり、光榮である。だが、人間の生の那邊には折り惡くも、パンと云ふ、恐ろしい問題がある。この問題の爲に華々しい、人間の生もその意義を、失ふ場合がある。だから、勞働問題、卽ちパンの問題を、解決しなければ、すべての問題は、解決することが出來ないのです。若し解決ありと、云へは、それは、虚僞であり、僞善である

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

暴虐なるブルジヨアジーは、今日の資本社會を、永遠の理想郷として、思ひます。そして、この組織と制度を、永遠に維持せんとするのが、彼等の理想であり努力である。それも無理ではありません今日の資出社會は、ブルジヨアジーの爲に、組織されてあるから、彼等の立場から見れば、此れ程、幸福な社會は又有り得ないであらう。しかし、一人の爲に萬人の犧牲を拂はねばならぬと云ふ馬鹿なことがあるものか。人間は、人間であればそれで宜いのだ。皆な同じなのだ。[illegible] して、一方には、あり餘る米が倉庫の底で、腐るのに、一方では、一個の馬鈴薯さへも、食へ得ずして、餓ゑて死ぬる此れ、如何に矛盾したことであらう。現代社會組織の缺陷で、あらねばならぬ。此の矛盾、この缺陷、あゝ恐ろしい、この社會！。我々は、生が欲しいのだ。パンが欲しいのだ、一個のパンの爲に、自分の肉と血を、人に分けることも餘儀なくする。吾々、プロレタリアートは、生が欲しいのだ。その爲に壓迫も、搾取も虐待をも忍耐して來たのだしかし、もうこの上、堪ゑることは、出來ない。精神も肉體も、すつかり、疲れて仕まつた、このまゝ行けば、死ぬる外道はないのだ所謂『餓死する自由』だけあるのみだ。しかし、人間は、人間である。奴隷も、農奴も賃金勞働者も、人間である。[illegible] る。所謂階級戰爭が起るそして反復するすべての歴史を繰り返す。これ勞働者の個人的活路であり、歴史的使命である。だから、勞働者は、すべて制度に、強い鐵槌を加へなければならぬ、けれども、勞働者は、これが爲にに、他の階級と例へば智識階級とは、中産階級とか手段として、妥協してはならぬ。それは、手段でも何でも、ないことだ。但失敗に終るだけは殊に、學者連中の學說に、捕はれるな。[illegible] 生命であり、勞働者の哲學である。だから、階級意識に目覺めた勞働者は、此の哲學によつて生き、此の哲學に依つて、死なければならぬ。

『實行は、汝の社會を、生かすと共に、汝自身を、生かす』

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

神武天皇に還れ！

—といふ理論の一考察—

宮村江東

『神武天皇に還れ！明治天皇に集まれ！』なぞといふと、神經の尖つてゐることを警視廳の何人以上の所謂主義者連には、『彼奴！何をいふとる氣は確か？』と狂人扱ひにでもされそうだ。だが、早斷する勿れ——私の叫びでなくて、現在日本で社會主義者と言へば、スリか火ツケのやうに恐れ且嫌つて居る所謂自稱愛國の志士連中や、殊に反動的氣分の濃厚なる日蓮主義者や日蓮信者のグループの、一種の國家的——社會的な運動の、標語のようになつて居るのが即ち　神武天皇に還れ　明治天皇に集まれ』である、ブルジョア議會のチヤンピオン永井君の言ではないが、『天に輝く一點の星も、地に咲く一倫の花も　悉く生存の意義を有してゐる』との例へ、時代の思潮にも世界の大勢にも無頓着な彼等の言であるが、而し、曲りなりにも何か理屈がつけてあらうと、私は思ふて、この論據を檢討して見ることにした。そこで私は東京の代々幡にあるらんせん莊といふところへ、田中澤二といふ人の書いた。『神武天皇に還れ！』の小パンフレットの送付方を依賴したら、早速送つて來た。桃色の薄ペラなパンフレットで、表紙には一國體主義宣傳用パンフレット』とあつた。その大意は……。

△

神武天皇に還れ、神武天皇に還るといふことが、今の日本で一番必要なことである。神武天皇に還らなければ、日本は本當の日本になれない。神武ヵ皇にかへりさへすれば、日本といふ國の出來たわけが分る、日本といふ國の性質が分る。日本といふ國の『しなければならない仕事』が分る、日本といふ國の　責任』がわかる。日本の國にも、日本人にも、一番わかつてゐなければならないことが少しもわかつてゐない。それで、日本の社會はゴタ〳〵するのである。勞働者も、學者も、軍人も、教育家も、政治家も、日本人としての目的はみな一ツである、それを一ツとおもはないで、勞働者には勞働者の目的があり、資本家には資本家の目的がある。と思つてゐるので、勞働者に都合のいゝことは資本家に都合の惡ひことになり、資本家に都合のいゝことは、勞働者に都合の惡ひことになつて勢ひ、あらそはなければならないことになる。勞働者と資本家とだけでない。す

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

べてがそういふ間違で爭ふてゐる。これは政治が惡い、今の政治は日本の政治でないからである。——(中略)——國家の政治はその國の性質を知らなければ行へるものではない。日本民族の考へる政治といふものはたゞそこにあつまつた人間の生活の『指導』と『保障』と『研究』とで滿足すべきものではない。卽ち、民意に立脚するといふ政治は日本國の政治でないのである。日本の政治には目的がある。神武天皇は、日本を建てる時に、この國をうち建てる理由を明白に國民にお敎へになつた。それは、神武天皇の御事蹟とお言葉の上にハッキリ示されてゐる『人間に正義の心を養ひ、弘めて、絶對平和の世界を、この地上に現出する、その根據地として、こゝに日本といふ國を建てた。』これが日本といふ國のできたわけである。日本には目的がある、この目的をなしとげるのが日本の政治である。

△

目的を忘れ、使命を忘れてゐる。今の日本人はどうしても一度、神武天皇まで還つて出直さなければいけない。神武天皇を忘れた國民はなにをしてゐる、國民同志がただあらそひに日をおくつてゐる階級鬪爭などいつて、あらそふことに眞理があるように考へてゐる。今の政治家はそれをどうすることもできない。神武天皇はあらゆる人間から爭ひをなくさうとお考へになつた。その神武の子等があらそふといふことはとんでもない間違いである、まして外國の思想をそのまゝとりいれて、それをいゝことゝおもつてゐるのはいたましき事である。今の政治家は無能と無責任とに慣れ。……(中略)……ともかくも神武天皇に還らう。神武天皇にかへるといふことは、マルクスを知るよりも、レーニンを知るよりも、もつと必要な事である。そして神武天皇を知つてからレーニンやマルクスを知れば、そのいゝ處とわるいところが却てハッキリする。我々は今の日本の政治のありさまを見て非常な恐怖を感じてゐる。國を誤るような思想や行動がさかんになりはげしくなつても、政府はこれを取締ることが出來ない。シッカリした考へがないから、何か理屈をいはれると惡いと思ひながらも、これを打擊することが出來ないのである。

すこしも困ることはない。神武天皇によつて示された日本國と日本天皇とを明白に語りさへすれば、たゞ病的に破壞を事とする一部の左傾者を除いて、いやしくも公明に道を求め、平和を愛するものなれば日本國の精神はすぐ分る。我等は、日本の政治を日本の政治らしくかへなければならないそうしなければ日本は亡びるのだ、日本

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の政治にかへる一番手つとり早い方法として、世をあげて日本の政治の根源であらせらる神武天皇に還れと、我等は、天に叫び、地に叫び、人に叫ぶ。

△

これが即ちパンフレットの内容の大要である、それから去る七月十九日の日蓮宗の機關紙、天業民報といふ奇い日刊新聞の『天業時談』といふ處に、……神武天皇に還れ！明治天皇に集まれ！せめては義家（源義家）に還れ！』といふ論說があつたが、別に諸君に紹介するだけの價値もない說である。何んでもこうした叫びは、彼の日蓮主義の學者たる田中巴之助（智學）あたりから初め叫はれたらしいが、いまでは所謂國家主義とか愛國の志士とかいふ連中の中では可成り力ある叫びとなつてゐるらしい。外にそした著者も二三あるが中には、國體的社會主義とか皇室中心新國家主義とか、と言ひたいものもないことはないが、初期時代空想的社會主義者の叫んだものと、ヨクにたもので左吾程々として思考するの價値がないのである。根據と結論に至つて賛成なし難いのである。而しヨク玩味して見ると、從來の御用學者や通俗的な歷史家より、多少離れたる見地に起ち現在の爲政者に對して反抗的態度の論據のあることを觀察し得るのである。故に將來斯したる空氣が新しく擡頭せんとも限らない。亦注目すべきものだとも言ふことが出來よう。もう一ツ諸君等が百も承知！二百も合點か知らぬが、念のために何かの參考となればと思ふて紹介して置きたいものがある他山の石として讀んで貰いたい。それは一九二三年十二月八日の獨逸社會民主黨の機關紙フオールヴエルツ（前衛）といふ中央機關紙にウヰリー・メーブスといふ社會評論家が日本の國體に就いて「東方よりの一聲」の題で書いたるものが邦譯されて最近某新聞に發表されてゐた。その要點を拔書してみるメーブス氏はその論說は日本の里見岸雄といふ人が獨逸文で著した『古代日本の理想主義と其の發達』を根據として書いたのらしい。

△

矢張り神武天皇のことをこう述べてゐる、

この日本の理想主義は今に及んで殆ど三千年、然もこの永い時間の間、世界は猶これを知らずにゐた。而してこの理想主義の下に、神武天皇は西方の島九州より起つて東方に動き、而して西暦前六百六十年に、日本皇統の幕は開いた『是の時、運鴻荒に屬し、時草昧に鐘れり』と日本最古の史書たる日本書紀』に書いてある。そういふ時代に、神武天皇は世界をその理想主義の下に持ち來たす必要上、又人々を不幸な狀態から救ふ爲に遠征軍を起したと論じ彼の露都モスコーに行はれたる宣傳的世界革命を、又キリスト敎會の征服

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

的理想等と、全く異り神武天皇のはその事業及び行爲に於いて、道徳的根底がゐると頗る截然した點もある、日本人でも專門家でなければ一寸分らない點まで詳論してゐる卽ち、一神武天皇の示した國體的原則は、養生、積慶、重暉の三大要素で天皇曰く刃に血ぬらず天下を平定せん』とか「民を導くの本は敎化な』と天皇は絕對的平和の促進と進展との爲その皇統を建てられた』とある。そして同論文はこうしたる結論がしてある。

さきはぞから述べきたつたるものは、新しく世界に告げられたる日本の古代理想主義である　日本の國體は珍らしくも社會主義に接近點を有し、それは再び社會主義的範圍から退き去り、而して獨特の意義ある思想を樹立してゐる。社會主義思想は世界の物質的根據から出發して、精神的及び道德的事實を等閑に附しつ丶、社會關係に影響を與へてゐる。然も古代日本の理想主義は

[redacted]

是れと異なり精神的立場から出發するだが單に精神的ではなく、精神物質兩方面の主義を備へて進む里見氏の所謂『物心內に融して爭ひなく、秩序外に整いて平和あり』であるそれは丁度二人の人間が互に異となつた場所から出發して、一定の場所に向つて進み、然して後、同じ道の上で同じ目的に進む爲に協力する樣なものである　そしてその目的は物質と精神とを融合完成しそれによつて、人類の文化に永久の生命を與へん事に存するのである。

[redacted]

と結んである

△

[redacted]

インターナショナル

直　平

言は土方だこ手眞似で話した
「ワタシ　コンミニストアル」
握り合つた手から威づる隆々たる筋肉
空家、暗い路次だ
スパイはゐない
二人の血はインターナショナルを唄つてゐる。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

滯歐通信（その二）

獨逸概觀

稻垣守克

獨逸の人口は一九一〇年十二月一日調査によれば六千四百九十二萬であつたが、一九二三年一月一日の調査では六千二百二十八百萬となつてゐる

宗敎は全人口の六割五分厘が新敎、三割三分がカトリツク敎九分がイスラエル敎八分が他の宗敎を奉ずるものである。

現在の獨逸は十八の聯邦、(以前には二十六)から成立する、一九一九年八月十一日制定の憲法により共和國となり「國家の權力は國民より發す」と定められたのである。

獨逸大統領の任期は七年である第一回(現在)の大統領は社會民主黨のフリッツ・エベルト氏であつて其任期は帝國議會決議によつて一九二五年まで延期されたのである。

宰相は内閣の爲めに、帝國議會に對して責任を負ふものである。議會の信任を必要とする。

選擧振は普通選擧制である。平等、直接、秘密投票で、滿二十歳以上の男女平等に之を享有する。選擧制は比例選擧である。總選擧は通常四年毎に行はれる。

各州には州議會がある。「國法は州法に優先す」の原則が採用されてゐる。

獨逸國民の階級を職業によつて區別して見れば

農業及び林業	九百八十二萬五千人
工業及び鑛業	千四百五十七萬人
商業　交通、旅館、料理店	五百萬人
僕婢	三十三萬人
官公使及び自由職業	二百四十四萬人
無職	百七十萬人
合計	三千三百八十六萬五千人

職業の各方面に於けて者を、獨立者、半プロレタリヤ、被傭人及び勞働者の四部に區別して見れば次の如くなる。

	獨立者	半プロレタリヤ	被傭人	勞働者
農業	百十八萬人	百二十七萬人	十九萬人	七百十七萬人
工業	五十五萬人	百二十萬人	百二萬人	千百八十萬人
商業	五十萬人	百萬人	百萬人	二百五十萬人
僕婢				三十三萬人
自由職業	五十萬人		百萬人	
無職	百七十萬人			
合計	四百四十三萬人	三百四十七萬人	三百二十一萬人	二千二百七十五萬人

從つて被傭人及半プロレタリヤを加へないでも勞働者の數は獨立者、半プロ、被傭人　合計の二倍以上に達してゐる

全土戰報

政治研究會岐阜支部生る

佐伯新助

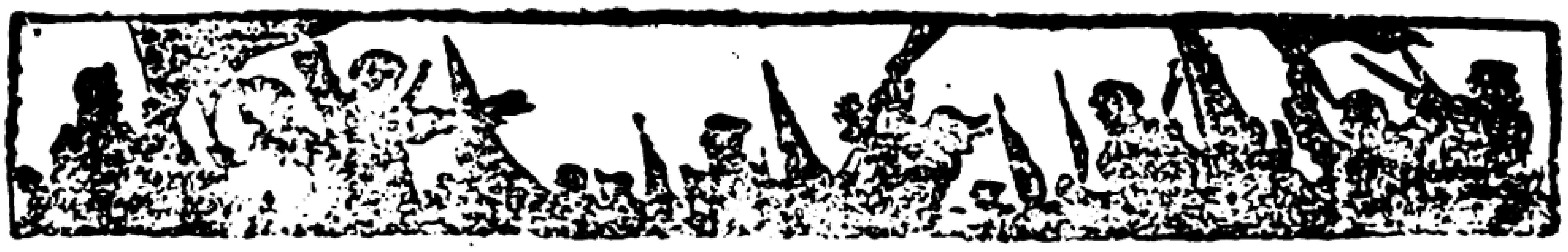
由來我が國の政治は立憲政治代議輿論政治と口には言ひ乍ら實際に於ては、從來政治の實權、特權、階級とか財閥とかと言ふ樣な一口に言ふなればブルジョアジー少數者の獨占する所で、一般民衆は何等政治に干與する所がなかつたが、熱烈なる國民運動の結果、普通選擧法案は議會を通過し、生產に從事する一千有餘萬の民衆は初めて政治に參加する權利を獲得した。もとより過般通過したる普選法案は、もつと、もつと大衆的に改正せられなくてはならぬが先づこれが對策として神聖なる選擧權の最も有利なる行使を攻究せなくてはならぬ。政治の大理想とは最大多數の最大幸福たるや言ふ迄もないが民衆の手に依る民衆の政治でなければ到底其の實現する事は出來ぬ。從來の有權者は少特權政治家の傀儡であつたが、新有權者は選擧權の行使にて就て、果して充分なる政治研究を盡して居るであろうか。又如かなる政策が民衆の手に依る新政治の基調であるかと問へば、恐るく何人も確信を以て答辯する事は出來まい此の選擧權の行使と新政治運用とを攻究し以て階級利益を擁護し、國家社會の福利を增進し、併せて民衆政治の確立を期したのが本部設立の根本趣意である。

大体右の如き設立趣意を以て今度政治研究會岐阜支部が縣下の若き血の所有者たる青年諸君に於て創設されたから先輩諸氏及び一般青年諸君の御後援を切望する。事務所岐阜市千手堂一九四

青年讀者研究會生る

哲村生

北には秀麗なる富士山を仰ぎ、南には渺々鏡の如き田子浦をひかへたる吾が北駿の地帶は、本縣屈指の工業地である。山麓より流出する幾條の河川は凡てブルジョアに占領されて人間搾取の原動力となつてしまつた。こゝろみに五百人以上を收容する富士郡下に散在する大工場を列擧するならば、富士製紙の第一第二第三の四ケ工場があり、大宮町に千五百人を收容する日本絹絲紡績がある



其の他小工場に至つては枚擧に遑がないほどで、ブルジョアに取つては好餌の天惠地である。由來此の岳南地方（富士南麓一帶を指して稱す）は小山岳が重疊起伏して居る關係上交通の便頗る惡く、その昔はすでの未開地であつたらしい。常業は狩獵と農業が主でその農業も今日の樣に運水の便がなかつたので隨分粗野な生活をして居つたものと見ゐる。

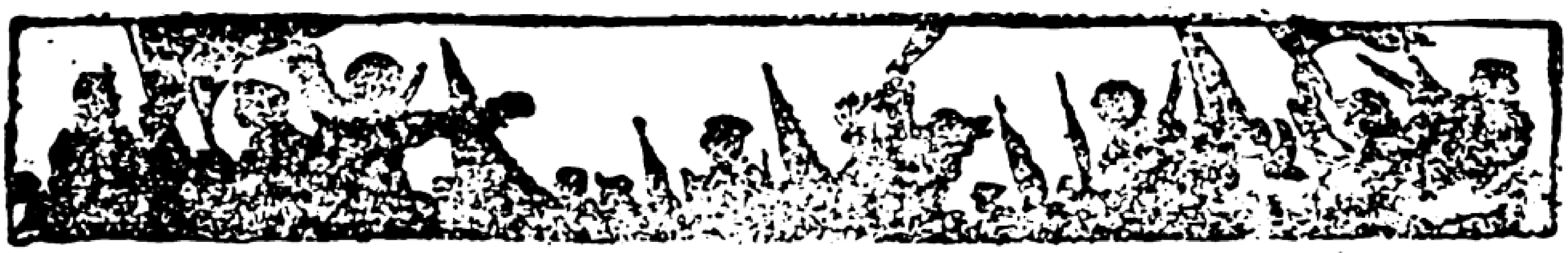
然るに明治二十年代になるや、麓原を縱貫する大小の急流はいつしか工業動力の資源となつてしまつた。天を摩する煙筒、赤煉瓦の廣大な建物、その中には巨獸のような機態な機械が呻つてゐる。勢ひの赴く所に曳かされた純朴な青年子女は泣く〳〵工場の鐵鎖に縛られてしまつた。天變動地とは實にこうした事實を指して言ふのであらう、然し驚異の眼を瞠つたのも柄の間であつた。狡猾なブルジョアは此の僻村に文明？を注入すべく盛に交通路を造つて住民の便に供し、彼等に都合のよい調和對策を施し、遂に無智な土民をまんまと懷柔してしまつた。そして『吾れ笛吹かざるも衆はしきりに踊る。』といふ樣な惰性的習慣性をさへ無智階級へ植付けてしまつた。『この村落がこんなに開けたのも會社の御蔭だ』『奇麗な着物を着られるのも工場の御蔭だ』とブルの御先棒を擔ぐ土地の小ブル連は工場禮讃に浮身を窶して居る。

然るに實際は彼等が謳歌する樣に幸福にはならなかつた。甲の家では大事な總領の片腕を皮調で取られてしまつた。乙の家ではかけがひのない一人息子を機械の中に捲き込まれて殺してしまつた。工場の犧牲者は逐々殖ゐて行つた。不潔な場所で長い時間働かされる可憐な女工達は、肺病に罹つて早死する者が多くなつた。徴兵檢査の施行日が來る都度執行官は『こゝの壯丁は一般に體質が惡い』と仰せられる。僕が檢査を受けた時も同じ事を繰返して頗る御機嫌が惡かつた。その時僕は反問してやつた『一體全體何者が吾々をこんなに營養不良に陷入れたのだ』と皮肉つてやつたら彼はたゞ苦笑するだけだつた。工友達はいつかは酬いられる時が來るだらうと思つて辛棒して働いたが貧乏はいつまでもつきまとうた。おまけに往年の東京大震災の餘波は遠慮なく此の山間にも及んで吾々に大痛棒を喰はした。

然し不當な壓迫は吾々の仲間に疑ひを誘起させるばかりであつた。吾が讀者研究會は此の問題を解くために敢然蹶起した一團である。

靜海の眞只中に正義の一石は投ぜられた。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



最初から勞働組合個々支部と旗色を鮮明にしたかつたのであるが、此の地方の人にはソシヤリズムといふ事が全然わかつて居ない。だから眞の團結を作るまでには尚は若干の歳月を要する事であらう。猫の仔一匹死んでさへ評しあふ田舎の事である況してや本會に對して毀譽頻りに至るも普通の事である。

本會は先きに普選の公布された際第一回の紀念演説會を開いて大いに民衆のために氣勢を揚げた。本會員は常に信義を重んじ相援け相戒めて共に最後の目的を達成すべく努力し日々その向上をはかつてゐる。然し乍ら本會の前途も又多事多難であらうことを覺悟してゐる。切に同志の後援を希望するゆゑんである。

大正十四年七月三十一日稿、

（静岡縣富士郡廣岡村入山瀬　櫻井忠義）

勞働運動革新の烽火
關西勞働組合生る

我が日本の勞働組合運動は數年前より驚く可き急速力を以て發展したが各組合に於けるリーダー間の勢力爭ひ及び感情の衝突から絶えず間斷なく紛爭を續けてゐる。

就中我が國に於ける代表的勞働組合たる勞働總同盟の如きは過激派共産黨系の所謂刷新派と非共産黨系の幹部派とに軋轢を生じ遂に彼の大分裂を招來し今や小黨分立の狀態となり恰もフランスのＣＧＴ分裂當時の如き大波瀾を現出して未曾有の混亂狀態に陷入つてゐる。

此の混亂の好轉期に當り茲に雄々しく呱々の聲を擧げたのは曩の全日本勞働者同盟を改稱したる關西勞働組合である

我が關西勞働組合は總同盟に屬せず評議會に偏せず超然と獨立し收拾すべからざる混亂に陷入れる勞働運動界革新の重大なる使命を擔ひ茲に生れたものである。

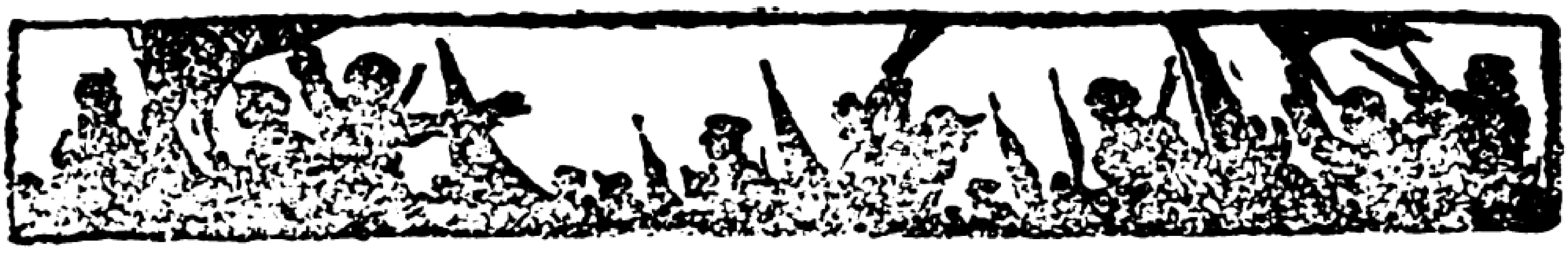
去る七月三十日其の創立大會を擧行し左の如く宣言、綱領、規約略す）等を滿場一致を以て可決し夜は紀念集會を開會し各鬪士は交々勞働運動界革新の雄叫をあげた。

宣言

時代ハ正ニ推移セントシテ世界ハ除々ニ改造セラレツヽアリ新文明ノ曙光ハ輝キ初メ解放ノ曉鐘ハ我等ノ長夢ヲ破ッテ毀々タリ。

我等ハ茲ニ敢テ宣ス現代ノ煤爛タル文化ヲ生メルハ我等勞働階級ナリ我等ハ過去幾十代ノ祖先ヨリ忍從以ツテ孜々營々タル困苦ト缺乏ノ裡ニナレル勞働ノ成果ナリ。我等ハ斯クシテ得タル現代文明機關ハ擧ゲテ支配階級ノ掌中ニアリ。而シテ我等ニ殘サレタルモノハ社會ノ最下級ニ沈淪シテ一生ヲ暗黑ナル資本主義制度ノ陋巷ニ飢死スルノ自由ノミ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



我等ハ茲ニ生存ノ確立ト資本主義治下ニ於ケル黃金ト鐵火ノ鎖ヲ寸斷シテ一切ノ無產勞働階級ノ解放ヲ期シ茲ニ關西勞働組合ノ旗幟ヲ下ニ戰鬪同盟ヲ組織ス。
希クハ全國ノ勞働者ニシテ志ヲ同ジフスルモノハ來リテ我等ガ陣營ニ集レ。

綱　領

一、我等ハ人類ノ理想ト本然ニ從ヒ相互扶助ノ大義ヲ重ンジ勞働者階級ノ一致團結ニ努力ス
一、我等ハ勞働者階級ヲシテ資本主義ノ精神的支配ヨリ獨立シ階級意識ニ基ク團體的訓練ニ努ム
一、我等ハ勞働階級ノ完全ナル解放ノ根本基調ト勞働大衆ノ現實ノ必要トニ立脚シタル政策ニヨリ組合運動ノ闘爭的發展ヲ祈ル
一、我等ハ利己心ヲ基調トセル資本主義制度ニ對抗シ勞働組合ノ威力ト合理的戰術トヲ以ツテ勞働者階級ノ完全ナル解放ヲ圖リ永久平和ノ新社會ノ建設ヲ期ス

大正十四年七月三十日、大阪市東淀川區南濱町一二〇（電北四二九七番）西勞働組合本部

元山勞働青年會創立

元山　林　仕　賢

元山は北鮮一帶に於ける第一位の都會地であるだけ、第一位の勞働者窟である。然るに其の勞働軍に對する階級的の指導、經濟的の擁護の衝に當る機關としては元山勞働會なる全元山勞働者及び各勞働團體を統括せる聯合機關があるのみであつて、吾『プロ』陣營の繼承者である無產青年『タワリーシ』の指揮敎養の任に當るべき機關はなかつた。が、元山有志『プロ』諸氏は之を何より遺憾と思つて客月以來元山無產青年『タワリーシ』の爲めの何樣かの機關を組織しやうと云ふ精神のもとに於て、之が發起に晝夜、東西となく奔走に奔走を加へたる結果、漸く本月十五日元山勞働會館二階に於て元山勞働青年會創立總會を開き左記宣言綱領の通過、委員の選擧を終つた後元山勞働青年會萬歲三唱を以て無事に閉會したと、

宣　言

我等ハ職業的團結ヨリ階級的大團結ヲ目標トシテ、勞働青年群衆ノ陣營ヲ立ツルガ爲ニ左ノ三大綱領ヲ以テ本會ヲ組織ス。
之ニ共鳴シテ前進セントスル友ヨ！來レ！團結セヨ！

綱　領

一、我等ハ社會進化ノ法則ニ順應シテ勇敢ナル前衛ノ役軍タルヲ期ス
一、我等ハ勞働青年ノ團結ヲ圖リ當面ノ利益ノ爲メニ闘ス。
一、我等ハ我等運動ノ武器タル智識ヲ吸收スルニ努力ス

常務執行委員及氏名。
庶務部、盧東爽．韓草波。
敎育部、朴泰善。
社會部、朴　仁。
執行委員ノ氏名。
孔元昊．金均相．金元吉、宋東天
李啓心、朱殷鐘、劉載成、尹東夏
金英淳、趙　剛．林谷泉。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

中國階級陣

岡山縣 倉本晃南

吾が支局所在地西大寺町に、今回濟世會と稱する會が生れた、勿論役員は從來の御定りで、ブル階級者が自己任命でズラリと並んで居る、最も何者が役員にをらうが、吾々は不平は言はぬ、唯彼等の執りし行動と寄附金募集及び或る役員等が不法の放言とに代つて、心あるプロ階級同志が、昨今頻りに不平を唱へて居るのである。其理由は寄附金を彼等が勝手に最低單位を一圓也とし、夫れ以上寄附する事と決し、殆ど毎戸より强制的に募集した事である、實際に於ける寄附成績を見ると、ブル階級者よりも、中以下のプロ階級者が多數寄附して居る、彼等は本會寄附金を以て貧民救助及び是れに關する事業を行ふ云々と稱し居るにも拘はらず、或る役員の如きは、該金を同町信用組合即ちブル階級共の組合へ預金して、利殖する云々と稱する慾張りもある、彼等は濟世會の目的を無視して營利的事業の如く思つて居る、のみならず、寄附金の出來ざる樣の者は、救助を受くる事を知らずして、好きで貧乏して居るが如く放言して居る、前記事情を耳にした無産者同志は、彼等に對して今後極力反抗し、彈劾すべく目下協議中なれば近く實現を見るならん。

× × ×

今更事新しく言ふ迄もなく、農村に小作組合あり、工場に勞働組合のある如く、勿論都市町にも借家人の組合がある事は當然である、茲に於て吾が西大寺町にも、プロ階級の借家人等が目覺めてか、近來同町の家賃の高價と、家主等の橫暴とに憤慨し、借家人組合組織の計畫をなし、若し設立の上は、家賃の値下運動は勿論、家主に對する策戰に就て昨今寄々協議中なれば、實現の上は意外の問題を惹起するならん。因に一方家主側にても將來同町は追々發展する見込みあるを以て、家賃の値上するとも、値下は絕對にせずと强固に構へて居る、吾等同志は一日も早く實現せん事を期待して居る。

光をあてに一步一步と進む

水野貝三郎

吾が國中部岐阜縣は未開地であり文化の程度の如きはめて低く、敎育機關も交通の機關も未發達にして、一般民衆も無自覺の狀態で近代的階級意識にハッキリと目醒めたる、勞働及び農民階級はなく、唯々保守的歷代財閥有力階級の精神的支配のもとに甘んじ、唯夢の中に在つたが、社

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

會進化の潮流は切々として吾等プロレタリアートの長夜の眠りから醒まさせ、無產の大衆の解放を絶叫せる社會運動の諸團體は全く雨後の松茸の様に至る處に出現しつゝある現狀である。吾が中部に於ける草深き岐阜縣の社會運動、勞働運動及び小作運動等の諸團體の出現を歴史的に概察すれば即ちマルキシズムを主張し全無產階級の大解放をモットーとする思想團體の分隊たる岐阜進め第一支局の創設を期とし、日本中部農民組合が生れつゝいて『未來は青年』のものと絶叫す眞赤な燃ゆるが如き血の所有者若き青年闘士によりて中部青年運動同盟なるものが組織され且又社會改造同盟及び一般社會より特殊部落民以上に侮辱されて來る製瓦工により東部製瓦工組合が生れ最近に至つては、政治の大理想とする最大多數の最大幸福を大眼目とする民衆政治の研究と無產政黨の樹立に急ぐ『政治研究會岐阜支部』の發會式を見たのであつた。亦々近く生れんとするのが進め岐阜第一支部のわる近在の片田舍に政治研究會下麻生班である。

前に述べた様に全く矢の連飛の如くの勢ひを持つて生れ進む無產大衆解放を目的とする闘爭諸團の出現はやが――――なる現資本主義制度――――は一歩一歩更に一歩と改造され其の運動形勢は益々年月日を重ねる共濃厚となり吾が中部の一ッ隅よりも取のなくなる。光輝ある世間の大建築に道を早めて居る事を全土の兄弟に告ぐるものである。

凶作の兆に期待して

富山　宮村藤次郎

氣候不順――凶作――年末――やつれた家族の顔、八月にして此の雨どうも此の分では今年の秋が氣づかはれる。それでも地主はやつぱり小作料を容赦なく取上るだらう、せめて今年だけでもうまくゆく様にと願つてゐたが、それさへ惠まれはしないやうだ。

秋になつて收穫の具合によつては小作米不拂同盟でもつくらねば、やり切れなくなるだらう、しかしそれも『これも先の世からの因縁で仕様がない。まあおてんと様が思ふ様になる譯はなし、地主様の田圃だもの小作料を欲しがるのも今の世の中じや無理もない話、あきらめるばかりさ、まあ不平を言はずに念佛でも唱へるべし、そうすりやあの世へだけでも浮かべるだらう。』そばかりに近來の資本主義的一向案に思ふ様なぶられた小作人達ばかりの此の北陸地方の狀勢だ。彼等はただ曇天を溜息をついで仰いだり、暗い顔をして

荒れ行く田圃を、奪はれたる彼等の田圃を眺めてゐるばかりで、然し彼等もやつぱり正直な人間達だ　さて秋はなつて愈困つて來れば始めて氣附くに違ひない。社會主義の社の字も知らないでも彼等は困つて來れば米騷動も起した人達なのだ。然し囚はれたる彼等は生死の最後までおそらくあきらめ式の舊觀念に緊息して農民組合さへもつくらうとはしないだらう。

困れ！困れ！すべての運動がはか〴〵しく行かぬ此頃俺はこんなことを考へた。もつと困らなければ、もつと資本主義の呪ひの魔の手が露骨に惡辣に目前に迫つて來ねばみんなの人々は動かうともしないのだ。俺達の言葉に耳を貸さうとはしないのだ。彼等は資本主義も社會主義も必要ではないのだ。事實さうだ。俺もそれには何の異論もない。しかし只俺達は喰つて着て住まつて生きて行くだけの必要は餘りに必要なのだ。否俺達は現あまりに飢過ぎてゐるのだ。成る程俺達は現在生きてゐる以上、喰つて着て住まつてゐるには違ひない。しかし此の我がプロレタリヤの夭死は破辱は生活の低賤さは、而してまた常に俺達の背後に迫つてゐる黒い山の樣な不安は何とする。俺は救はれ樣とはしない、俺達は俺達の生活と幸福を俺達自身の手に依つてとらうとするのだ。それには俺の、個人の力では何にもならぬ。大なる團結を必要とすることは餘りに解りすぎきつてゐる理論だ。そして實際なのだ、しかしそれも今の實際ではもつと俺達が困らなければ、此の上更に虐待されなければ血の染んだ搾取が續かなければ、形づくられないとは何といふ皮肉だらう。

兎に角いくら俺が一人躍起になつてもピクともしそうにないブルヂヨアの大勢力だ、そして俺達兄弟達には何の反響も起らない狀態だ。これから更に幾年此の儘の狀態で民衆は慘憺たる搾取に血の涙を搾り俺達の同志はまたそのチヤンスを待つまでコツ〳〵と堪へしのんで行かねばならない。そして皮肉な話ではあるけれども、時々こうした不景氣・凶作などでも來ると何事かをひそかに期待してゐるのだ。

最後に富山縣人に言つて置かう。越中の名物富山の藥は一體何處につける藥だ。資本主義が傷つけた社會の傷口はそしてブルヂヨア思想病になやんでゐる馬鹿共に十貫目つつも其の苦いエッキスを呑ませてやれ。

全土戰報のうめ草にまで

在富山縣　中島安太郎

私自身、自由勞働者であり、失業

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

者である關係上、本誌、六月號の伊豆熱海丹那隧道のトロ押し藤島君の通信や、飛騨山間の建築請負業者に使はれて賃銀不拂ひに惱む佐伯君の八月號の通信の如きを讀んで痛切に社會制度の缺陷を感ぜざるを得ない次第であります。もつとも賃銀不拂ひ問題の如きは滅多にあるものではないが、僕及び僕の知れる自由勞働者が證驗した事實に大正七年の春、長野縣の帝室林野管理局の仕事で横山太七と云ふ富山縣人の請負になる木曾の材木一車積みに從事して一文も金が貰ひなかつた事實があり、現在では赤祖父水力とかの自由勞働者に對する賃銀不拂ひが、ブル新聞に二三行書かれてゐるのを知つてゐる位ですが、日本全國にわたつて十ヶ年間（過去）調査したならば餘程の件數に達するであらうと推測されます。

最近、小說家藤森成吉氏が新聞紙に云つて居られる如く、勞働時間が非常に長いこと、そしてそれが左程社會の問題になつてゐないと云ふことです。現に私が働いてゐた、淺野總一郎や日本電力株式會社のやつてゐる、庄川電氣の工事に於ても見られる如く卽ち、請負業者佐藤組配下御旅屋某の事務所の前に貼布してある時間表の如きがその適例であります。曰く

野丁場就業時間表

始業　五時半
煙草　自九時　至九時十五分
晝食　自十一時半　至十二時
煙草　自三時半　至三時四十五分
終業　七時

右の通リ御座候

大正十四年四月　御旅屋㊞

各位

つまり純勞働正味の十二時間三十分と云ふものが、自由勞働者卽ち土方の働き時間であつて、それに對する賃銀は四月十五日以來、此の工事の全體にわたつて、不定、きまつてゐない、次の會計になれば解ると云つて金の中間貸しをやつてゐるやうな次第でした。

坑内は十二時間交代と云ふ工合で佐藤組配下の者がやつてゐます。英國炭坑夫の七時間勞働や列强勞働者の八時間勞働の如きは、富山縣勞働者の常識の外にあると云つても支障はないのであります。修養の時間も研究の餘地もあつたものではなく、飲酒、賭博賣淫者を探ねること、暴食、以てこれに交ふると云ふ始末、世界第一等國の自由勞働者と雖も、（所謂百姓人夫を除く）階級意識に乏しく組合心理をも有せず資本主義社會、萬々歲でありまして敢て、大和民勞會、赤化防止團の御足勞の必

要はないと云ふ芽出度さです。労働賃銀の價格は不定にして既に支拂はれたるものは飯代を除き一圓二十錢乃至二圓六十錢は最高であつて技能を有する坑夫位が受け取る額であります。

反官製青年團を創れ

—思想幼稚の愛知縣青年諸君—

大和久雄

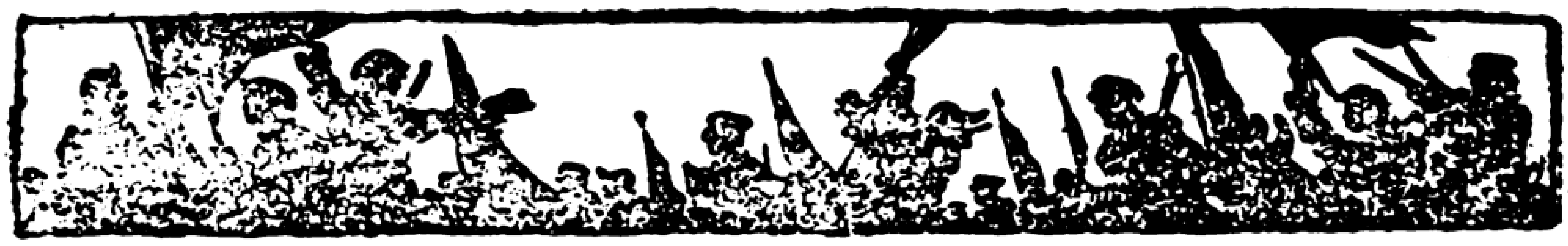
我が愛知縣全般から見ると、青年の思想の幼稚さが、まざ／＼看取される。特にそれが尾張部の青年に多い。三河郡は大半山の中とは言へ、なか／＼研究心に富んでゐる。毎年春期に催さる丶各郡の青年大會は、悉くその色彩が軍國主義化されてゐる。彼等は未だ劍光帽影の夢に醉つてゐる。彼等を指導するものは、古手の將校下士又は在郷軍人の輩である。彼等の言ふことは、一にも二にも安價なる名譽が先きだ。藥にもならぬ表彰に心掛ける徒だ。それが多く無産階級の青年だからタマラない。如何に之を以て、思想の幼稚さ加減が判るであらう。彼等の仕事と言へば、路上に放歌することであり夜這ひすることである。之が村の青年が誰もがすることであり、村の娘達が嬉々としてその對照たり得るのである。農村の風紀の廢頽しつ丶あるのも、洵に無理ならぬことと思ふ。さあれ之が官製青年團の苦手であるのだ　青年の燃ゆるやうな眞理の把握を止め、去勢せしめ、痲痺せしめ風紀を紊亂せしめ、思想の穩健を以て鳴る所以だ　光榮なる文學資本主義—軍閥—官僚輩の包圍の中に、萎縮しつ丶、不健全な命脈を保つ愛知青年諸君—けれども、いつかこの迷夢から白日の光を仰がねばならぬ。それは諸君が一致團結して、反官製青年團を是非とも創設することだ。力は團結より—無産青年の曙はかくて生れ出づるであらう。

我村の青年と選擧

蠶家　小林まさゐ

妾の村は七區より成つてゐる村でございます、去る六月村會議員の選擧が行はれました。その時痛切に感じた一二をお話して見度いと思ひます。選擧期日の前夜ある家へ妾が遊びに行つてゐました。その時知らぬ廿五六才の青年が主人を尋ねて來ました。丁度家に主人は居りましたので何の話に來たのか、好奇心から耳を立て丶聞いて居ましたら五圓札一枚出して明日の選擧にはぜひ何々に投票してくれる樣にたのんで居ました。その時主人は怒りて曰く「選擧すべき權利は君の指揮は無必要」と

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



のことにしぶ〳〵出て行つて仕舞ひました。後で聞けば他區の靑年會の幹事で親類の候補者のための運動だときいて、如何に靑年の無自覺とは言へ情ないことだと思ひます。妾の區では三人の候補者の後援に靑年の幹事連五六名でした、その運動の仕方は金こそ蒔かないけれどまるでお祭り氣分の樣ににぎやかに、あんなことで運動も何も意義をなさぬと云つて靑年に腹を立たせた妾の云つた通り期日になつて見ましたら一人より當選してゐなかつたので御ざいます。又その候補者の人物批評をしますと人格者でなく資產家なのでございます。妾の村の樣なプロの多いところでは、勿論プロに代表すべき人間をプロから出すべきが當然ですけれどそこには悲しいかなある一つの意味があります。田の多くない只養蠶のみに依つて生活してゐる妾の村の生活狀態をよくお話したらば分つてもらふ事が出來ます。かりに五十貫繭を取るとしますと六百坪の桑畑がいります。肥料は六七十圓せなくては六百坪で五十貫は取る事が六かしいのです。五十貫取つて十圓に賣つて（一貫目）五百圓としますと七十圓引けば四百三十圓で人手費用を三十圓と見て四百圓になります。家内五人で一人平均十圓で五人で一ケ月五十圓になります。一年に都合六百圓入用で二百足りない譯です。止むを得ず借金します。それも運がよくて五十貫取れゝばですけれど、氣候の加減や溫度の加減で半分も取れないことがあります。それに益々借金はふへて行くことになります。病みでもしたら殊更に。昔は神や佛の前に下げた頭も今はブルジョアの前に下げなくてはならなくなつて來ました。それでその貸主の一度村會議員なり區會議員なりの候補に立つた時に投票せぬ樣な場合にはすぐ訴へて差押へなどする例が選擧の度每に見せつけられます。

こんな狀態に置かれても一人として立つて民衆のためにと思ふ靑年はありません。石と鐵で固めた樣な老人を相手よりと思つて時々靑年の中へ入つては話して見る事が、彼等はスパイとかポリとかの爲に建られたと言つても過言でない樣な靑年會です。でも何れ近き將來に於てある一つの何物かを作らなければならない筈です。妾は女で殊に若いのを殘念に思ひます。何れ努力すべき時期のあるのを信じつゝ、底力を養ふのにつとめることにして筆を止めます。

行詰りを打開の秋

東京　大藤畢一

世相は動く、年と共に動く、さし

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

もに跋扈せる陋習的勢力も過ぎし一年に於いて既に調落の兆をあらはした。おそらく今秋はそれらの勢力の衰退と共に、新しき創造の時代に入るであらう。特に日本に於いては大震災の打擊を受けて財界の不況は其の極度に達し、資本主義的經濟の行詰りは今や到底救ふべからざる破目に陷り、續々破綻者を隨所に曝露しつつある。のみならず目覺めたる民衆勢力は政府と政黨として普選實施の已むを得ざるに至らしめ、前議會に於いて曲りなりにも此の普選案は通過した。蓋し民衆政治の一關門がここに初めて開かれたのである。たとへ成り行は何となつても此の打破的新勢力は當に大正政治史に特筆せらるべき一大事でなければならぬ。時代はすでに走馬燈のそれならねども、舊制度の維持を困難ならしめつつあるは、事實は之を雄辯に物語つて居るではないか。而して之が對策として更に新しき制度を樹立し民衆を塗炭の苦しみより救ふことは國民として責任であり義務である。共にまた權利である。そして之が責任を完成するものは從來壓迫され來つた無產民衆の新勢力でならぬとともに一層の新しき努力を要するのである。復清秋を迎へ新しき形勢に直面して我等の期する抱負は大ならざるを得ない。笛吹かば踊るの慨がなければなるまい。（在東京本所新町）

積極運動へ

臺北　周

南國の美麗なる臺灣、版圖に歸りしより三十年となつた。官憲から壓迫され、日本の資本家に搾取され、生活は饑餓に瀕し益々深刻に陷り、全く暗澹たる社會狀態と化してしまふ。吾人は見るに忍びず——が四面無岸海中の船の如く、此時只吾人は兄弟、被壓迫階級民族の握手を痛切に求むるばかりだ。幸、熱血の血躍る『進め』を通じての全國の同志の熱聲に呼び起されて、軈て此の一身を拋ち、階級戰々線に戰ふことを約する。同志よ！實行的方面に苟くも、社會制度の根本惡を感じ得る者が、急激運動を不至當と吐すは何ごとぞ！現在の支配階級の下に蠢きつつある者、食はんとして食ひ得ざる者、而して資本主義を敵として戰はんとする者、更に社會主義社會を建設せんとする者、合法運動の蔭にかくれて、何ごとかを企てんとしつゝあるが、惜むらくは諸兄のリベツ化的墮落である。合法運動果して何ものぞ？俺は信ずる俺達の合法は飽まで積極的に勝利を得ることありと同志よ、再起せよ！

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

勞働教育不備

川田稲穂

勞働者の階級意識を徹底せしめる樣な教育機關の尠いのは遺憾である一番信用出來るのは總同盟の日本勞働學校や大阪勞働學校等であるが、收容する人員が尠く設備も不完全である。これは經濟等の關係もあらうが組合がやる氣であれば、出來ないことはない。大會の議題にでも供して徹底的に討議して欲しいものである。組合の使命は經濟的階級戰を主とするにあるが、これ以外に最も大切なのは政治運動なぞよりも勞働者自身の教育である。今日の幾多の教育機關は、眞理を飴の樣にするために出來てゐる。其のゴマカシの皮をヒンムイて眞正の人間教育をする處の勞働學校が、自ら求めてゐる有爲の青年を充分收容することの出來ないのは情ないことだ。一組合一支部を代表しまたは其の推選によつて入學する者が多い樣だが、直屬の者であり、個人であり、何等の背景も持たないものは（もちろんそれは組合員で）ここでも虐げられてゐる。そこでも弱い者は損である。」

同志は殖ゑる

神戸　七竹南凌

僕は中國のH市より五月末に當地に來たものです、郷里H市で新聞配達をやつて居た時は仲間の中にもかなりな同志がゐて度々ストライキをやり其の都度警察の御厄介になつたりして心強く思つてゐましたが、當地に來て新聞配達をして見ると色氣のある者の一人も居ないのにはつくぐ悲觀しました、併し近頃は多少僕の話に耳を傾けてくれる者が出來て一人嬉しく思つてゐます、仲間の大部分は若い苦學生です、彼等が眞に吾々の同志になつて呉れたら將來心強く又必ず何等かの役に立つ事と信じます時々開かれる同志の演說會にも最初は一人で行つてゐましたが近來は二三人の仲間も同行してくれる樣になりました諸兄！吾々貧弱なる新聞屋の中にもかうした諸兄の弟分の居る事を知り大いに御指導下さいやがては吾々の仲間でも大々的に實際運動を起す決心で居ります終りに諸兄の健鬪を祈る、一三、八、二五、

自由勞働街

東京　寺澤正吉

市の道路局に行つて一圓七十錢とつたのは五日前だつた。それからずうつと雨だ。其の間一日一寸晴れたが、仕事にはありつけなかつた。其の間どうして飯を喰つてゐる、と問

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ふならば、問ふだけ野暮だ。生きてはゐるよ、無論こうしてゐるからには、一昨日のかけ二つ、今日の芋五錢、あゝそれから忘れてしまつた。仲間の誰だつて無論金なんか持つてゐる奴は一人もないんだ。一体此の俺達の仲間があつていゝのか悪いのか、いや敵だ、敵だ。それが證據に俺が今朝もそして昨日の朝も胃の腑に何か一杯詰めたいばつかりに、あぶれたくないばつかりに、仲間と取組合の喧嘩をしたではないか。チエッ一圓五十錢でいゝから他の奴を止めさせて其の代りに俺を使つて呉れと足で俺を蹴飛ばしながら世話やきに取りすがつたのも仲間だ。俺は今朝世界中の資本家より彼奴の仕草が癪に障つた。よし！翌朝は今あれは俺の役割だ。でなくちや俺が干乾になるばかりだ。一体仲間の殖ゑるてそはよくない事だ。しかも此頃殖ゑるは、殖ゑるは、太腹をかゝへた俺達の仲間が。新聞を見たかい。いや新聞は當にならないもの、張本だが見ろ、淺草公園の夜に行つて見ろ！工場から資本家の膨れ上つた豚腹にぶつ飛ばされたのか。遠い田舎から田地を取上げられて突放されたのかそれはいゝが何百人うよ〳〵と資本主義の糞粕をなめて生き様とあせつてゐるんだ。内閣がどうならうと俺にや何の關係もないことだ。それよりもそれよりも、完全に生きることだ。それが必要なんだ。議會がでたでたしてゐる中に勞働宿泊所と職業紹介所が滿員になり。自殺と强盜と入獄志望者がどん〳〵ふゑて行く。憎むべしだ。俺達の仲間がふゑて行くんだ。

帝都の眞中に自由勞働者（若しくは立ちん棒、浮浪民でもいゝ）が數萬もウヨ〳〵してゐた時代が一体何時にあつたらう。恐るべき資本主義制度の齎せる惨澹たる現象である。目がうすれる、心臓が減る、默つてゐたらみんな頭を揃べて餓死するぞ！反抗しろ！社會主義を叫べ。資本主義と戰へ！彼奴は俺達の敵なんだ此の儘ぢや俺なんか生てゐたつて感心した世の中じやない。

俺達の仲間よ！疲れてはいけないフラフラして歩いてゐたら電柱にぶつかるが關の山だ。

俺達は人間なんだ。立派な人間なんだ。そして今は只家と土地と工場を奪はれてゐるだけなんだ。

地方の同志諸君はその地の農村運動勞働運動の現象、勞働爭議、小作爭議の情況並びに諸君の感想を餘り長いものに渉らない程度でどしどし寄稿して下さい。
諸君の生活の實感から生れた詩や歌を寄稿して下さい。但し採否は編輯者に任せて頂きます。

—二十六頁下段よりつゞく—

告取りをする事がモット勇ましく、モット社會主義宣傳として價値あるものと思つて居る。之世界の新鮮チヤホの前に跪くより旦に有田ドラックの廣告文を書き、ヨタ實業會社廻りの生一本の掠奪の方がより懸命にして、より拾石たるの觀がある。

今一ツは事實上の仕事である。共産黨とか言ふ多幹部・小幹部・陣笠連の人々に何れ程の仕事の足跡があるであらうか。共産黨の人々にはそれ等の形は更にないではないか、セイ〳〵出來たものが、共産黨の細胞ゴッコであらう。それに引替て『番外』とされた侮辱の人々、の中でも福田狂二君の『進め』の如きは唯一なる現代はイザ知らず——社會主義宣傳雑誌として價値あるものである共産黨の生意氣一點張りの人々には到底なし得ない處ではない

アメリカ奇談（三）

前田河廣一郎

四、良心料理屋

この奇怪な料理屋の名は、自分がつけたもので、そこでは『良心』をサラダにして食はしてゐるわけではない。事實は單純なレストランに過ぎないのだが、その經營法が一種嶄新なアメリカ流の大まかな經營法であるので、自分も、かう奇拔な看板を與へてやつたつもりだ。

生活原理を、飽までも、性慾と食慾との二つに置いてゐるアメリカに、各種各樣の食慾充供所としてのカフエ、レストン、ランチ・カウンター、グリル・ルームなどの多いことは知れきつてゐるが、このレストランだけは全く特別な方法で客から勘定を受取つてゐる。

大體、忙しいアメリカの生活で、商工業に從事してゐる被傭ひ人は、極端に晝餐の時間を束縛されてゐる。從つて彼等の時間節約のためには、あらゆる手段を講じて、短時間に、一定限度の食料品を取入れるため設備が利用される。この良心料理屋は、ニユーヨーク市も下町の、株屋や取引所や事務所、工場、新聞社などの林立した區域に設けられた簡易食堂の一種である。大體の模樣を書くと先づ扉を押して這入る。左手に帳場がある。右手には客席があるだけで、そこからず

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

か、亦『番附け』それをして居る藤田洋二君の『潮流』の如きもその大なる仕事として認めなければならぬ。それ等の一切を無視した『番附』作製者の共産黨細胞とやらが暗に閥〃の存在を示したるが如きはコッケイも甚だしきものである。低級なものであらう。番外に羅列されたる多くの人々の會社廻り。廣告取りの効果は斯く番外に置かれる程に日本の社會主義者としての力の少なるものであらうか咄！

終りにあの『番附け』が決して日本の社會主義者の『番附』として完全なものでないと言ふ事を一言して置く、尚『赤番附け』の作者は誰れであるかそれを本人の名譽の爲めに祕して置く

◇

右の一文は北原龍雄の筆蹟と認めた北原は私の宅で窃盜横領を働き、共

んずん這入つて行くと、寶玉店のショー・ケースのやうに、種々に調理した食物を載せてあるガラスの陳列臺が幾臺となく室内に立つてゐる。それから珈琲や牛乳や茶などを注いで出すカウンターもある。陳列臺の前には誰もゐない。客は好き勝手にサンドウイッチでも、パンでも、果物でも、一寸した肉類でも、遠慮なくそこから運んで行つて、食卓の上でそれを食べる食べ終ると最後に彼は入口の左手の帳場へ行つて、サンドウイッチ一個、林檎のパイ一皿、珈琲一杯都合二十仙なら二十仙と、金高だけをボイーに告げる。それを聞くと、ボーイは、不必要と思はれるほど大きい聲で、

『二十仙！』と呼ぶ。

それで、登錄器をちやんと押して、二十仙の支拂額をその中へ收める。ただそれだけなのである。それだけだから、又、良いのである。實に氣持の良い遣り口だと私は最初このレストランについて感心した。

ところが、後から人に敎はつたことには、そのボーイが聲高に呼んだ際には、室内に客のやうに自裝をして監視してゐる見張人が、ちやんと客が何を食つたかも覺えてゐて、どんなに場所が混み合つてゐても、その支拂額を突き留て置くのださうな。そしてボーイの聲に反響がなければ、客はそのまま表へ出る――その私立探偵の默許の下に。

この最後の說明は、私の最初の印象にとつては、寧ろ不愉快に蛇足であつた。しかしそれにしても、同じレストランが日本で創められた場合も想像して見て、私に辛うじて、その不愉快さのうちにも一道の社會生活上の法律といふものを、アメリカに發見したのであつた。」

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

共產黨の命令に依り進め社の占領を計り私に氣づかれ放逐されたところ、進め保證金千圓を携帶して逃亡した男である。先き高畠氏のところで窃盗横領を爲し、逃げ出し、布施氏赤松氏等にも金錢の迷惑をかけてゐる。今年の一月、共產黨の金を一萬圓相場に費つて今堺、山川、荒畑等を喧嘩をして居る。共產黨には近藤、目下大阪府下で關西經濟年四分年鑑と云ふ、トウ寫版十頁許りの印刷物を出して飯を食つて居る、高津皆こんな連中ばかりだ。

例の番附は堺が造つた樣に云つてゐるが實は安田仁と云ふゴム小僧と藤田浪人が賣名のために造つたもので精確なものではない。藤田と云ふ男のする事はよく知つてゐる。八方美人で氣の弱いそして賣名の好きな男である。彼の著「反逆情史」はほとんど嘘を書いてゐる。堺の情事などは一切出さなか

自分は二三度このレストランへ這入つて、そこにむらがる事務員・職工・タイピスト・傳達小僧・小商人などの群が、全く動物的な食慾をもつて、サンドウイッチを噛づたり、珈琲をがぶ呑みしたりするのを目撃すると、かういふ無意識の時間に、ダンスの、社交の、都會のと云つて、虛僞の半面を着飾つてゐる彼等が近代資本主義の異常な膨張力にすつかりその文化的外見を搾取られて、單純な動物に還へつて、すべての獸同じやうに、食ふことだけを念頭に置いてゐる悲痛は歪められた本能だにも發見するやうな氣になる。

事務所や工場や新聞社といふ巨大な資本主義の機關から、一寸、本然の食慾を滿足しようと思つて、舖道を一町も歩くと、彼等は再びレストランといふ、人間の食道を握つた別な資本主義機關の扉口へ飛び込まねばならない。しかも、一見自由主義を標榜するやうな良心料理屋に於てすらも、忌むべき近代奴隷は、當然酬ゆるべき食物の陰に於ても猶暗いコムマーシアリズムのチエカ制度によつてスパイされてゐるものである。

（註解）『食物の爭奪は、どんなに巧妙に行はれても、やはり露骨な爭奪に過ぎまい。』（つゞく）。

社會講談

大鹽平八郎

一雨生

天保八年二月十九日、まだ東の空は全く明けきらぬ朝まだき、大童に髮を振り亂した一人の武士が大阪天滿橋を一目散に驅け渡つたが、蹶けつ轉びつ川崎四間

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

つて或者から絶交されてゐる。再版の際には是非左の件を入れてもらひたい（入れなければ私が何にか書く）

一、堺が木下西川片山を排斥せる事（明治年間）
一、堺と西川光子の情事、西川の長男は堺の落胤なる事（明治三十七年）
一、神田署の久保刑事の女をとつて妻とせる事（明治四十二年頃）
一、桂内閣が島中雄三、白柳秀湖、山口孤劍を買收せるイキサツ（明治四十二三年）
一、藤田は監獄で弱かつた事、殊に椎橋看守に叩かれたゝめ、福田が怒り椎橋を毆り典獄に責め、椎橋は處分されたる事（大正九年）
一、堺が政府より金を取れる事、（大正二年――大正五年）
一、山川が逃避したる事（大正三年）
一、堺が有田音松の原稿及び内務、遞

屋敷の大鹽平八郎の家に躍り込んだ。
『先生！一大事でござる。一大事でござる。例の企てが露見いたしましたぞ。』
と、其の武士は言葉忙しく、喘ぎながら叫んだ。
『何んと云われる。あの大事が露見したと言はれるのか。』
流石物に驚かぬ平八郎も、覺えず聲高に云ひ〱押取刀で飛び出して來た。
『左樣でござる』
注進に來た武士はホッと一息吐いた。之れは東町奉行配下の與力瀬田濟之助であつた。
『一体どうしたのぢや』
『先生斯樣でございます。拙者は昨晩は當番で小泉淵次郎と共に宿直いたして居りましたが、只今奉行跡部山城守より呼ばれたので、何事かと行てうと致したが、如何にも樣子が變ふので、さてこそは大事露見したのではあるまいかと、先づ小泉が氣付いたので逃げ出さうと致すと、後から一刀の下に斬り伏せられ申した。これは一大事と、拙者は身を飜へして堀を乘り越ゑ、注進に參つたのでござる。』
『ウーム、左樣か。扨は何者か裏切したと見ゑるな、時もあらうに愈大事を決行せんとする今日の朝、計畫が破れたと云ふのは、是れ全く天なり命なりぢや』
大鹽は天を仰いで嘆息した。
『それで、先生、如何なされますか。』
『計畫齟齬した上は已むを得ぬ。成ると成らぬと天に任せ、先んずれば人を制す手を束ねて討手を待つより、これより直ちに人數を纏め、事を擧げ、全日本正義

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

信省等の原稿を書ける事山川、荒畑等もての手傳ひをせる事（大正五年―大正十一年）

一、藤田浪人が東京大阪の各警察署長から五圓二圓の金をもらつて歩いた事（大正四五六年間）

一、山川菊榮が大杉に惚れ、當時仲のよかつた事（大正五年）

一、山川が高畠に及ばざるを嫉み、堺に協力して高畠を賣文社より追出さんとして反て高畠に青年が付和せる事（大正八年）

一、藤田は他の者が檢束されると直ちに通信社新聞社に『藤田浪人以下檢束さる』と通信する事

一、福田德三堺利彥が女郎屋でなぐり合をした事

一、藤田浪人が藤田銀次郎を脅迫して入獄せる事、又それを米騷動で入監したとゴマかせし事（大正八年）」

人道を佈き宇内に號命致さう』

大鹽は晴やかな顏をして決然として斯う云つたが、直ちに家内の者を呼起し、一味の者を呼び集めさせた。

屋敷内は急に騷然として、一脈の殺氣が充滿した。凡雲將に雨を呼ぶか暴風雨を招來するか、一味の顏には最早決死の覺悟が、其の眉宇の間に顯われてゐた。

『いで打ち立たう。』

準備も出來たので、大鹽は號命を下した先づ全軍を三手に分け、前陣は大鹽の養子格之助が之れを指揮し、中陣は大鹽自づから、之れを率ゐ、後陣は瀨田濟之助が將となつた。何れも着込を着、野袴を穿き白木綿で後鉢卷をした。渡邊良左衛門、庄司義左衛門、近藤梶五郎、白井孝右衛門などを始め一味の連中も、思ひ〲の姿で、槍、薙刀、鐵砲等の武器を携へ、大砲をば車に載せ、長持葛籠を擔がせた人夫をば後に從はせ、威風堂々と押し出した。大井正一郎は長槍を脇挾んで軍の眞先に立つた。

大鹽平八郎は、名は後藤と云つた。學名は子起、中齋と號し、其家をば洗心洞と名付けてゐた。元は東町奉行の與力で、寛政五年大阪に生れ、陽名學で中々弟子も多かつた。

去年（天保七年）は初春以來、非常に氣候が不順であつた。五月六月になつてもまるで二月頃のやうな寒さであつた。盛岡の如きでは、七月十五日の中元に藩士が登城するのに、帷子の下へ綿入を着してゐると云ふ始末であつた。

斯樣に氣候が不順なので、五穀は實らず、全國に亘つて大飢饉となつた。殊に東半地方では、木の皮の根まで喰ひ盡して、餓死した死体は道端に算を亂して倒

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一、大阪の佐々井晃次郎が正月の餅代を貧文社員に各五十圓づゝ、送れる際堺が遠藤無水の分を着服して遠藤に『社會主義になつた漱石の猫』中に素破拔かれた事、（大正八年）

一、熱烈火の如き荒畑が大阪の岩手金次郎（此人女遊びを日課とす）廓通ひの御供してより、全く見違つて放蕩者となつた事（大正九年頃より）

一、ロシアに行くと稱して寄附金を集め、ハルビンにて大久保と云ふ内務省の役人に金をくれと云つて、遂にロシアに行かなかつた事（大正十二年）

一、明治四十年三崎町吉田屋金曜講演に於て吉川、半田、福田は堺が市街鐵道會社より收賄せる事を怒鳴り込みし事

（其他臭い事は數百件ある、社會運動裏面史は機を見て臨時增刊にして出

れ伏した。

大阪でも米の價は鰻上りに上り今年（天保八年）一時には一升二百文以上になつた。此前（天保四年）の飢饉の時にも米價は百六十七文になり、人民は皆苦しみ、江戸には米一揆が起つたが、大阪は名奉行と聞えた時の西町奉行矢部駿河守の社會政策が宜しかつたので此處には騷動等起らず『矢部（ヤレ）うれし、駿河の國の富士よりも、名は高山なる、米は安うなる』と民衆は唱つて、其功を感謝した程であつた。

ところが今度はさうでない。その矢部駿河守は江戸に歸り、後任の堀伊賀守はまだ來た草々である。東町奉行跡部山城守は、官海遊泳術は上手だが、官僚式で社會政策はカラ駄目だ。貧民救濟もやる事はやつたが徹底してゐず、米價の引下も計らず、貧民の苦痛を他所に見て、毎日料理屋で酒を飲み飽きてゐる資産家共に寄附させる方角なども殆んどなかつた。

此のダラシのない有樣を見聞きした大鹽の癇癪玉は破裂した。此上は市民の爲に、この有つても無くてもよい兩町奉行の首を刎ね、資産家の財産を散らして窮民を救はうと決心した。

それで一味の者を集めるやら、武器を買い入れるやら、着々準備を整へる間にも、窮民の有樣を見るに忍びず、藏書を殘らず賣拂つて六百兩の金を拵へ、一萬軒に對し一朱宛を施す事とした。

それは二月の始めに行はれた。

『大鹽樣がお金を下さるさうだ。有難いことだ』

と、人々は皆喜び合つた。名與力として、ゑらい學者として、大鹽の名は、大

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

す、
番附は私のところに送らなかつたので借りて見た　僕のやうな下らぬ男を張出大關にされたのは北原の云ふ侮辱の意味には、しない。藤田が張出大關になりたいために入れたのである。藤田と云ふ男はこんな男だ。私はこれでも自分を知つてゐる。藤田浪人君の樣な偉い男ではない、學問もなく、これ迄共產黨の手先となつた事はない
私は番附に對して藤田氏に次の端書を送つた。

問題掲載の赤番附を見ました。小生の樣な學才なき又、堺の手先きに非ざるものを張出大關とせらるゝは穴に入りたい心地がする。貴下の御相手は高津正道君がいゝと思ふ。貴下はいつも私のやうな小人物を出されるが貴下のためにもよくない今後おことわりする。（福田生）

阪中に鳴り響いてゐたので、此の施しは一層有難く、人々の胸に泌みたのである施しも日を重ねて、明日一日と云ふ時になつた。其時東町奉行跡部山城守から、訊問の筋あり出頭すべしとの差紙が來た。
大鹽が奉行所へ出頭すると、山城守から、
『其方は此度窮民に對し、金錢を施してゐるさうだが、其の屆出をせねばならぬ不都合ではないか。』と咎めを受けた。
これは山城守の方も道理であつた。從來とても、金錢米穀凡て人に施す時には奉行の許しを得てからするのが規則であつた。それを故意とか、それとも忘れたのか大鹽は屆出て置かなかつたのである。
『恐れ入りましてございます。實は手前は隱居の身分故、お屆けに及ぶまいと思つてゐたからでございます。今お咎めに逢ひ、不注意の段、何とも申譯でござりまぬ。就きましては施與の儀如何致しませうや、此儘中止仕まつりませうか。』
と、改めて訊ねた　山城守も考へた。人々が喜び切つてゐる大鹽の施しを、奉行が止めたとあつては、自分が怨まれなければならぬ。殊に大鹽の金の出所も分つてゐる以上は、深く咎める事もあるまいとてそれを許した。
ところで、大鹽の方では既に大望を企てゝゐる時の事であつたから、此金を施す毎に一人〳〵によく言ひ聞かせた。
『其方達、此後若し天滿に大事があつた時には、必ず驅け付けて參つて呉れ』と賴んだ
大鹽が大事を擧げようと思つた日は二月十九日であつた。此の日は新たに西町奉行として江戸から來た堀伊賀守が、東の跡部山城守と共に市中を巡見し、與力

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

田の草取り

新樹

底知れぬ青藍の空に
燃え狂めく灼熱の太陽——
風も死に、草木は白く吐息し
蟬の音は乾からびてゆらゆらと熱氣は地上に搖めく、
おお、その直射する熱光線を背にうけて、
炎天に田の草を取る、汗はじりじり膏と共に滴り落ち、
心の中に煮えたぎる憤怒の思はあふれあふる、。
ああ、俺達は人間か、働く機械なのか?、
俺達は決して百姓をきらいはせぬ、
ただこの土と光と清純の野の勞働を
塵芥の中搾取の桎梏に垢と惡臭の無駄骨打にする社會の存在を呪ふのだ、
稼ぎに稼ぐ俺達のこの日に燒けた筋肉に群がりくひつく貧乏の虻の群

朝岡助之丞の家で休息するのが十九日申の刻（午後四時）であつた。朝岡の邸は大鹽の直ぐ前なので、其時、大鹽は一味の者を引連れ押し寄せて一擧に兩奉行を討取り、市中に火を放ち、横暴極まる資産家其の倉を破り、米穀金錢を窮民に分けやうとの計畫であつたのである。

これが九分九厘まで、うまく行きさうになつた時に、一味の東組の同心平山助次郎、吉見九郎右衛門、河合郷左衛門の三人が急に心變りして了ひ、跡部山城守に密告すると共に、大鹽の手許から檄文一枚を盗み出して來た九郎右衛門の倅英太郎と郷左衛門の倅十次郎の兩人には東組には大鹽の一味が大勢ゐるので、と支配違ひの西町の堀伊賀守の方へ訴へさせた。これが十九日の朝七ッ時（午前四時）であつた。

大鹽の大事はこれですつかり露見して了つた。計畫は齟齬した。大事は破れた今はもう進むより他に手段はない。只進んで、櫻花に先立ち、紅き男子の血潮を春淺き浪花の地に散らせばよいのだ。

『いで人々、兩奉行の首を取るか我等の首を取られるか、二つに一つの賭博を致さう。』

白鉢卷をした大鹽は勇ましく云つた。

全軍押出し際に、大鹽は先づ自分の家に火を放つた。火藥などを十分に用意してあつたので、忽ち炎々と燃え上つた。續いて向側の與力朝岡助之丞の邸へ大砲を打込んだ。轟然たる大音響は凄じく響き渡つた。

『氣持ちのよい音ではないか。』

『暴利を貪る町人共を驚かすには持つて來いぢや』と人々は勇み立つた。

一行は隊伍整々と、天滿橋筋へ出て、右へ曲り左へ折れ、南同心町から天神橋

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

滴り滴る汗に憤怒を罩めて陽のやう
　に熱した田の中を掻き廻し雜草を
　取れば、
思はずチクリ稻葉の尖きが眼に刺さ
　るのだ、
燒かれ傷つき汚れ働きながら
ああ、俺達はこの田の中に喘ぐ土鼹
　か？、
否、俺達の力、土の力は根强い、
隆々こ盛り上がつた筋肉、土のうね
　り、
打ち碎かれ打ち碎かれながらひるま
　ぬ力だ、
力は汗の中に輝き充つ。
この力の前に脂肪太りのブルジョア
　の奇怪に、
もぺんぺんたるドデッ腹を戰慄崩解
　せしめる時、
日は毒蛾のうようよしたブルジョア
　の腐肉をこの社會から投棄する時
俺達の汗は更に輝くだらう、
勞働の誇は收穫の穗高く更に輝くだ
　らう！

の方へと押し出してさうして兼々目を付けてゐた奸吏奸商の家々へ、大砲を打ち込み、炮碌玉を投げ込んだ。炮碌玉と云ふのは今の燥弾のやうなものである。其他、火矢なぞをも放つて、至る所火の手があがつた。大阪市は今にも一面の燒野原になるのかと疑はれた。

猛火に迷られた大鹽の軍は、道々群衆を味方に引入れ、總勢三四百人に達し、潮のやうな勢ひで進んだが、難波橋を越えて堺筋に達した時に、全軍を二手に分け、一手は其儘進み、他の一手は鴻の池善右衛門以下鴻の池一黨や、天王寺屋五兵衛、平野五兵衛などの巨商の住む北船場へ押し掛けた。

『町人の癖に日頃から、贅三昧をしてゐるのは此奴等だ！』

『飢饉で多くの者が苦しんでゐるに際に却てそれで儲けてゐるのは此奴等だ！』

『義理も人情も知らないのは、此處にゐる奴等だ！』

『構はぬ滅茶々々に踏み潰して了へ！』

大鹽の仲間も新たに加はつた群衆も日頃忌敵と思つてゐる富豪の邸宅を眼の前にしたのだから堪らない。ソレとばかりに一同亂れ入つて思ふ存分暴れ廻つた。肝腎の大鹽の一隊が暴れ廻つてゐる間に、町奉行が方では何うしたかと云ふに、跡部山城守等は、自分が大鹽勢から怨みの的とされてゐると聞いて氣味が惡くて急には御神輿を持上げる事が出來ない。役宅で甲冑に身を固めた所だけは見事だが、鐵砲奉行に加勢を頼めの、大砲を借りて來いのと、いつまで經つても埒が明かない。

傍にゐた者が見るに見兼ね、もう川崎の東照宮の社が危くなつた若し之れが燒かれたなら、跡部の家の大事であらうと激勵したので、始めて跡部も氣が付いて漸く一つ時（午後四時）になつて出發した。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

冷熱　大山勝義

寢るごといつも思へる事のあり
このまゝ果てよと
今宵も願ふ

×

立ちどまり
仰げる空の美しさよ
眼を病みて幾早星も忘れき

×

來は來つれど
すぐ淋しさにもどりゆく
香具師の談るも聽きて倦きにき

×

疲れ果てし群を
土堤より追ひ拂ふ
巡査よ彼も人にしあるか

×

並び立ち彼は怒れり
默々と我は笑みてゐき
塵埃の午後

それでも山城守の手勢は、内平野町の西で大鹽の一隊と遭遇し、こゝで双方撃ち合つた。目覺しい戰ひで砲聲天は轟き地に響き、大修羅場を演出したと形容したいが、實は甚だ呆氣ない小競合の末兩方は一時引き分かれたに過ぎなかつた。

それから大鹽勢は淡路町、山城守は瓦屋町と兩方同じ方向に向つて進んだが、堺町で再び遭遇した。此處で、物蔭から射撃し合つた。これも捗々しい戰ひではなかつたが大鹽方は敢なくて、こゝで潰滅して、四分五裂諸方へ散つてしまつた。

一敗地に塗れた彼は、徒黨を解散して、自分達連名の者十二名だけ、七ッ時（午後四時）天神橋の東の八軒屋から、小舟に乗り、天滿附近を漕ぎ廻つてゐたが各所で夫々上陸させ、最後に自分は養子格之助、それから濟之助、良左衞門、茨左衞門の五人で東横堀で上陸し、河内路を彷徨つたが、遂には父子二人限りとなり、頭を剃つて僧の風をして隠れて歩いた。

『斯うしてゐても限りがない。燈臺下暗しと云ふから、一層の事、大阪へ戻り知人を訪ねて隠れやうではないか。』と大鹽は、二十四日の夜、闇に紛れて大阪に戻り、油掛町の手拭地仕入商美吉屋五郎兵衞方へ隠れて再擧を許つて居た。

暫らくは誰にも知れずにゐたが、三月の出代時に暇を取つた下女の口から、端なくも此事が漏れて、城代土井大炊頭の耳に入つた。

『ソレ大逆人を取逃すな。』

と火急の命の下に、三月二十七日七ッ時（午前四時）に多數の捕手は美吉屋の四方を取巻いて御用御用と呼はつた。

『萬時は終つた。大鹽親子の最後の時が來つたぞ！』

大鹽は豫て用意の煙硝に火を放ち、黒煙濛々と渦巻の中で咽喉を貫いて自害し。

民衆の爲に起つた大鹽は、斯ふして敢なく最後を遂げた。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

閥賊の陋劣を摘發する

福田生

日本共産黨が創立當時より現在に至る迄の吾が進め社に加へし陋劣極まりなき手段は實に言語に絶するものがある、彼等の曾て執りし惡辣なる行爲は常識を以て判斷することは出來ぬ、私は昨十三年二月北原龍雄が進め社を去りし理由を僅々三十名計りの人に傳へたが今茲に再び報告することにした、其の當時の除名書は次の如くである、

北原龍雄等除名ノ理由

恐るべき野心を以て北原龍雄、横田忠夫、松崎嗣郎、京谷周一等相計り『進め』より私を放逐せんとて京都、大阪・神戸の勞働組合員二十餘名を語らひ・暴力を以て遂行せしことが、發覺したから、彼等を除名致しました。

此事件は實に惡辣を極め切齒扼腕する。初め私が同志を中傷したと僞りての同志を怒らしめての同志中には私が知らない人が多い。而して『資本家の手より進めを奪はん』と稱し惡策を企て又は私の家庭をも破壞せんと試み、或は武井松崎等をして私を暗殺せしめんとしたことは實に組織的に計畫された、惡事悉く暴露して彼等は白狀した、依りて二月一日除名した。

これ等惡黨の中でも最も恐るべき憎むべきは横田である、表面正直にして忠實なる、何人も容易に彼に僞瞞せらる、私は彼の肉を啖つても飽きたらぬ。

『進め』は御承知の如く同志諸兄の援助に依りて私が經營したものであります、今日漸く收支償ふに至るまでの私の苦心は一通りでなかつた。

創刊當時より編輯主任として北原は大正五年より私方にありしも、先年堺氏の賣文社より放逐せし發頭人、又農民運動より浦田を追放せんと企てしこともあり、曾て私の入獄三年間に私の書籍、衣服等一物も殘さず横領し、此三年間面會にも來なかつた、そして私をして裸にて出獄せしめた背德なる人格の持主であつた、故に彼は排斥しられ全く孤立して誰れも顧みなかつた

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

が山崎今朝彌氏が、北原は改悔して居るから君の雜誌に編輯長たらしめよとの話再三ありしが故、私は彼を「進め」同人とした初めは熱心に執務し運動したから同志間に評判よく追々地盤を作つた、私は北原が立派な男になつたと私かに喜んで居たが『進め』が發展するに從つて彼は同志間を離間せんとするが如き事があつたが私は阻止した、山崎氏、赤松氏を排斥し山川氏を攻擊せんとしたが私は社會運動を惑亂するものと認めて彼を戒めた、これ等が私を排斥する動機でありました。

彼は曾て警保局長より金を取つた事があつた、私はこれを叱責した所彼は著書出版の爲め僅かに、百圓なりと申しました、當時私は惡意ありと思はなかつたので發表しなかつた、今彼が社會運動を惑亂した事を考ふればこの事は疑はざるを得ませぬ

私はかくの如き惡漢を社會運動に入れし事を謝罪致します、茲に私は耻を忍んで私の不明不德を發表して此事件の顚末を報告致します。

十三年二月十日

福田狂二

『進め』は決して廢刊致せず、北原龍雄が進め保證金を拐帶して逃亡致しましたが私は、二月四日直ちに保證金を納付しました十五日に發行します、三月號も必ず今月中に出します。此際諸兄の御寄稿を願ふ。

其後此事件の研究調査をした所、以外にも堺利彥山川均兩君が尻押しであつた、此年の一月六日、私の友人木藤氏宅で北原と堺が密談半日に渉り進め社を奪取する計畫をしたのである、然し彼等は失敗に終りたから、進めの保證金五分利國庫債劵一千圓と發送カードとそして私の書籍、衣服、及び或る重要の物件等を竊取して行つたのである、

又横田は除名後直ちに山川宅に引取られた、前記勞働組合員とは中村義明、鍋山善七、青柿某桂某と人名を有する所謂共産黨の月給を取れる、今の刷新派の者共であつた、

共產黨はかくの如く進めを奪わんとしたのであるが私は私の進めでなくて無產階級の進めでかくて無產階級の進めであるから彼等にやることが出來ない、況んや、彼等の下劣なる事を知れる私はどうしてもやる事が出來なかつた。彼等は此の惡戰苦鬪の歷史を有する、光輝ある世界第一の無產階級戰鬪雜誌進めを惡用するからである。

私は飽まで戰ふ、彼等陋劣なる人間と戰ふのだ、彼等の如き人間に社會運動をする資格はないのだ、

彼等は何事も政策と稱し民衆を裏切る丁度今の政治家の如き野心の持主である、勞働者や同志を賣りてロシヤから宣傳費を稱して多額の金を詐き取る惡漢である

見よ、近藤榮藏はロシヤより來りし數萬圓を以て藝者遊びを

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

したのではないか、又今年一月大阪北濱に於て北原龍雄（山川も共謀らしい）は株式に手を出してロシヤより來りし一萬圓を失ひしに非ずや、

總大將堺利彦は數十萬圓の預金と貯蓄債券を貯藏するのではないか、彼等は社會運動に對して本氣でない、ブローカーである、

社會運動を賣る全世界で最も憎むべきブローカーである、

やがて民衆のギロチンに登るべき惡漢の集團である事は一點の疑ふ餘地がない、

私は茲に讀者諸君に對して日本共産黨が加へし劣惡なる此事實を報ずる、

彼等は皆厚顔無耻、奸獰陋劣なる無頼漢の集團なれば、日本無産階級は警戒をなし速時社會運動より葬らざるべからず。

彼等の如きものに加擔するは日本無産階級を解放する所以でない、

金を欲する惡人は日本共産黨に加盟せよ、正義を叫び解放を求むる者は共産黨を打て、

見よ、日本の無産階級運動を破壞しつつあるものは彼共産黨ではないか、

彼等の醜状を暴露して無産階級に警戒した吾等討閥運動を曾て笑ひし勞働運動者も農民運動者も水平運動者も學者も勞働者も皆今吾々の炯眼勇敢なるに感謝するものが多くなつた、

北原龍雄は進め社にある間、毎月百圓を共産黨より受取り田口運藏も同じく百圓をもらつてゐた、（調査の結果知る）

北原退社後田口入社せるも共産黨の指金に依るものなれば當時前掲の北原除名の理由を發表せんとせしに極力止めた、又田口は私等が討閥運動をやる事を頻りに止めて閥賊の横暴を憤慨せる私の文章を添削した、私は笑つてゐた、彼等田口輩に文章がわかるかと、今にしてこれを思へば共産黨の政策はうなずくを得、嗚呼時は總てを解決する、

彼等はかくの如くにして雜誌を乘取る、組合を乘取るのである、

彼等の運動は其傳統的政策、流言蜚語を放つて朋黨を分烈せしめてこれを乘取る、強硬なるものは金を以て買收し、後其の勢力を奪つて捨てる、純眞なる青年にして彼等に葬られし者數百人ある、嗚呼、日本共産黨と稱する閥賊は共産主義を冒瀆する憎むべき集團である、

昨年十一月、進め社が不穩なる事件を企て居ると今の刷新派の飯石が藤江を煽動して警察に密告して進め社の大檢擧を爲さしめたのである、

彼等は官憲の力を以て吾が社に壓迫を加へしめるのである、

又彼等は昨年三月北原　堺等は伊藤三郎を煽動して私を斬ら

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

しめた、
この事は伊藤が私に暴行した故締め上げた所、悲鳴をあげたから、堺利彦、藤田與二、神崎儀、金崎道明、藤岡諄吉等か共謀して仲裁に入り・私を抑へて、伊藤に切り付けさせたのであつた、そして堺は私をなだめ乍ら尾行の居る所に行かせ、再び手の出ない様にした、而して後堺は警察に伊藤が正當防禦なる如く聽取書を出して居る、

この時の田口運藏の言つた事なぞやはり堺と一脈相通ずるものであつた、

それだから吾社の青年は彼等に暴行を加へた、所、北原德田は全く關係なき私を殺人未遂として訴へしめ（藤田與二の證言に依る）

これは私を拘禁せば進め社が困るだらうと考へたからである又地方の支局に進めを讀むなど宣傳したことがある 廣告を出して居る商店に防害を爲し、或は印刷所にも防害を加へたこともある。

又横田忠夫は裁判所に出頭して進め社が脅迫して居ると誣告したのである、

それから堺や其他の者が某寄稿家に原稿の防害もしたが幸ひにも、共産黨の流言を聞かぬ眞面目な同志がゐたのでまだ日本に純眞なる社會運動は亡びないと思つて心強く思ふ、

かくの如くあらゆる防害と壓迫を加へたが進めは 愈 發行部數を增加したのである。

依りて彼等は近頃神戸市内に於て進めは反動主義であると云つて本屋に賣るなと云つて歩く等山川流の陰險な戰術である、

彼等は『進めに布施、山崎等の如きアイマイな人物と高畠の如き反動主義者が執筆するから反動雑誌である』と云つてゐる、

最近こんなことを神戸市で流言を飛ばすが前記二氏とも品性高き吾社の同人であり、高畠氏は日本唯一のマルクス學者である、決して反動主義者でない。

山川の乾分よ、君等は山川君が堺の賣文社に居た時内務省、遞信省や有田音松の仕事を手傳つた事を忘れるな、

日本の社會主義者の裏面は進め社に細大もらさずわかつて居る、發表すると社會運動の生命がなくなるものが多いから改悔を望んで沈默する。

以上べ述て此の稿を終る。

堺利彦の人格は昨年の討閥雑誌を參照せられよ、

以上は 悉 眞實にして一點の誤りもなきものだ、若し嘘と思ふものあらば來つて私の生命を斷て、

終りに私は日本共産黨を排斥痛罵するものであるが純眞なる社會主義運動の起らんことを希つて止まないものである。

尚私は共産黨の告訴でた殺人未遂事件で傷害罪として懲役二ケ月に處せられた、保證金を盜へた共産黨の手先を毆つたとて二ケ月は高いと思ふから控訴した。

「流言」を洗ふ

忍剣生

時間？それは問題を解決するに當つて最も公平なる法官である、と同時に又、問題を起し、流言を流布し、人を落し入れるが如き擧を敢て成すことに寧日無き個人或は、團體の罰を決定する上に於ても、最良否一無になる刑の執行官である

× × × ×

話は聊か古きに過ぎる嫌ひはあるが、強ち端たものでもなく、ことに問題が吾人に關する事で、所謂共産黨？から發したる、吾人への流彈であり、且その流彈なるものが彼等の最も得意とし、常套手段として用ゐらるゝ惡辣極はまりなきものであり、その流彈を未だ眞彈なるかの如く推考せられつゝある、諸氏も相當多數有るかに見受けられるが故、餘白を割いて一言して置くことも無駄なことではあるまい。

× × × ×

時は本年三月、問題は大庭氏事件を引下げて吾人等が雜誌『戰へ』を編輯中の出來事なり

× × × ×

吾人が大庭氏問題に就き、該事件の報導と共に、それに對する先輩諸氏の感想を得んとして送りたる往復ハガキ中、吾人を目するに社會運動が攪亂者乃至は反動主義者的コウフンを以て遇せし四五の返書中、山本宜治氏の返書は實に、吾人の眞面目なる運動を、最も不眞面目に、最も露骨に、然も皮肉に攻擊せるものなりき。

山本氏よりのハガキの大意は、『大庭氏の事件も問題ではあり得るが、大庭氏問題より先に、僕の不思議とする所は昨夏以來、間斷なく發行せらるゝ『トウパツ』なるもの、金の出所である。

この不景氣にソンな餘分の金があるなれば少し融通してもらひたい。次に大庭氏の件に就いては、僕の親友富永開次郎に聞けば公明の事だ』と云ふにあつた。

吾人は少くとも該問題を引下げて起つたことに眞險であり眞面目であつた。そして社會運動家のレキ／＼に多くの友を持ちつゝ、その友の死に對して死の眞相を追きうする者なき大庭氏の不幸さを心から氣の毒に思ふと同時に、日本の社會運動家と自稱する木ッパ共の不甲斐なさ友達振に心から愛想をつかしたのである

彼等は常に友を被告とする法廷で帽子を振り、ハンカチを振り演壇でモノスゴイ決議文を讀んで大向ふに拍手せしめる事だけになれてゐる。たゞそれだけの話しであるのだ。

× × × ×

山本氏のこの愚弄し切つた不面目なる書に對しては私は可成り強い憤りを感ずると同時に東京の歸途京都に下車して山本氏に如何なる理由からして斯の如く吾人を馬鹿にせなければ、ならぬかを詰問せねばならぬと決意したのであつた。

そして私は直ちに山本氏に手紙だけを出したのであつた。私しからの手紙の文意は先方が皮肉である故皮肉であつた。その大意は『相談に乘れるだけは必要であるならば金の相談にも乘るから一度大阪に下阪されよ、

金を借り樣とするなら、ソコとココとはいくらも離れてゐないのだから一度位は來ても罰は當らない。が無理に來るのがイヤならてちらから參上するから是非待たれたい』といふのであつたが、少くとも大學敎授でもした程の男に、一人でも喰ふ事に困つてゐる僕等に金の借せ樣道理がない。

又借す金でもうんと作つてがん造でもいいから持つ事の出來る程の身分になつて學者顔をして居る人間共に頸をパッタの樣にさせて見たい氣もするが山本氏と雖も僕等から金の一錢でも借り樣などと云ふヅブトイ量見からでなかつた事は、分り切つた事だ。

私が歸京の途に就かうとするや友人の大方は私の山本氏行きを止めた。ために遂々それは斷念してしまつたのであつた

× × × ×

それから半歲の今日、山本氏が如何なる理由から、あゝした手紙を僕等に與へたかを解する事が出來たのであつた。

當時堺氏一派が、吾人を落し入れんとして、放つた流言なるものは『討閥』事業の發行費は警視廳より出てゐるのだ』と云ふにあり、彼等は此の流言と共に盛んに暗中を活躍して相當の効果を收め得たてとは吾人は今にして彼等と最も密接なる關係に置かれつゝある三人の口より聞き得たのである。

彼等の活躍は常に暗中で然も最も惡辣に行はれるものなるを知る吾人も、こゝに及んでは謹んで彼等のこの狸の如き老練さと、狐の如き狡猾さの前に驚嘆せざるを得ぬものである。

然して彼等の十年無產階級運動に旗樹てて來し地位と名譽を信用し、驅出しの無經驗の吾等無名靑年の發行せし『戰へ』に向つてスパイと斷言せざるばかりの金の出所と惡罵を投乍ら堺氏の一切の金の出所を追窮する事を知らざる山本宜治氏の正直さに今苦笑しつゝあるものである。

× × × ×

然し堺氏を攻擊する吾人と雖も、現共產黨一派の人々と等しく、大逆事件以後の無產階級運動の霜枯れ季を勇敢に突破せし功を大杉氏に歸するも、よく日露戰爭當時より筆に口に常に無產階級の啓發の大事業に從事せられた壯年當時堺老の

勞を多謝する迄に於て斷じて吝かである者ではないのである。

が、それと等しく、或はそれより以上に、彼のザンパウに依つて無産者運動より去りし者の數も又實に驚くに堪へざる數に達するであらうと云はれつゝある。彼にスパイ視されし故運動を去りし物の中、小谷某は最も氣の毒な人であらう本年一月彼は岩佐作太郎氏に面會してその苦しさを泣いて訴へたとのことである。因に小谷氏は堺氏の先輩であつた。

小谷氏は學問に於て堺氏に及ばず、到底堺氏を向ふに廻して運動をやるべく資力もなく、勢力もなく、運動を引くより他なかつたのであつた。

× × × ×

學問は力なりと常に云ふ堺氏は又、コウカツは賣名的成功の手段であると云ふケイケン哲學の『把持者』の權化であるかに見られる人である。

彼に反對せられて男に成りし者に大杉氏があり、彼に反對せられてツムヂを曲げて學者になりし者に高畠素之氏があるのみである。彼に反對せられて亡命せしものに片山潜氏あり逃避せしものに西川光二郎氏あるは周知の事實である。

就中組合運動を分裂に導くに巧妙なる點に於て、また反對黨幹部を運動外に放擲す迄に於て、巧妙なることは到底他の追從を許さゞるものである。

然して大杉氏の言ひ分を借りて云へばゴマのハイである。

× × × ×

最後に斷つて居かねばならぬ事は僕等の運動資金を聞く資格有るの社會運動者は、自らの運動資金の出所を明かに公表し、所謂日本共產黨一派の個人〳〵の生活費の出所を明かにし然る後吾人の生活費及び『雜誌』の資金の出所を問ふべきである『あらためて他人をスパイ視せねばならぬ人間共の、スパイならざる確固たる證明を吾人の眼前にかかぐることを要求する』と同時に共產黨一派の云ふが如く。

僕等と警視廳の關係は、堺氏の大逆事件以後に於ける。當時の宮內次官鶴原定吉と堺氏との關係の如く、月々書かざる原稿に對して支拂はるゝ莫大な原稿料と堺氏の關係の如く、金錢的關係ではなく主義者と警視廳の關係言ひかへれば、ハウリコム者とハウリ込まれる者との關係以外の關係はなく。若しこれより以上關係――カネ――の關係のりとすれば鐵拳と頭の關係以外に何等の關係なきことを改めて一言しておく。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

日本の全プロレタリアに訴ふ

高林貫三郎

先月の「進め」は、實に最近にまたと見られない程の、よい出來榮えであつた表紙はよしそれに内容として曰く『閥を破れ』曰く『文化的秘密結社』曰く『社會主義王を屠れ』がそれで、きつと此問題の討究、考察、解決に依つて、此後の日本の運動が一大轉機をもたらす事と信ずる。

我等が常に、社會の傳説や習慣と戰つて、前進して來たにも拘はらず、何故か唯先輩であるとの理由でまた、唯長老であるとの故を以て、堺利彦を無條件ですべてを是認して來たのだらうか。

彼の門をくゞらざるの故を以て、彼に諒解をもとめざるの故を以て、如何に多くの同志が彼等から惡罵と忍從との洗禮を強要されたであらう。

實に彼は社會主義團体の暴君であつた然も日本の運動がこれから益々深化して行くと共に一方では支配階級の魔の手が急なのだ。此現實の實際問題に直面して我等はまづ味方の戰列を十分に整ひなければ駄目だ。唯先輩だといふ故を以て、我等に君臨して來たといふ事は、やがて近い將來にますます味方の戰線を混亂に陥れ、階級戰といふ美名にかくれて、彼等の利腹を肥すことになるのだ。そればかりでなく、多くの同志が無駄な犧牲を支拂はされるのではないか。

これを想ふ時、我等は、我等の先輩が殘して呉れた血の教訓――所謂△△事件それにまだ新しい記憶として、まざまざと浮んで來る一九二三年の同志の殘虐、虐殺の數々、これらの一つでもほんとうに堺君が、命がけに讀めて見るがよい。

彼の三十年の苦鬪には心から感謝する然し彼は一体運動にどれだけの功績をしてくれたかそれは實に疑問中の疑問に屬すべき問題だ。何故なら彼は唯十萬？近くの資本家になり、電話附の家に住み、原稿料何圓？といふ賣文業の成功者とみる以外に何物もないからだ。そしてマルクス學をプロレタリヤに說きながら、彼は全くマルクスの言の通り實行者となりすましてゐるではないか？『ブルジョア心理の持主』として、常に同志に對して冷酷ではないか。だから彼の爲めに命を的として働くものがないのもハッキリ其の消息を物語るものである。

我等が最も注意深く堺君にきかんと欲する所のものは、最近一九二三年に於ける、所謂自稱日本共産黨事件である。『組織的に計畫して、組織的に檢擧され組織的に自白した』と評されて居るが、實に簡にして要を得たものといふべきだ我等が少年時代によく『戰爭悪戲』とや

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

つたが、恰度それの樣に、五十六才の堺君を御大として、先輩後輩の二十餘名が『革命惡戯』をやりだしたのだ。まづ其の責任を所謂日本共産黨執行委員長堺利彦君に問ふ者である。

　我等は、眞にプロレタリヤの歴史的使命を熱愛するが爲めに將に來らんとする若い同志の爲めに、葬り去るべき者は何んの未練も躊躇もなく、徹底的に處斷すべきである。斯うした事が、運動其のものとしても、そうしてもなさなければ駄目だ。

　我等は記憶して居る。彼の米國共産黨内に於ける、スパイ、ツカーの如き、或はあとで銃殺された一九一二年の獨逸に於けるスパイ、マリノフスキーがボルシエヰキーの中央委員に入り込んだ事や、それにまたロシアに於けるロッヂヤンコの如き、常に我等が記憶を新たにして、運動が深化するにつれて、益々注意深く一歩一歩進むべきだ。

　我等はかつて日本に於て、一九二一年勞働運動のスカップ古賀進外四名を屠り去つたが、今や日本に於ける全プロレタリヤのスカップとして、堺君を勇敢に抹殺すべき秋が來た事を確信する者だ。實に居る事のあまりにおそかりしを恨みとする。

『カウツキー』といふ日本辭が『堺利彦』と辭書にあらはれるのも近い將來だらう。

　我等は此處に於て、しみ〴〵と考へさせられる。卽ち日本の運動が今まで眞劍でなかつたのもらうか？命がけの運動であるにも拘らず、いまはしい多くの問題があまりに不問に附せられて來た事は今更らながら驚かされるワケだ。

曰く河上淸、曰く吉原某、曰くなは現在運動の前衞として出沒する某、そして一九二三年に於ける堺君の如き、數ふれは詰問すべき多くの人々と、詰問すべき多くの事件とがある。」

それにまた運動を常に不純にする者には、ブルジョア息子の氣まぐれからして運動に參加して來る奴だ。彼等は順調の時はまづ無難だが、いざ逆境に立つた場合には、きつと運動を裏切るか、さもなければ逃避するからいけないのだ。ほんとうに眞劍味がないから駄目だ。

『働かざるものは食ふべからず』といふモットを標ひして進軍してゐるにも拘らず、彼等氣まぐれ息子共は、親父のスネをかぢつて、東へ飛んだり西へ飛んだりして、常に指導者面をしてゐる。いふはい、の此の奴共の財布には、間接に勞働者から搾取したものが這入つてゐるではないか。そしてまた温泉へ行つたり別莊へ行つたりして、たまたま都會地を訪問しては、運動の指導者をきめ込んで居るプロレタリアこそよい面の皮だ。

　斯うしたわかりきつた事を許容してゐるといふ事は、日本の全プロレタリヤに大きな責任があるのだ。だから、これから絕對に、運動へ參加する者の唯一の資

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

格は、まづ自分で働いて、自分の生活を支持してゐるといふ事を必要條件としたいものだ。そろ／＼ブルの氣まぐれ息子の掃除に取りかゝらうではないか。

なほもう一つ書く事がある。それは以前に生活手段がどうしても不鮮明な爲めに、スパイの稱號を捧げられた奴が、其濡れ衣を脫ぎかへる方便として、三ケ月か六ケ月監獄生活をして出て來て、もう俺はスパイぢやないといつた風に、どし／＼飛び廻つてゐる奴が可成りある。斯うした奴（ほんとうにスパイであるならば）は前者の氣まぐれ息子共よりももつと危險性がある。何故ならば彼は監獄に這入つたといふ理由で、以前よりももつとプロレタリヤに假面して行く事が出來るからだ。そして斯うした奴に限つて、生活手段が益々不鮮明であるから監視が必要である。

我等は最後に、ロシアの革命史を顧みて結論に急がう。

即ちロシアに於ける一九〇七年から一九一〇年迄の、かの狂暴な專制政治が勝利を占めて、あらゆる革命團体を無氣力と分裂と解散と變節とに導いたにも拘らず、獨りボリシエヰキーが、よく支配階級と戰ひ益々大規模の運動にとりかゝる準備をなし得たのは、實に彼等が、「唯口先きだけの革命家等を酷烈に摘發し、放棄した事に依る」のであると、我等の最も尊敬すべきは先輩レーニン氏が、ハッキリいつてゐるではないか？

同じ血をわけた日本の同志諸君！これをほんとうに味はつて、祖國の△△の爲めに勇敢に前進しようではないか？

進め！日本の同志！進め！

日本共産黨は解放運動を阻害する

佐藤光敏

一

日本勞働總同盟分裂の黑幕として、陰に陽に彼等獨特の辣腕を揮ひつゝある自稱日本共産黨は今や又、捲土重來？のスゴ腕と、魔力を發揮せんとしつゝある。

彼等の運動は常に陰に向つて進んで行く。而して其の運動たるや、吾等の常に窺知し得ざるが如き事態を屢々惹起するのである。かるが故に彼等の運動を指して陰險なりと斷ずるのではないが、其の行動の極めて惡辣險譎のやり方を見る時吾等をして呆然自失たらしめるのである然して、今又、最近、彼等の罪惡史を剔決すれば凡そザット左の如きものがあるのである。

二

その例

最近、政治運動の聲に促されて無産政黨樹立の前提として生れた政治研究會は茲に今を去る五月に於て一週年を迎へた

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

僅か一年間に於てあれだけの勢力を植付けたるは民衆の政治的覺醒に據るとは云へ彼等の努力も又一層偉大なものであつたに違ひない。而して其創立者は大山郁夫、島中雄三、佐野袈裟美、安部磯雄、布施辰治氏等であつた、是等の人々が熱心に築き上げて造り、漸くにして今日を成すに至つたのである。

然るに、圖らんや、此の間に血肉を絞つて築き上たる政治研究會に於て又もや例の總同盟の二の舞事件を惹起せんとしつゝある。それは、昨今、大阪の政治研究會の演説會に於て、大阪地方評議會の連中が散々、政治研究會の中央幹部を彌次り倒した事である。而して大阪地方評議會の委員會によつて、中央委員の追出し策を決議し、又々、總同盟事件の第二の巻を開かんとしつゝあるのである。

又、是れに依つて思ひ出したるは、布施氏の宅で、政治研究會の委員會を開催したる際外部より壯士を賴んで政研員を毆らした惡漢がある。その使嗾者は誰あらう、日本共産黨員高津正道であつた。

三

斯くの如く日本共産黨の奴輩のやる事は陰謀と排斥である。私閥勢力を總ゆる勞働・思想農民團體等に扶植せんとして益々彼等の魔手を逞しうせんとしてゐる曩日の總同盟分裂事件の際には總同盟乘取代として五萬圓を某閥からフン奪つての仕事である。而して、多くの有爲の人材をば總て金で以て其の魂までを腐敗せしめて了つたのである。寔に政府をもやりかねまじき行爲を白中公々然として行ふに於ては心ある運動者の等しく眉を顰むる所である。

然して、彼等の黑手が勞働總同盟、政治研究會にだけ止められて居ると思ふならば、飛んでもない大間違ひを起す原因である。堅壘を持つて鳴る日本農民組合に於ても、彼等の金と奸策とに據りて又もや、總同盟第三の巻を映寫せんとしつゝあるのである。

實に彼等の罪惡史は盡くるを知らざる有樣である。日本農民組合より漸次、水平社にまで及ぼさんとしてゐる。否、水平社の幹部級の上には其の黑雲は最早完全に近いまで蔽ひかぶさつてゐるかも知れない。何れにしても兩方共に一事何か持上りさうな形勢下にある。彼等のプログラムはまたぐ是れ位で終りさうにない。

四

漸くにして、政治研究會等によりて、無産政黨が樹立せんとしてゐる際に彼等日本共産黨の一乘取り一とカキ混しによつて政治研究會をばブツ潰して了はんとする。否、新興無産階級をば代表する所の無産政黨をば叩き潰さんと企んでゐるのである。

又、日本勞働總同盟に於ては此度、無産政黨を樹立するに際して何時單獨に行動したかを考ふれば、思ひ半に過ぎるで

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

あらう。同志仲間内に於て陰謀を企み、人身排斥に日も是足らねと云つた人達とは如何にして仕事及び生死を共に爲し得るか。是てに思ひ至らば總同盟が單獨、無產政黨を樹立せんと爲したるを強ち非難も出來ないのである。

更に亦、彼の共產黨背景の日本勞働組合評議會の頭目を持つて任ずる山川均氏は始め政治運動否定の急先鋒であつた。然るに何ぞや現在では自說を雖として、政治運動の最要を叫び、無產政黨樹立に專念しつゝある。否無產政黨樹立よりも寧ろ其の膳立の出來上つたのを『濡手で粟の摑み取り』計畫であると云つた方が適切であらう。

彼等の持論なるものは所謂、野師の如き若しくは吾が大日本帝國の政治家の如きものであつて、朝變暮政、日和を見るに吸々とし、極めて御都合主義の徹底せるものであつて、何等終始一貫したる底の大自說なるものがないのである。

故に、機に希んで周章狼狽し、日々、勞働組合『乘取り』と總ゆる無產階級運動團體に對して『混ぜ返し』等、何等無產階級運動の進展に關係なす所に發展し寧ろ、無產階級本來の使命をば忘却し、阻害せんとする魔道に踏込まんとしつゝある憐れむべき境地に墜ちいつてゐるのである。

吾等は彼等が何時までも斯くの如き運動を持つて所謂、潜行運動であるとし、それが最善の無產階級解放運動であると思惟しつゝあるならば斷乎たる決心を持つて彼等に宣戰を布告しなければならぬ。何故ならば、そは一切の無產階級解放運動を防害し、切崩し、全滅せしむる恐るべき結果を招來するからである。『恐るゝ者は敵よりも味方にあり』とは戰爭の秘訣である。吾等は[illegible]たる[illegible]治下に今や最善最大の努力を以て漸く血路を開かんと爲しつゝある際、かくの如き悠暢にして、呑氣千萬なる仲間喧嘩を繰返してゐるならば、無產階級解放の現想社會は愚、彼等の憧るゝ勞農露西亞の社會主義社會をも實現し得られざるは想像に難くない所である。

總ての無產階級諸君に告ぐ。眞の無產階級解放運動とはかくの如き所以のものであらうか、否、吾等の信ずる無產階級解放運動とは吾等の運動を防害遲延せしむる彼の私閥、日本共產黨を全滅せしめてこそ、始めて吾等の眞の解放運動に入る事が出來るのであると。吾等の兄弟達に叫ぶ、日本共產黨を吾日本社會運動より放逐せしめよ！

炎天街路

直平

ギリギリ　ギリギリ
エレベーターが高く燃ゐてゐる
電氣、鐵の狂へる怒り
膨れ上つた
アスファリトのうねりを
尼を捲つて斜に馳けれ
水撒　タンク
交通巡査につきあたれ…

ゴマのハイの由來

僕は再び上海との聯絡を謀るためと約束の金を貰ふためとに、近藤榮藏を使にやつた。が、其の留守中に、近藤榮藏や高津正道が堺、山川と通じて、窃かに無政府主義者の排斥を謀つてゐるらしい事が、大ぶ感づかれて來た。若しそうなら僕は上海の方の事は一切共産黨に讓つて又事實上、榮藏もそういふ風にして來るだらうと思つたが、そして新聞も止して僕等無政府主義者だけで別に又仕事を始めやうと思つた。

すると、上海からの歸り途で近藤榮藏が捕つた。新聞は之を機會にして止した。

榮藏は一ケ月餘り監獄にゐて、出て來ると山川とだけ會つて、其の妻子のゐる神戸へ行つた。そして僕は山川から榮藏の傳言だといふのを聞いた。それによると、Tはちようど上海にゐないで、朝鮮人の方から榮藏がロシヤへ旅費として二千圓と僕への病氣見舞金二百圓を貰つて來たといふことだつた。しかしそれは、僕等がほかの方面から聞いた話し、尤も充分に確實なものではなかつたが、とは大ぶ違つてゐた。が、そんな事はもうどうでもいい。それで彼等と緣切りとなりさへすればいいのだと思つた。

上海の委員會は、Tが大して氣乘りしてゐなかつたせいだらう、僕が歸つたあとで何の仕事もしないで立消えになつてしまつたらしい。そして榮藏が警視廳で告白したところによると、朝鮮の某（そんな名の人間はゐない）から六千圓餘り貰つて來た事になつてゐる。が、今ここに上海行きのこれだけの話が出來るのは、共産黨の先生等が捕つて、警察や裁判所でベラ〳〵と仲間の秘密をしやべつてしまつた。其のお蔭だ。それだけはここでお禮を云つて置く。（大杉全集、四〇〇—四〇一）

山川の筆法は敵を作る

山川均の議論は鋭利であるが、敵を作る。若宮にしろ、井箆にしろ、初め社會主義者であつたが、山川の人身攻擊に怒り、敵となつた。山川は巨く結論に人身攻擊をなしてゐる。頗る巧みに、頗る皮肉に。若宮の天無口の駁論なんか、實にうまいが、終に「天無口、人をして言はしむ、君の生活は某大家から出るのだ。」と云ふ罵り方、擱筆してゐる。それては余りに極端である。追て社會主義者とはなれて、そして敵視する樣になつたのだ。若宮など今盛に社會主義攻擊をしてゐるのは此の感情からきたのだ。今の青年よ、山川君も曾ては若宮の文章には憧れて居たのだ。

山川は肺病も作る

山川君夫妻は肺病である事は夙に世に知られた事であるが、山川を崇拜する靑年は山川に近づき、飲食を共にするためか、皆肺病となつて了ふ。そしてこの肺病になるのを誇りとしてゐる。まだ肺病にならぬ前から咳をしたり「肺は頭がいゝ」と云つて步き廻る。これ等靑年の無智にはあきれかへらざるを得ない。山川夫妻もこの肺病になるのを見て喜んでゐるらしい。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

日本國民ニ告グ」

中世紀ニ萌芽シタ近世資本主義ノ發達ハ、ヤガテ列國ノ猛烈ナ殖民地爭奪戰ヲ現出シ、悲慘ナ戰爭ト征服掠奪、暴虐ナ壓制ト搾取コレ等非人道的ナ現象ハ世ノ中ノ常事トシテ繰返ヘサレタ。ソシテ其結果世界ノ所謂殖民地ニ對スル列國ノ支配關係ハソレ〲列國ノ強弱ニ應ジテ決定サレテシマツタ。唯一ツ我國ヲ殘シタノミデ………。

カクテ列國ハ其ノ侵略的勢力ヲ我國ニ集中シタ。

門戶開放ダノ、機會均等ダノ、內政不干涉ダノ、領土保全ダノ、勢力範圍ダノ、種種支那ニ關スル專門的名詞ガソレカラソレヘト出來テ來タシ、又出來ントシテ居ル。然シコレ等ハ決シテ我國ニ對スル列國ノ好意ヲ表示シタ名詞デハ無イ。單ニ殘サレタ「支那」テフ美事ナ食ベ物ヲ出來ル丈ケ永ク樂シマンガ爲メ競爭者同士ガ相互ヲ掣肘シ合フ心裏ノ表象ニ過ギナイ。

勢力ヲ對支競爭ニ集中シタ列國ノ吾人ニ對スル態度ハ「支那及ビ支那人ハ動カヌモノ叫バヌモノ」ヲ原則トシ、少シデモ動イタリ叫ンダリスルト忽チ袋叩キニシタ。

堪エ切レナクナツテ動イタリ叫ンダリスル每ニ、支那ハ常ニ謝罪シ、愛國者ヲ刑シ、ソノ上金ヲ奪ハレ、土地ヲトラレタ。ソノ一番酷イ例ハ團匪事件デアツテ四萬ノ兄弟ハ今尙當時ノ執念深イ刑ニ苦シンデ居ルガ然シ吾人ハ此原則違反ニ對スル刑ニ決シテ畏縮スルモノデナイ、袋叩キヲ覺悟デ動キモスレバ叫ビモスル。今回ノ上海事件ハ立派ニ之レヲ證明シタ筈デアル。一般上海事件トハ何ンダ？

吾人ハ單ニ以下ノ數句デ之レヲ證明スルコトガ出來ル

「面倒ナ文明法規ノ制度ヲ受クルコトナク、低廉ナ勞銀デ無遠慮ニ搾取シ得ルトコロカラ、ワザ〲失業者ノ有リ餘ル本國ノ工場ヲ我國ニ移シタ日本資本家ノ酷使苛待ニ對シ、勞働者ハ憤然トシテ起ツタ。

資本家ハ直チニ原則違反ノ刑ヲ課シタ。

新シイ支那ヲ代表スル青年ガ奮起シタ。

資本家ト其本國政府ノ代表達チハ遂ニ袋叩キヲ開始シタ。」

即チサレタ唯一ノ喰ヒ物トシテ支那及支那人ニ歷史的ニ加ヘラレタ列國ノ帝國主義的壓迫ニ對スル新シイ支那人ノ動キト叫ビ……ソシテ之レニ酬ユルニ無慘ナ袋叩キヲ以テシタ共同租界英國官憲ノ横暴。之レガ所謂ル上海事件ナノデアル。

全國的ナ吾人ノ訴ニ俟ツマデモナク親愛ナル世界ノ兄弟達チニハ既ニ公平ナル判決ヲ得テ居ルト信ズルガ故ニ吾人ハ今更ラクダ〲ト該事件ニ就イテ之レガ是非曲直ヲ論ズル蛇足ノ勞ハ試ミナイ。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

吾人ハ既ニ傾ケル大廈ヲ一柱支ヘニ支ヘツヽアル帝國主義ノ共同壓迫ニ對シ何等ノ脅威ヲモ感ジナイ。吾人ハ吾人ノ勝利ヲ確信シテ居ル。蓋シ正道ノ力ニ據ル吾人ハ、吾人自ラノ動キト叫ビニ絕對的威力ヲ認ムルト共ニ、科學的ニ證明サレタ合理的人間生活ノ實現ニ努力シツヽアル全世界ノぷろれたりあ大衆ニ隔テナイ吾人ノ兄弟ヲ有シ、且ツソレ等兄弟達チガ如何ナル刑ヲ以テスルモ吾人ノ動キト叫ビヲ制シ得ルモノニ非ラザルコト、即チ如何ナル壓迫ヲ以テスルモ四萬ノ兄弟ノ唯一人ノ精神ヲモ支配スルコトハ出來ヌコトヲ熟知シ、進ンデ吾人ノ立場ニ心カラノ同情ト積極的援助ヲ致サントスルモノナルヲ信ズルカラデアル。

今回ノ事件ニ對シ日本人中ニハ「租界内ノ虐殺事件ハ英國官憲ノ責任デアツテ日本ニハ關係ガナイ。支那人ガソレヲ混同シテ居ルノハ故意カ否カハ兎モ角、迷惑ナ話ダ」ト云ッテ居ル向ガ多イ樣ダガ、吾人ハ別ニ事實ソノモノヲ故フニ混同シモシナケレバ亦スル必要モナイ。

成ル程租界ノ管權ハ英國ニアル。從ツテ虐殺事件ノ責任者ハ英國官憲トスルモ、問題ノ起リガ日本資本家ノ橫暴ニアル以上、日本トシテ英國ト共ニ吾人ノ矢面ニ身ヲ避ケルコトハ出來ナイ。

然シ孰レニシテモ吾人今日ノ人キナリ叫ビハ單ニ上海事件ソノモノニ對スル局部的解決ヲ要求シテ居ルノデハナイ。吾人ハ一再ナラズ斯カル非人道的事件ノ發生ヲ醞釀セシメタ根本ニ突キ入ッテ之レヲ解決セルトスルモノデアル。即チ吾人ノ運動ハ決シテ傳ヘラルル如キ偏狹ナ排日トカ、排英トカ排外トカヲ意味スルモノデナク、永年ノ帝國主義壓迫カラ自己ヲ解放シ平等ノ立場ニ於テ世界人類ノ幸福ヲ樂シマントスル運動ニ他ナラヌノデアル。

從ツテ吾人ハ如何ナル犧牲ヲ拂フテモ內ニ外ニ此ノ非人道的ナ壓迫ト支配ニ對スル戰鬪ヲ續ケテ行ク。

ト同時ニ吾人ハ吾人ノ目的達成ガ世界平和ノ基礎トナルベキモノナルヲ信ズルガ故ニ全世界ノ兄弟達チ……殊ニ地理的ニモ經濟的ニモ吾人ト特種ノ關係ニアル隣邦日本ノ諸君ガ吾人ノ前述立場ト要求トヲ理解シ同情シ、世界ノ平和ニ奮鬪スル共同戰線上ノ一分野トシテ、獨リ上海並ビニ之レニ關聯シタ漢口、廣東各地ノ事件ニ對スル公平ナ解決ニ就イテノミナラズ、列國ノ帝國主義的壓迫ノ表象タル一切ノ不平等條約ノ撤廢ニ就イテアラユル援助ト協同ノ勞ヲ惜マレザランコトヲ熱望シテ已マヌノデアル。

中華民國十四年七月十八日

民治主義同志會

民生週刊社

（北京大學第一院構內）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

閥賊風聞記

堺君の落胤　明治三十七年週刊平民新聞時代に、松岡荒村が死んでまだ四十九日を向へぬのに未亡人松岡ふみ子女史は堺君の例の魔の手に引掛り、謎六の種を宿した。そこへ今の爲子夫人がやつて來た。色男またこの女に想はれて、これ共關係がついた、めふみ子女史がその當時一番醜男の西川光二郎と一緒になつてしまつた。今の西川氏の長男は實は堺君の子である噂と思ふなら行つて見まへ、西川に似ず、謎六にソツクりだ。堺君には明治三十三年頃大阪で英語教師をしてゐた時に裁縫の教師と乳くり合つた事もあつたこの子は今年あたり同志社大學を出たらしい。これを知つてゐるものは岩崎、高畠、遠藤、福田と僕位のものだらう。色男、落しダ子まだ他にあらうと目下調査中。

女郎屋の三傑　社會主義者で女郎屋出身の三大家がある。死んだ山口孤劍君、荒畑寒村君閻王の王子高瀬淸君である　明治三十四五年頃から山口孤劍君は火の如き勢ひをもつて、社會主義運動に從事した當時は何をも燒きつくさんの勢ひであつた山口君は下關の備前田町の女郎屋の息子であつた。彼の親は少女を虐めて惡錢を積んだが、子供の時代に至り、孤劍の兄が消費つてしまつた。山口君は明治四十年頃まで熱心に運動を續けてゐたが、桂內閣が杉山ホヲ丸を通じて社會主義者買收を試みた時、島中雄三、白柳秀湖、山口孤劍がこれに走せ參じた。杉山は社會主義者を惰落せしめるのは女である。盛んに內閣から金を取り出して新橋や新富町あたりで遊ばせたものだ。その時の新聞に白柳秀湖の敵方で、社會主義藝者といふのが書かれたことがあつた。山口孤劍君それ以來すつかり熱が冷めてしまひ梅毒で失明し、死んでしまつた。それは女郎のタヽリだと云はれてゐる。

荒畑勝三君は橫濱の女郎屋の息子である。親の稼業が氣に入らず、家を出て、社會主義者の群に入り、この人も山口君同樣に最初は熱があつたがまた女郎買ひ初めた。洲崎の女郎を妻君にしたが、尙、それに飽きたらず、岩出金次郎と云ふ古今無類の放蕩兒とクツワを並べて遊廓へと前進し、それが昂じて一ケ月に十日位は女郎屋に泊るといふ。お里は爭はれぬものだ。

高瀬淸は飛驒の高山の女郎屋の息子だ　この男は割合に品行も方正らしく、今王子となつて得意らしい。

バクチがうまい　勞働評議會の中央執行委員長野田律太君はバクチにかけては中々凄い腕を持つてゐるさうだ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

紳道君とバクチを打つて皆勝つたと云ふ話た。

菊榮氏の命拾ひ 山川菊榮女史が大杉榮君と御交際はあつた事は當時の賣文社員連中は皆知つてゐる事だが、大杉が間もなく絶交して了つたから震災でアマかされずに誤靜大家の令夫人となられた。

山川ブウデン 小泉信三氏曰く〝ミニーアーデン〟と。

堺君と星一 とは大分仲がいゝ、賣藥王星社長の飼犬だと云ふ事は天下公知の事實である

堺君と堤清六 その御懇意の事も誰も知つてゐる事だが、近頃利權の事で時々御面會のやうだ、堤君は日本一の漁業王日露漁業株式會社長兼日露實業株式會社長である。

ゴマのハイ盜難にかゝる 今年第三インターナショナルから日本の閥に送られた數萬圓の金は日露相扶會の内藤某に托されたところ、内藤はそれを費込んでしまつた。閥賊もこれには大きな聲で言はれず、弱つてゐるらしい。高瀬が怒鳴り込んだと云ふ事だが堺君は内藤に大分世話になつた事があるから文句は言へない。

色男ばかり ゴマのハイのハイは大抵色男だ。ゴマのハイの鍋山某が岩手金次郎の妻を奪ひ、三田村某が原澤の家内を横取つた事は大抵の者が知つてゐる。德田某がパイドクで慶應大學病院に入院した事も知つてゐる人は知つてゐる。僕もハイのハイにならうかなア……

進めブツ潰し策 いくら社會主義でも正義には勝てない。福田狂二には閉口してゐる由。筆と腕で戰ふ正直な、勇敢な福田には勝てない。福田には共鳴者が増々殖へて行く。眞向から討閥と叫び正々堂々の陣を張つてゴマのハイ征伐をしてゐる。閥もこれには弱つて對抗策を講じた。會議に福田買收説を呈した者がある。ところが王の曰く『福田はとても手馴づける事は出來ない。金で動かぬ男だから『進め』に原稿封鎖をして雜誌が出來ない樣にするに限る』と、又或る者曰く『山崎と福田をうまくゴマ化してロシアにやつて大庭の如く殺して了へ』と。一座は皆大賛成をしたと云ふ。

大杉に叩かる事二回 堺君が金の事から大杉にたゝかれた、朝鮮チヤポの醜市の二階で、又宮島資夫にも火鉢をぶつかぶされようとしたが他の人に助けられた。

福田德三と堺枯川君 は大正十年頃面家と云ふ大とろ閣の番頭と新宿に年甲斐もなく女郎買に行き、女の取合から摑み合の喧嘩をした、此事は二三日たつて新聞に出た、あの年であゝ云ふ風だから上の爲すこと下これにならふで、キャン村や球一がセッセと廓通ひするのも無理はあるまい。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

新刊紹介

■マルクス經濟學入門（石川準十郎著）マルクスの經濟學說に關する書は日本に於いても七八冊はある。何れも譯書である。高畠氏の資本論解說等有名なものであるが其の他、山川氏のマルクス經濟學資本論大綱、水谷氏の通俗資本論等多々あるけれども、何れも難解や不備なものが多く、讀者は滿足を與へてはゐなかつたらしいしかし、石川氏の此の著は之等一等地を拔いだ良書で、著者自らカウツキーの譯書とは云つてはゐるけれども、實は全々氏の獨研究とも言ふべく、此の著の出ずるまでの石川氏の苦心は一方ならぬものであつた。マルクスの理論を知らんとする者此の新しきマルクス學徒の手になれる本書に先づつかれたい。必ずや讀者の期待は報ひられるであらう（定價壹圓二十錢東京牛込區矢來町三番地新潮社發行）

■現代日本の政治過程（大山郁夫著）社會思想が理想的傾向より現實的傾に進みつゝあるは各國を通じて看取される現象である。我國でも普選の叫び以來大衆政治運動がまざ／＼と眼にうつる現代日本政治過程が集團現象を通じて新しき展開を見せやうとしてゐるが、著者は本書によつて其の傾向を批判し指導してゐる。なほ補論として收める「多元的國家觀の法論」は價値あるものと推奬したい（價二圓五十錢芝アタゴ下町一の改造社）

■思想と鬪爭（森戸辰男著）著者が最近數ヶ年改造、我等、日本詩人等に發表せる論集で、その流×な文章は再讀の價値がある。收錄せるは「震災と主義者と反動勢力」「國粹主義者と政治的殺人」「思想と鬪爭」等第七篇（價二圓芝區アタゴ下町一の一改造社）

■社會進化思想講話（高畠素之著）近代一切の思想の樞軸が進化論に置かれて居るのは勿論で本書は社會方面に應用された進化思想を頗る詳述したものである。（四六判紙裝二六四頁一圓九十錢麹町區幸町一ノ五アテナ書院）

■産兒制限の理論と實際（安部磯雄馬島僴共著）社會問題の根本解決は人口問題にあると云ふ立場から、安部氏が産兒制限の實際研究者として知られた馬島氏と共に、眞摯に說いたもので何人にも反對の餘地を見出し得ないであらう。（四六判一六六頁一圓小石川區小日向臺町二の一九文化學會出版部）

■女性の創造（室伏高信著）時代の女を通じて永遠の女性を見そして愛の具體としての女性を見る著者はそこに神的自然を見その中に巳を呼び戻して人間の誠の故鄕への道を見やうとしたものである（四六判布裝二五五頁一圓六十錢大森不入斗批評社）

■倫理學（クロポトキン著内山賢吉譯）クロポトキンは抽象的神秘的な「道德」に對する一切の考へ方に反抗して道德の基礎を社會生活と云ふ生々しい事實に求めやうとしてゐる。しかも彼の八十年間の生がいによつて得た所の科學的社會的考察は本書において融和されてあらはるべきであつた。不幸にして稿中にして仆れたけれども「無政府主義の道德相互扶助論」等に於て見る彼の思想は一層完全な形に於て本書にあらはれて居る、時を同じうしてそら邦譯が二つもあらはれたのは吾が學界のために喜ぶべきことである。兩者とも最近出された英書を藍本としたものであつて一々これを比較檢討すれば面白いだろうが、今は其の時で無いので殘念である。譯筆は共に達者である（價二圓八十錢小石川區表町一〇九アルス書店）

■社會問題研究（小泉信三著）第一編「マルキシズムと國家」第二編「フェルヂナンド、ラッサール」第三編「ギルド社會主義」第四編「革命主義と社會政策」の四編に分つ著者はマルクス國家論に對し否定的に論斷されたが論旨の要點は忠實に紹介す第二編第三編は大正九年に出版された「社會問題」の改訂である、第四編には資本主義の行詰りに對して新生命を開く可く論斷し且震災の時事問題を加味して社會政策に對する理論的研究を發表してある（定價金三圓五十錢神田區南神保町十六岩波書院）

■社會學と政治理論（新明正道譯）バーネス氏の原著を譯したものである。政治學と社會學との交涉を明らかにしようとする努力から政治學と社會學說との主要問題及び代表的な典型とを收集してある。別に獨創的な意見は無く忠實に近代政治學、社會學の諸學說を紹介する点においてよく日本の諸學者のやる態度をそのまゝに眞似てゐる。集られた材料の豐富な点に於いてまた。それが比較的忠實に紹介されてゐる点において初學者には參考となる点が少くなかろう（價二圓八十錢牛込横寺町四三聚英閣）

■鄕士制限の研究（小野武夫）本書は德川時代における鄕士制度の本質を明にしこの制度が明治維新と共に廢滅に歸したる諸事情及びその後の鄕士生活の一班を

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

叙して現代社會に及ぼせる影響如何を主として研究したるものであるが、更に郷士制度の前身たる兵農一途及び其の分離の沿革をも概観した郷士制度を中心とせる、本邦農村社會史及び經濟史と見るべきものである。十數年間收集したる豊富なる資料を以て、既往數百年に亘る封建社會の中心思想農村文化の上に大なる貢獻をなしたるこの郷士制度を系統的に研究した著者の勞は之を多とすべく、從此の方面の研究が等閑に附せられてほとんど見るべきもののなかつたのに此の好著を得て我が學界は大に裨益する所あるであろうと思はれる(菊判洋裝二一六頁金二圓五十錢府下大岡山高工前大岡山書店)

■社會哲學原理 (土田杏村著)社會哲學は社會理想の科學である社會は單なる人類的存在ではない其はすべての物理存在が理想によつて構成又は規成せらるべきである以上に理想的なる成立である社會は人間の理想的努力の關係だ社會理想の實現とは即ち社會改造の謂だ理想は直ちに實踐を豫定すると著者は述べてゐる蓋しこの「原論」は著者多年の討究の貴い新收穫であり最も會心な立脚地であらねばならぬ苟今社會學並に哲學に興味をもつ誰でもが是非一讀を要する名著と云へる(四圓六十錢京都四洞院内外出版株式會社)

■支那勞働者及勞働運動 (長野朗著)低廉なる賃銀と能率の大なる点に於て支那勞働者は世界勞働者の一大脅威となつてゐる從つて支那勞働界の現狀を知る事は歐米のそれを知るよりも遙に重要である本書は北京天津を中心として主なる工場と鑛山農業勞働の狀態苦力の勞働等に就いての實査的材料と日本產業に關係する事項と勞働運動に亘つて其の現狀を精密に叙述せるもの(菊判布裝四〇四頁五圓北京東城羊肉胡同燕塵社)

■農民運動の現在及將來 (小野武夫著)現下我邦での大問題たる農民運動は將來いかなる點において歸着すべきかを過去の我農民の社會的地位はどうであつたの問題から說いて小作制度と小作組合の問題の內容を論じ農民の地盤は非常に堅固で都會の勞働階級よりも實力がある早晩小作制度も破れて自作農制度の時代が來る事を各種の方面から考察した判定を與へてゐる(東京小石川表町日本學定價未定)

■決鬪 (山川亮著)異色あるプロ小說集評判になつた「泥神龜と其の仲間」をはじめ「K村行」等の佳篇を收めてゐる。プロ小說集の注目すべきものと思ふ(一圓八十錢四六判二四〇頁東京市外池袋九九九四紅社)

■消費組合運動 (山村喬譯シドニ並にビアトリスウエツブ著四圓八十錢送料二十錢)

■重刷消費組合發達史論 (久留間鮫造譯ビアトリス、ポツター(ウエブ夫人)定價二圓送料十二錢)

■新刊社會主義及び社會運動 (林要譯ウエルナー・ゾムバルト著定價三圓五十錢送料十五錢)

■通俗資本論 (赤谷長三郎譯ユリアン・ボルハルト著定價三圓五十錢送料十五錢)

■重版政治の社會的基礎 (大山郁夫著定價四圓送料二十錢)東京神田區西紅梅町同人社振替東京二七〇六五

■勞働學校研究 (淺野研眞著)各國に於ける勞働學校の內容及狀勢、日本に於ける勞働學校の發達より現狀に至るまでをのべ、最後の結論まで有意義の書である(定價一圓三十錢東京市芝區三田一、三田書房發行)

日本プロレタリア文藝聯盟の成立

雜誌「文藝戰線」を中心とする無產派文藝運動の諸君によつて、今度「日本プロレタリア文藝聯盟」の企てが起された。狹義の文藝家のみの結合でなく、廣く無產階級の自發的分子を募つて、文藝によるプロレタリアの教化プロレタリア自身の文藝の確立のために組織的運動を行はうとするのがその趣旨である。九月の「文藝戰線」にその規約の草案と宣言が載つてゐる。

おことわり

編輯後行數に違算を來した爲め、やむを得ず勝手に削除した個所があります。筆者に對して申譯けありませんが、ゆるして下さい。なほそのため、是非掲載したい原稿で次號まはしになつたものもあります。何しろ型が變つて最初の編輯のこと故宜敷御諒察を願ひます。

編輯雜記

讀者諸君に

●閥賊の罪惡も大きなものは大抵摘發しつくしたから次號から「進め」に當分載せない。彼等の如き劣等な惡黨は全プロレタリアの知るところとなつた汚れた彼等の憎むべき罪惡を戰闘雜誌に載せるのは汚らはしい、讀者讀氏からも共産黨の罪惡は別に「討閥」を出して誅伐を加へたがいゝと勸告され、其のために寄附金を出してもいゝと云つて來た。實にさうだ。これから平易な研究ものと例の讀者文壇、地方通信、全土戰報を三十頁計りにする事とした。

實に百十二頁、一部十錢

●本號から本文を百十二頁としたが十ヶ月分以上前納の讀者に限り、一部十錢の半額特價を以て配布する。支局及び多數注文の讀者も從前通り割引價格で提供する。但し、誌代は今までより一層よく拂込んでくれ。「討閥」は申込者に對して無代で進呈する。毎月三十萬位は出せると思ふ。解放運動の第一線に起つ者は「討閥」を遠慮なく要求して、閥賊を一刻も早く世界から放逐せよ！

氣を付けよ

●同志を傷け、團結を破り、外國から「日本の主義者は駄目だ」と嘲けるに至らしめた醜閥は如何に考へても憎くてならぬ。七度び生れて彼等を葬らん。閥に利用されては彼等の食物にされてゐる憐むべき者よ、氣を付け。

進め廣告に付て

●過日讀者から進めには俗惡な呉服屋の廣告が出てゐるのはいかぬと云つて來た。實に君の云ふ通りだ。が先輩が作つた「平民新聞」にもペイドクの廣告やルーデサツクの廣告もあつた。雜誌は廣告が財源の一ツだ。經營上止むを得ない。

進め社を攻撃する閥は「廣告を資本家が出すから資本家に頭を下げる事になる。」と云つてゐる。が閥の機關紙も又この俗惡な廣告を取つてゐる。吾等は堺君や山川君の如くロシアを欺く智慧はない　又賣藥王星一や漁業成金堤清六と云ふ大資本家から金を取り出す。ブローカーが出來ない。亦文章は書けず、有田音松の原稿は書けず、改造の山本に跪く事を知らず、雜誌の欠損は廣告で埋合はせるのだが、今後はなるべく廣告を少くする積りである（硏山笑）

誌代

部數	定價	郵稅	合計
一部	二十錢	一錢	廿一錢
六部	一圓二拾錢	不要	
十二部	二圓	不要	

發行所

▲右誌代は總て前金御拂込の事
▲なる可く振替にて御送金の事
▲郵券代用御送金は一割増の事
▲外國行き郵稅は一部八錢の事

東京市神田區猿樂町二丁目一番地
發行所　進め社本部
振替東京六九八五三番

大阪市東淀川區十三南之町六四二
發行編輯印刷人　福田狂二

廣告

一等　百圓	二等　八拾圓
三等　七拾圓	四等　五拾圓

社告

近來「進め」を持つて金錢を强請する者あり、本社は斷じてかゝる事をなさずかゝる者來りし時は詐欺漢として制裁を加へられたし。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

新學說大系 —(9)—

マルクス經濟學入門

石川準十郎譯述

（カール・カウツキー著）

マルクスの學說は既に論爭の時代を過ぎた。二十世紀後半の歷史は恐らく全世界に亙る其實證の歷史であらう。現代に生る人にとつてマルクスの學說への正しき理解が今日より急なるはない。此書は彼が不朽の著たる「資本論」を骨子とした經濟學說の通俗的紹介であつて、譯述者は如何にして大衆と共に理解し易く、而かも其學說の粹を盡して一箇の小ぢんまりとせる書を成し得べきかを苦慮したと云つてゐる。

◆四六判二百三十六頁◆
◆定價壹圓貳拾錢◆

東京市牛込矢來町三番地
新潮社
振替東京一七四二番

電車ストライキ

桑田次郎編述

改訂增補版
約八百頁
定價貳圓
送料二十錢

東京市京橋區銀座弓町一番地
クラルテ社

本書は昨年大阪に於ける大阪市電ストライキを中心として、其他最近京阪地方に勃發したる交通勞働に關する爭議及び罷業の明細なる眞相及顚末の記錄書である。內容は前後二編と分ち、前編には一々其の爭議の詳細なる顚末をのべ、後編は主張批判感想編として、組合代表者、社會運動家、社會主義學者、五十餘氏の痛烈なる批判感想の檄文が連ねてある。最近日本に於ける交通勞働の內容と其の狀勢を知らんとする者は、讀め而して彼のストライキ破りとして問題とされた學生の反動運動の眞相等、淚と共に敗戰の憂目を忍んだ血に塗れたる階級戰の其の事實を知らんとする者は讀め！（進め社に於ても取次販賣します）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

月一回・一部五錢・一年六十錢

大阪 水平新聞

大阪市浪速區榮町二の五三
振替大阪六七四三六番

月刊 土地と自由

（一部 十 錢）

大阪市北區江成町
日本農民組合本部
振替大阪六七七八番

月刊 尖端

（一部 十 錢）

東京府下上目黒四二八
整 頓 社

月刊 奔流

（一部 二十五錢）

島根縣松江市津田町三〇四
山陰新人連盟

月刊 萬人文藝

（一部 十 錢）

東京市外東中野一七二四
萬 人 社

行政長藏著（一部十錢）

百姓は何故貧乏するか

大阪市北區内野田江成町
日本農民組合本部

金銀

白金

東京市神田區松田町

徳力本店

無産階級
文藝雜誌

文藝戰線

毎月一回一日發行
定價廿錢送料一錢

文藝戰線社

振替東京五九三八七
東京市外雜司ヶ谷龜原

無産階級解放運動雜誌

解放

毎月一回一日發行
定價參拾錢

東京市芝區新櫻田町一九

解放社

振替東京三六九四四番

お買物は三越

品は良く、價は廉く、品數は豊富

◈三越には日常生活の御必要品は大低御座います

◈良い品は東京に限りますが東京でも三越の品ならば御安心であります

三越呉服店

◇東京駿河町◇

良品販賣

松坂屋

いとう呉服店

大阪市日本橋區三丁目

名古屋市中區榮町

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

蝙蝠印

揮發油

日本石油株式會社

婦人良薬

喜谷實母散

産前、産後、血の道
引風、引込等に
特効あり

◆全國到る處に販賣す

東京市京橋區中橋大鋸町
本舗 喜谷市郎衛門
電話京橋 一五五番 一五六番

さわのつる

大阪・石崎株式會社・平野

サン瓦斯入電球

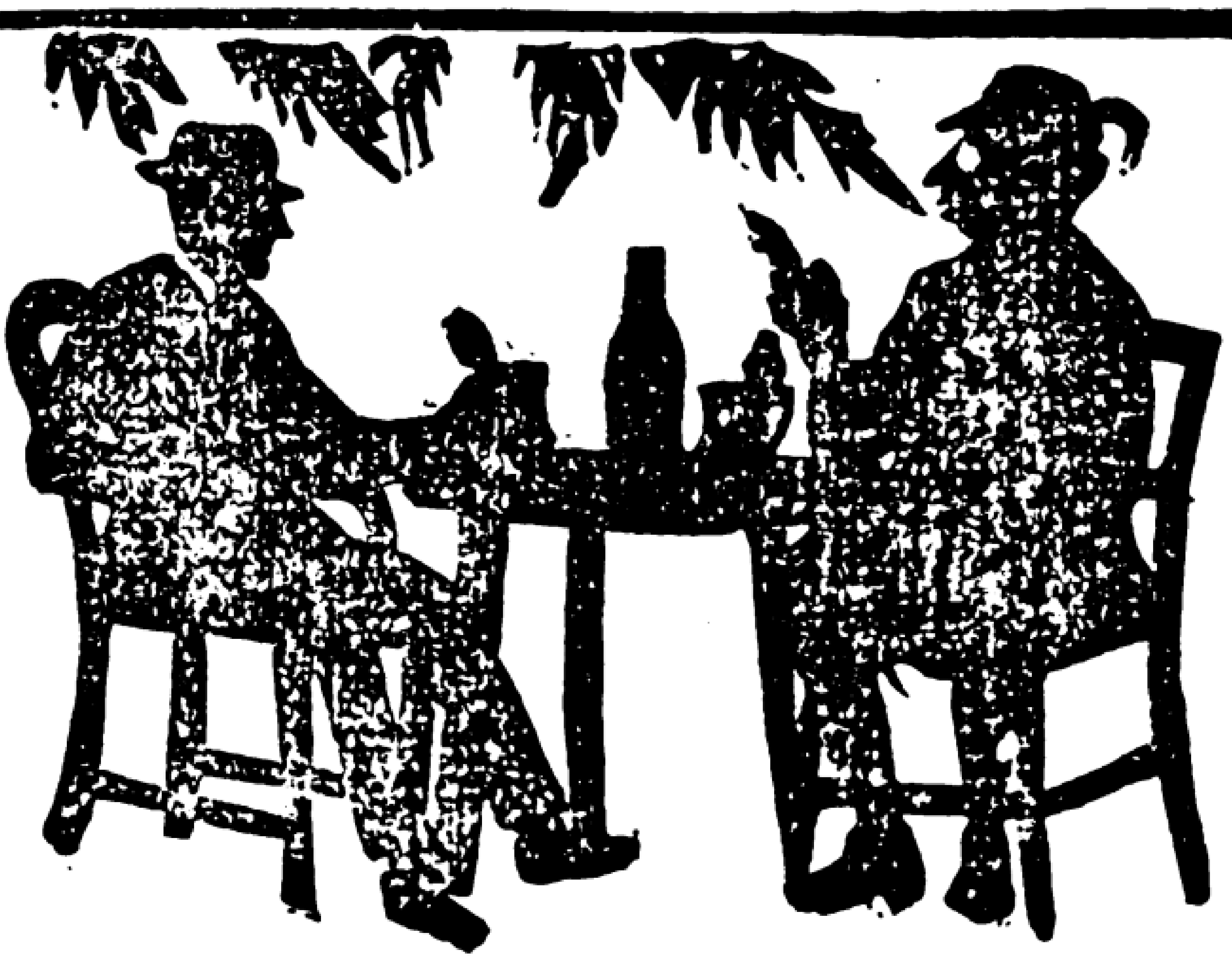
電氣が少して
丈夫て明るい

良いものは
結局お徳

大阪市外大仁七〇

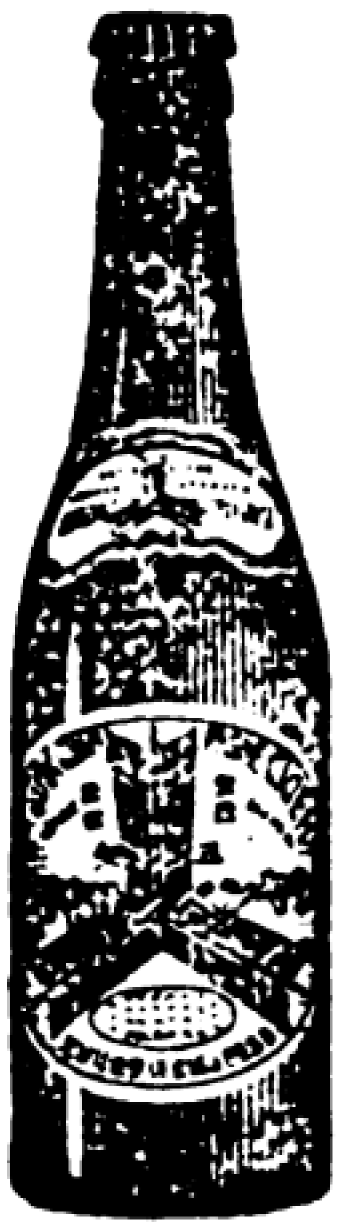
大阪電燈株式會社

電話土佐堀 三一六〇 三一六一 三八二一 三八二二



絶對安全なる
衛生的なる

三ツ矢サイダー



原料、裝置　設備、學理
殺菌に万全を盡した
三ツ矢飲料

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

石渡泰三郎著

四六版
二五八頁

定價一圓五十錢
送料十八錢

歐米百貨店事情

著者は白木屋呉服店の重役として現大阪支店長として其經營に卓拔の手腕を有し、最近更らに海外に遊びて其事情を詳察踏破せる斯界の權威。今其智識と經驗とを以つて歐米百貨店事情を叙す。該博の智識よく歐米百貨店の經營。組織を解し、深甚の經驗よく百貨店の營業、生活の眞情表裏を盡して餘蘊なし。時に又閑を得て歐米名地及風物人情の眞味を描く旅行案内記として亦好著たるを失はず。百貨店研究者は勿論 廣く一般小賣業者並に歐米未見の諸賢に敢へて一讀を薦む

發行所 大阪、堺筋 白木屋呉服店

賣捌元 大阪 盛文館 賣捌、市内書店及神戸出張店

大正十二年一月三十日第三種郵便物認可
大正十四年十一月二十五日印刷納本
大正十四年十二月一日發行

The Su-su-me. Socialsts Monthly
Head office No. 1 Sarugakucho 2-chome Kanda Tokyo.

進め
第三年第拾貳號
定價貳拾錢